

令和 7 年度
第 3 回葛飾区区民モニターアンケート
調査報告書

- －「災害時の医療について」－
- －「自転車乗車用ヘルメット購入費補助金について」－
- －「シェアサイクルについて」－

令和 8 年 1 月



目 次

序章 調査概要	5
1 調査目的	5
2 調査方法等	5
3 調査テーマ	5
4 報告書の見方	5
5 回答者の属性	6
第1章 調査結果（災害時の医療について）	10
（1）『緊急医療救護所』の認知度	11
（2）自身が行くべき『緊急医療救護所』の場所の認知度	14
（3）実働訓練への参加意向	16
（4）災害時の非常用持ち出し袋の用意	18
（5）非常用持ち出し袋に入れている医薬品	20
（6）災害時に緊急医療救護所にあってほしい医薬品	23
（7）普段から継続して使用している医薬品の名前の認知	25
（8）継続使用している医薬品の用法・用量の認知	27
（9）継続使用している医薬品や市販薬の備蓄量	29
（10）お薬手帳の所有状況	31
（11）お薬手帳を持ち歩いているか	33
（12）非常用持ち出し袋にお薬手帳のコピーを入れているか	35
（13）電子版お薬手帳の認知度	37
（14）電子版お薬手帳の使用状況	39
（15）非常用持ち出し袋に入れている口腔ケア用品	41
（16）災害時に緊急医療救護所にあってほしい口腔ケア用品	44
（17）『R I C Eの法則』の認知度	46
（18）非常用電源の準備、蓄電池等の設備の備え付けの有無	48
（19）非常用持ち出し袋に入れている衛生用品	50
第2章 調査結果（自転車乗車用ヘルメット購入費補助金について）	53
（20）自転車の利用状況	54
（21）自転車用ヘルメット保有状況	56
（22）自転車乗車時にヘルメットをかぶっているか	58
（23）ヘルメットをかぶらない理由（持っていない理由）	60
（24）ヘルメットをかぶるために必要なきっかけ	63
（25）自転車乗車時、危険を感じたことがあるか	64
（26）自転車乗車時、事故の経験	66

(27) 自転車乗車用ヘルメット購入費補助金の認知度	68
(28) 自転車乗車用ヘルメット購入費補助金の認知経路	70
(29) 自転車乗車用ヘルメット購入費補助金の活用状況	73
(30) 自転車乗車用ヘルメット購入費補助金を活用していない理由	75
(31) ヘルメット着用の重要性の認識	77
(32) 自転車乗車時に事故にならないために必要な対策	79
(33) 自転車乗車時のヘルメット着用率を上げるために必要なこと	81

第3章 調査結果（シェアサイクルについて） 84

(34) 区内移動時、よく利用する交通手段	85
(35) 区内移動時、不便さを感じている点	88
(36) 区内でシェアサイクル実施の認知度	91
(37) 区内でシェアサイクル実施の認知経路	93
(38) シェアサイクルの利用経験	96
(39) シェアサイクルを利用した理由	98
(40) シェアサイクルを利用したことがない理由	101
(41) シェアサイクルの今後の利用意向	105
(42) シェアサイクルを利用したいと思うポートの場所	107
(43) 新たな移動手段である電動キックボードの今後の利用意向	111

第 1 章 調査概要

序章 調査概要

1 調査目的

区が実施している施策や区が発信している情報等について、公募により決定した「区民モニター」から、意見を収集することにより、区政への活用を図ることを目的とする。

2 調査方法等

(1) 調査対象	無作為で選定した18歳以上の区民4,000人から公募により決定した区民モニター500人
(2) 調査方法	インターネットでの回答
(3) 調査期間	令和7年11月7日(金)～12月3日(水)
(4) 有効回収数	424名

3 調査テーマ

テーマ1 災害時の医療について

テーマ2 自転車乗車用ヘルメット購入費補助金について

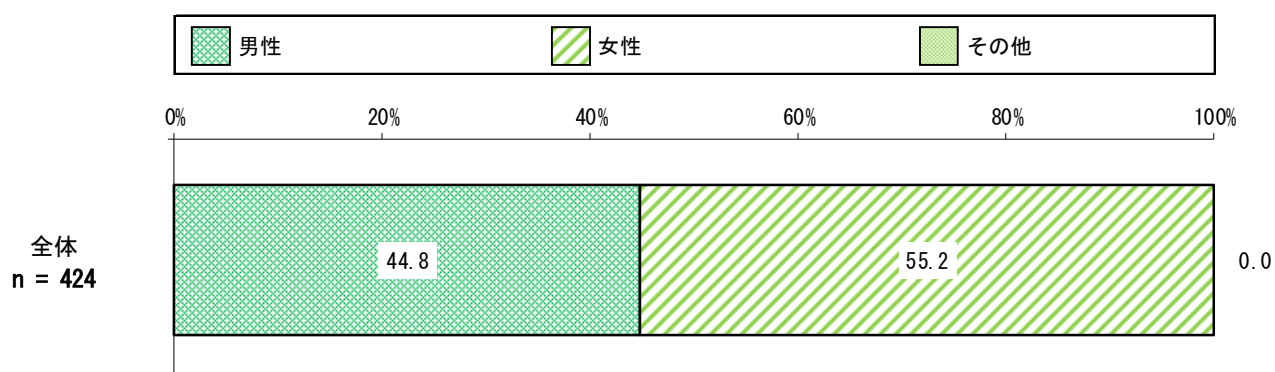
テーマ3 シェアサイクルについて

4 報告書の見方

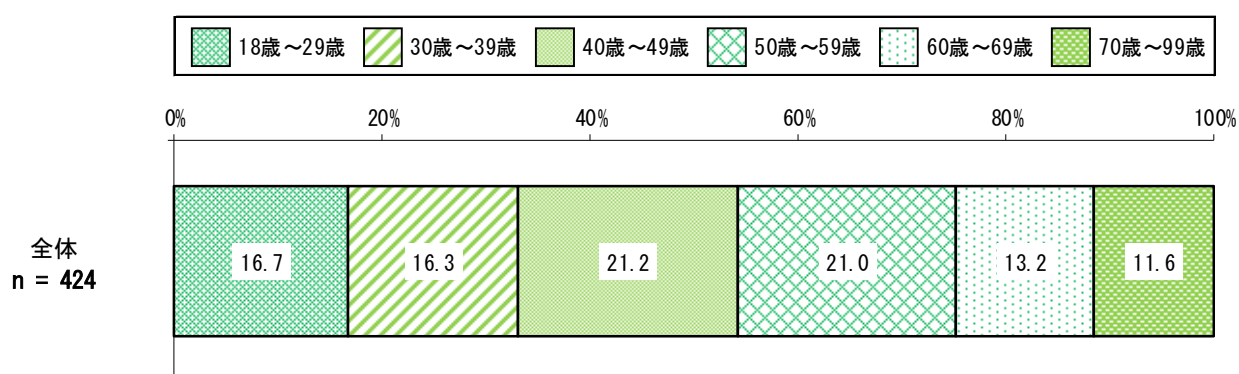
- (1) 調査結果の比率は、その設問の回答者数を基数として、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点第1位まで表示している。したがって、合計が100%にならない場合がある。
- (2) 複数回答形式の場合、回答比率の合計は100%を超える場合がある。
- (3) 図表中の「n」とは、その設問への回答者数を表す。
- (4) 選択肢の語句が長い場合、本文や表・グラフ中では省略した表現を用いている。
- (5) クロス集計において、回答が0件(0.0%)の場合、グラフ中で省略している場合がある。
- (6) クロス分析において、回答者数の少ない(n=30未満)属性についてのコメントは控えている。

5 回答者の属性

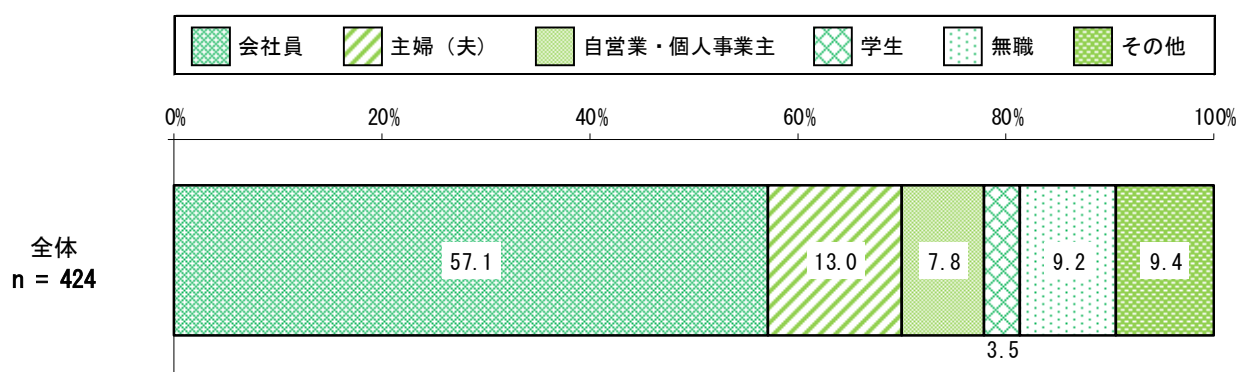
(1) 性別



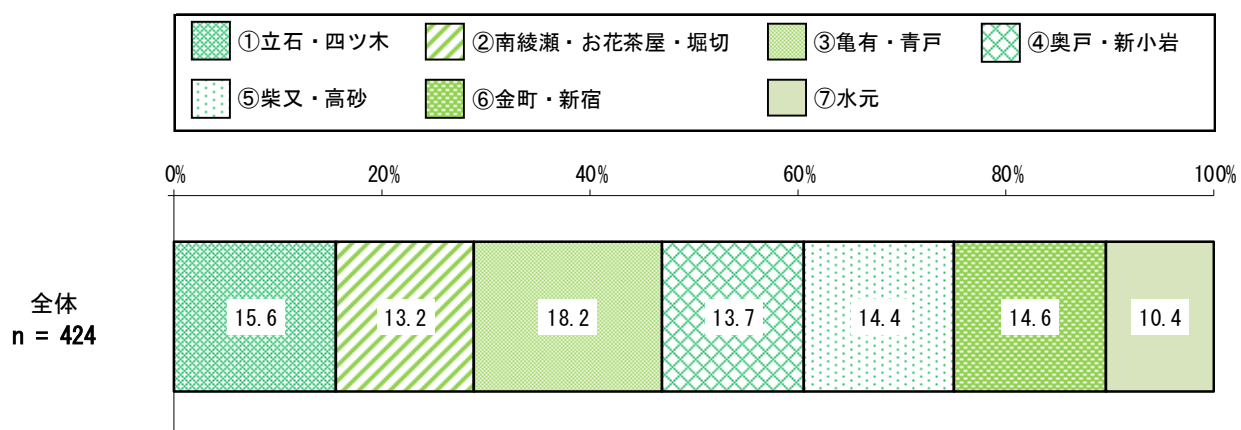
(2) 年齢層 (6 区分)



(3) 職業



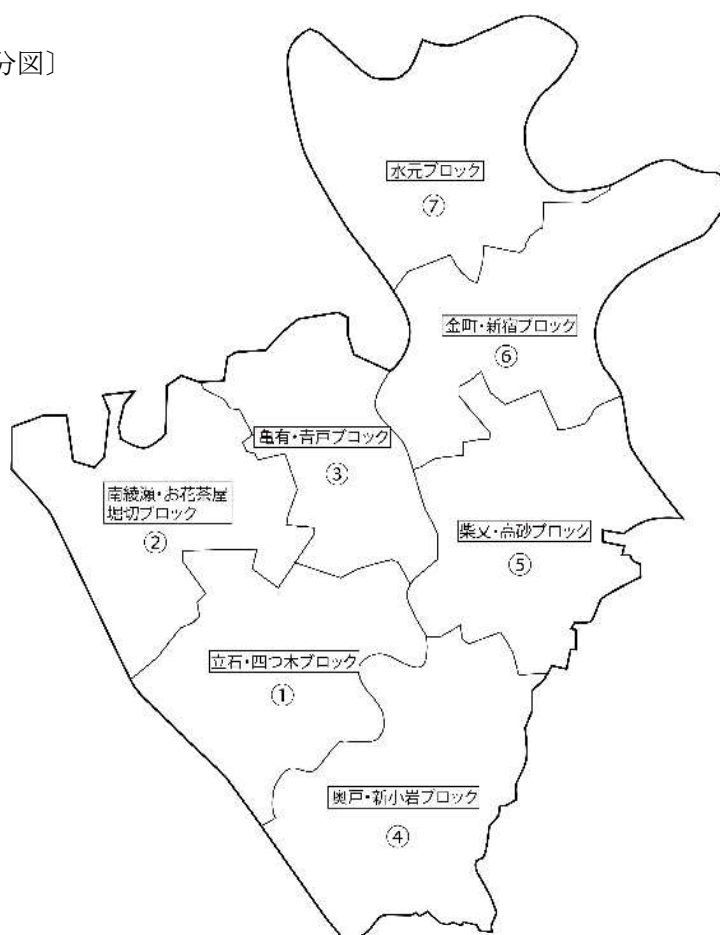
(3) 居住地域（7区分）



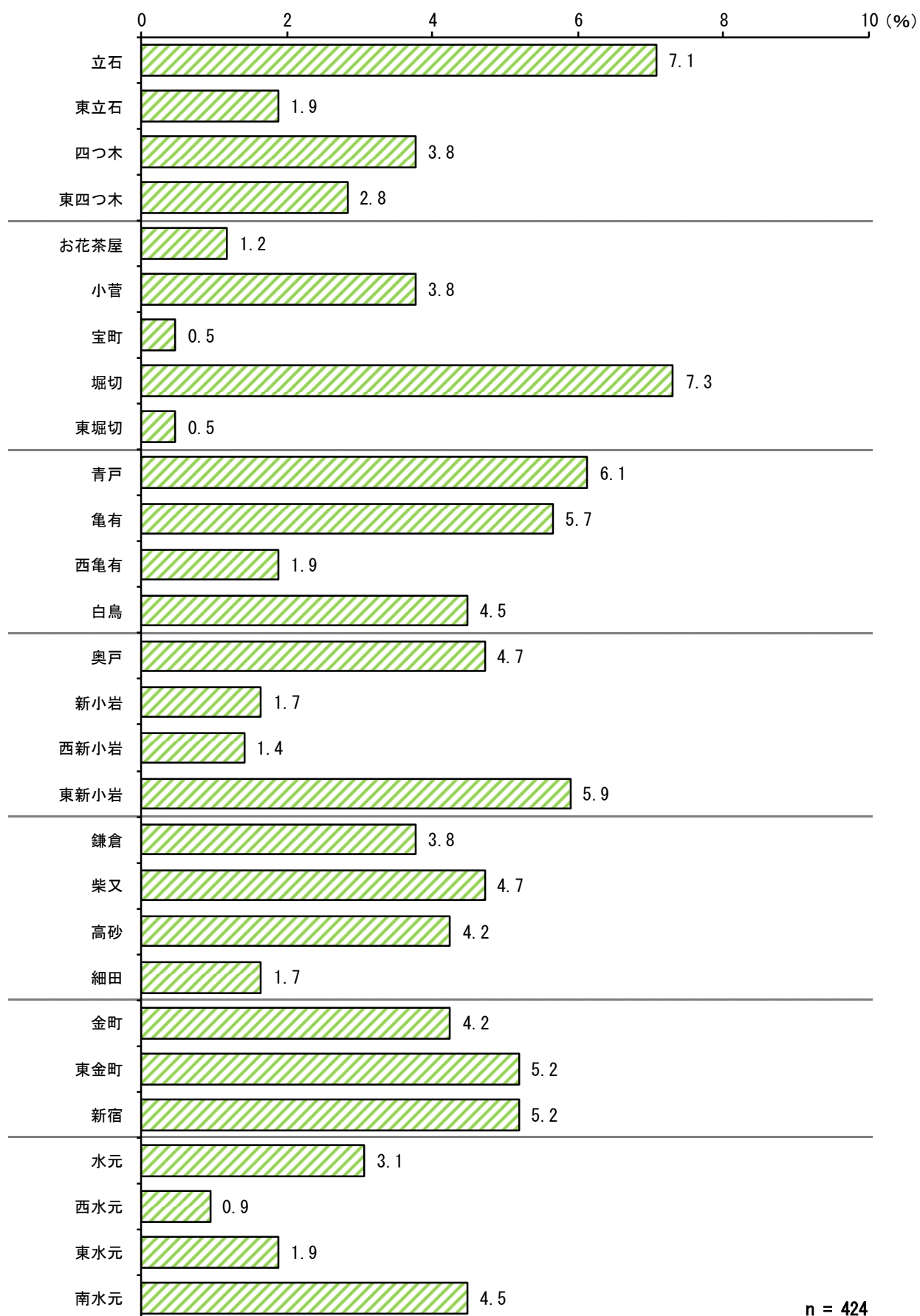
〔居住地域区分表〕

	ブロック名	町名
1	立石・四つ木ブロック	立石・東立石・四つ木・東四つ木
2	南綾瀬・お花茶屋・堀切ブロック	お花茶屋・小菅・宝町・堀切・東堀切
3	亀有・青戸ブロック	青戸・亀有・西亀有・白鳥
4	奥戸・新小岩ブロック	奥戸・新小岩・西新小岩・東新小岩
5	柴又・高砂ブロック	鎌倉・柴又・高砂・細田
6	金町・新宿ブロック	金町・東金町・新宿
7	水元ブロック	水元・西水元・東水元・南水元

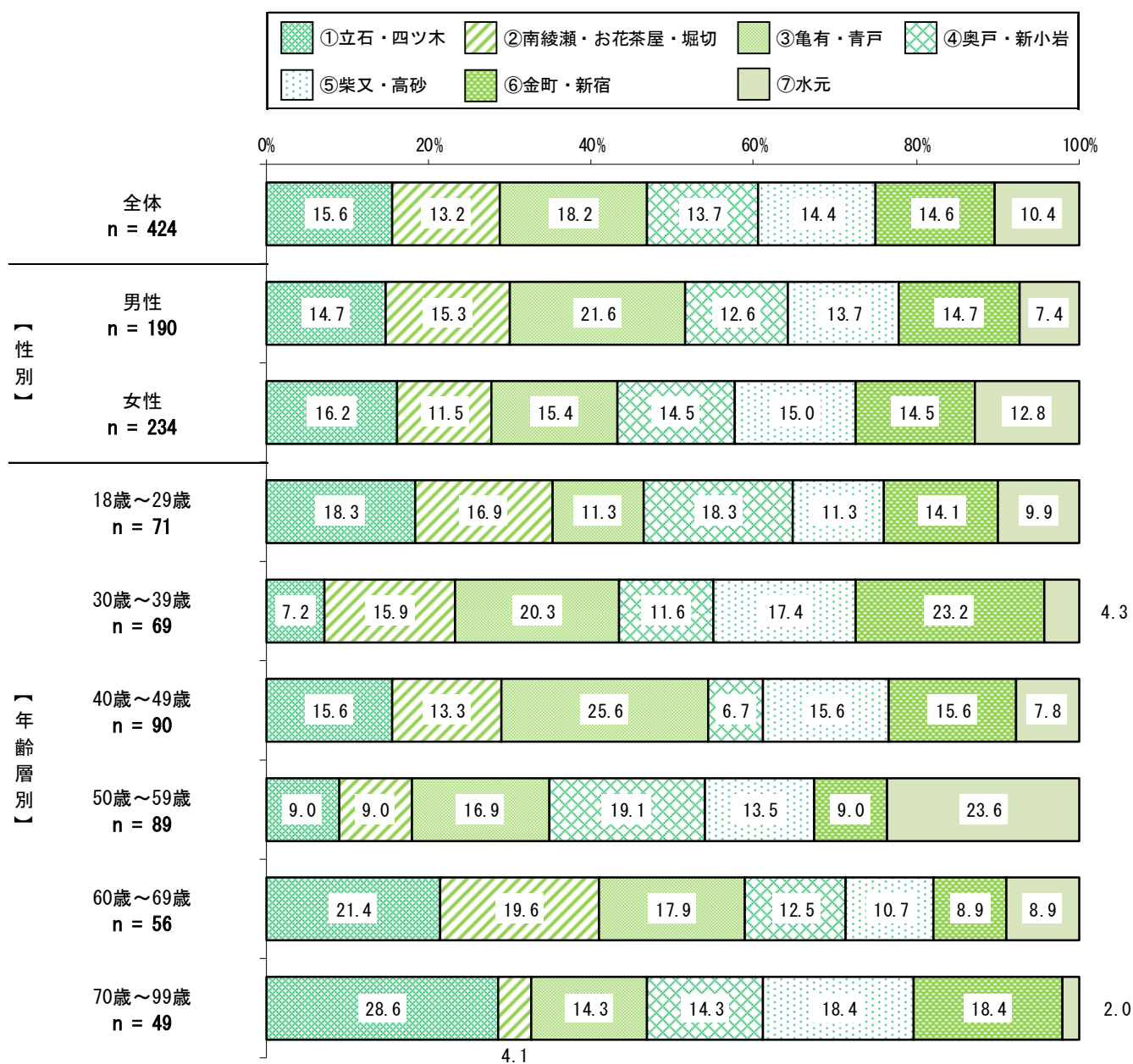
〔居住地域区分図〕



(4) 居住地域 (28 区分)



(5) 居住地域 (7 区分) 【性別・年齢層別】



第1章 調査結果（災害時の医療について）

テーマ1 災害時の医療について

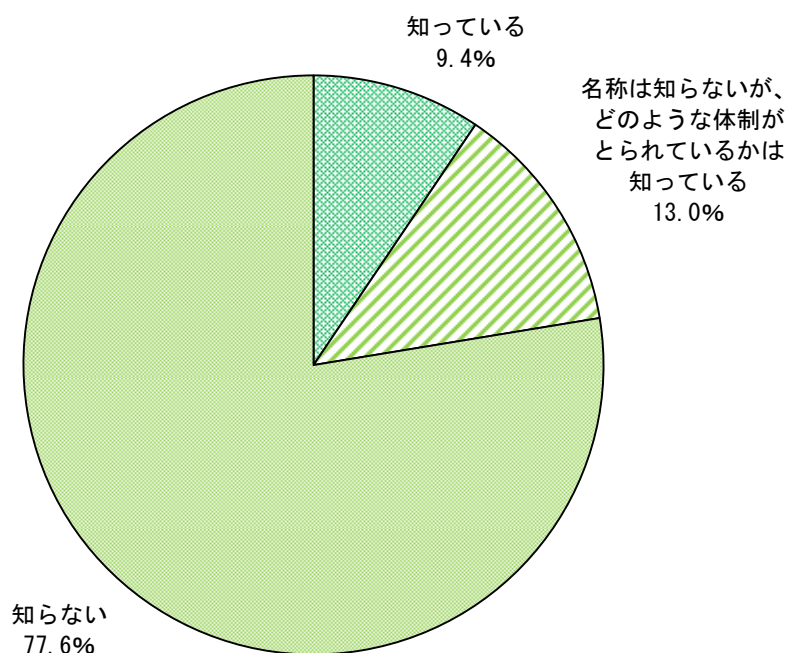
近年、大規模災害が発生すると予測されており、葛飾区では、大規模災害時の緊急医療救護所などの体制強化を進めています。区民の皆様が災害医療についてどの程度ご存じなのかをお聞きし、医療体制の強化、改善策の検討をするため、区民モニターの皆様のご意見を伺います。

(1)『緊急医療救護所』の認知度

問1. 大規模災害（地震）が発生すると、多くの傷病者が発生することが想定されます。多くの傷病者に対応するため、お近くの診療所（クリニック等）は葛飾区災害医療救護計画により閉鎖されます。一方で、発災後概ね72時間以内において、主に傷病者のトリアージ、軽症者に対する応急処置等を行うため、区内に「緊急医療救護所」が設置されます。このことを知っていますか。（1つ選択）

※診療所（クリニック等）に加え、薬局も原則、葛飾区災害医療救護計画により閉鎖されます。

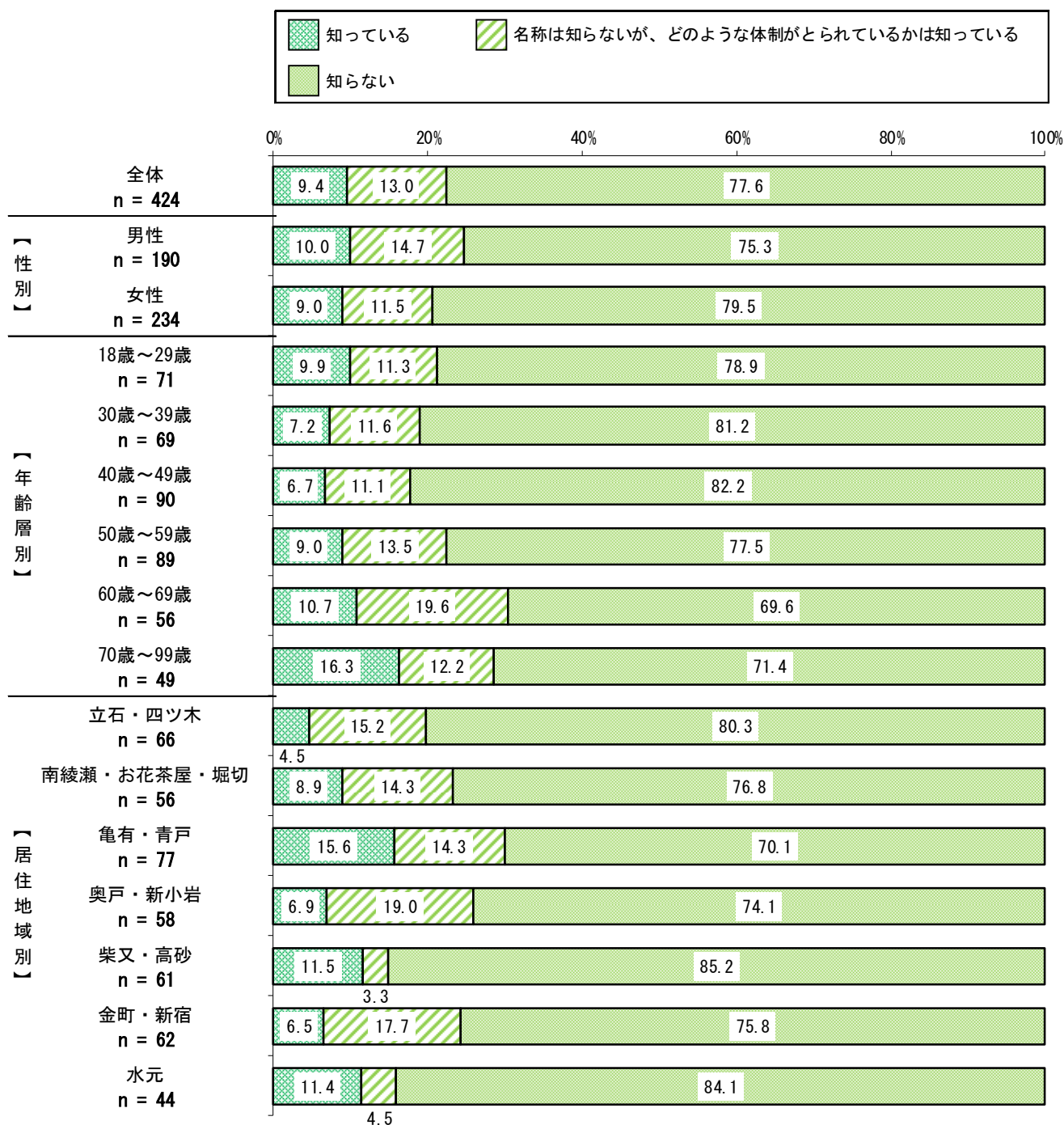
『緊急医療救護所』の認知度【全体】



n = 424

『緊急医療救護所』の認知度は、「知っている」が9.4%、「名称は知らないが、どのような体制がとられているかは知っている」が13.0%、「知らない」が77.6%となっている。

『緊急医療救護所』の認知度【全体、性別、年齢層別、居住地域別】



性別による大きな差はみられない。

年齢層別でみると、「知っている」は【70 歳～99 歳】が 16.3%と、他の区分に比べ高くなっている。

居住地域別でみると、「名称は知らないが、どのような体制がとられているかは知っている」は【水元】が 4.5%、【柴又・高砂】が 3.3%と、他の区分に比べ低くなっている。

大規模災害時に医療が必要な方は 緊急医療救護所へ

下記の病院前に 緊急医療救護所を設置します。

緊急医療救護所の役割

① トリアージ (傷病者の振り分け)

傷病者を傷病の緊急度や重症度に応じて、振り分けを行います。



② 軽症者の対応

自ら歩ける軽症者(軽症)の方は、近隣の区施設(学校など)で応急処置を行います。また、医療部の対応も可能な限り行いますので、お薬手帳のご持参をお願いします。



③ 搬送

救護所での対応が困難な場合、できる限りの応急処置を行い、病院救急車などを利用して搬送を行います。



Aブロック

区内を4つのブロックに分けた体制を構築し、傷病者の受け入れを行います



Cブロック

- 堀切中央病院 (堀切7-4-4)
- イムス葛飾ハートセンター (堀切3-30-1)
- 平成立石病院 (立石5-1-9)

Bブロック

- 金町中央病院 (金町1-9-1)
- 東京慈恵会医科大学葛飾医療センター (青戸6-41-2)
- かつしか江戸川病院 (高砂3-27-13)

Dブロック

- 坂本病院 (西新小岩4-39-20)
- イムス東京葛飾総合病院 (西新小岩4-18-1)

詳しくは葛飾区ホームページをご覧ください。地域保健課にお問い合わせ(☎03-3602-1231)ください。

葛飾区 救護所  <https://www.city.katsushika.jp/kurashi/1004026/1000663/1004029/1030357/1004763.html>

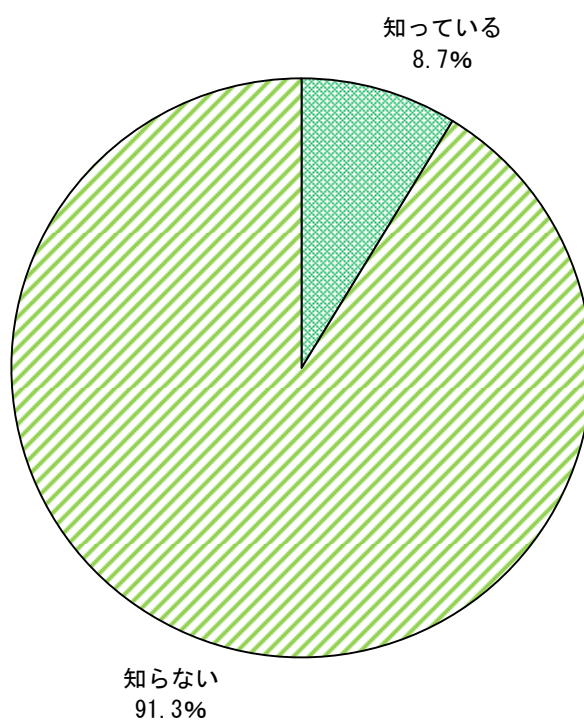
『緊急医療救護所』の詳細につきましては、葛飾区ホームページのサイト内検索から「緊急医療救護所」もしくは、ページ番号「1004763」とご検索ください。

また、地域保健課では、緊急医療救護所を多くの外国人住民にも知っていただき、災害医療の更なる周知及び意識啓発に強く繋げるため、緊急医療救護所周知ポスターの多言語版（英語版・中国語版・韓国語版）を作成しております。公開は、令和8年4月以降を予定しております。

(2) 自身が行くべき『緊急医療救護所』の場所の認知度

問2. 緊急医療救護所は区内12カ所の病院前に設置されます。大規模災害時に医療が必要な場合に、あなたが行くべき緊急医療救護所を知っていますか。(1つ選択)

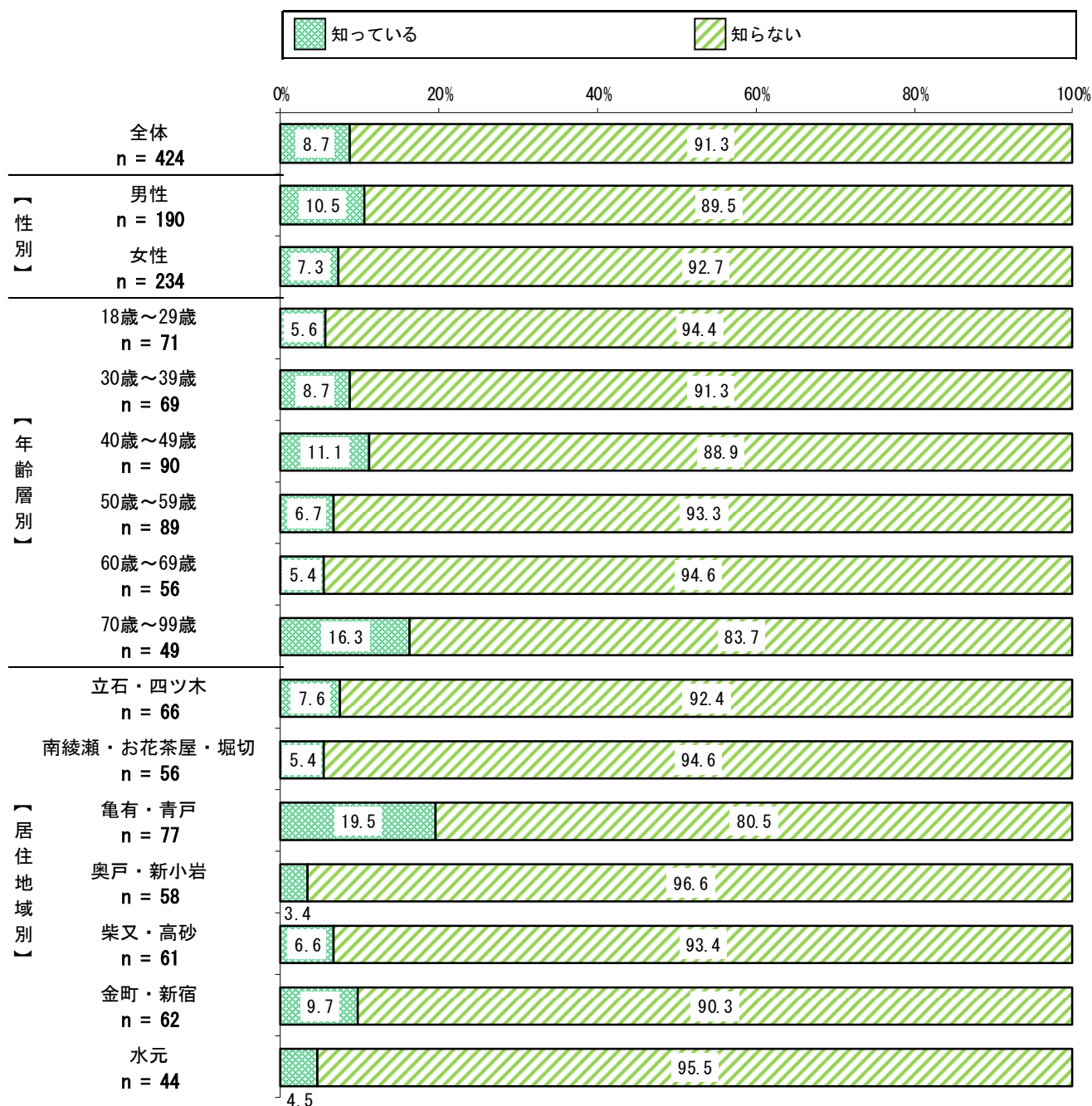
自身が行くべき『緊急医療救護所』の場所の認知度【全体】



n = 424

自身が行くべき『緊急医療救護所』の場所の認知度は、「知らない」が91.3%となっている。

自身が行くべき『緊急医療救護所』の場所の【全体、性別、年齢層別、居住地域別】



性別による大きな差はみられない。

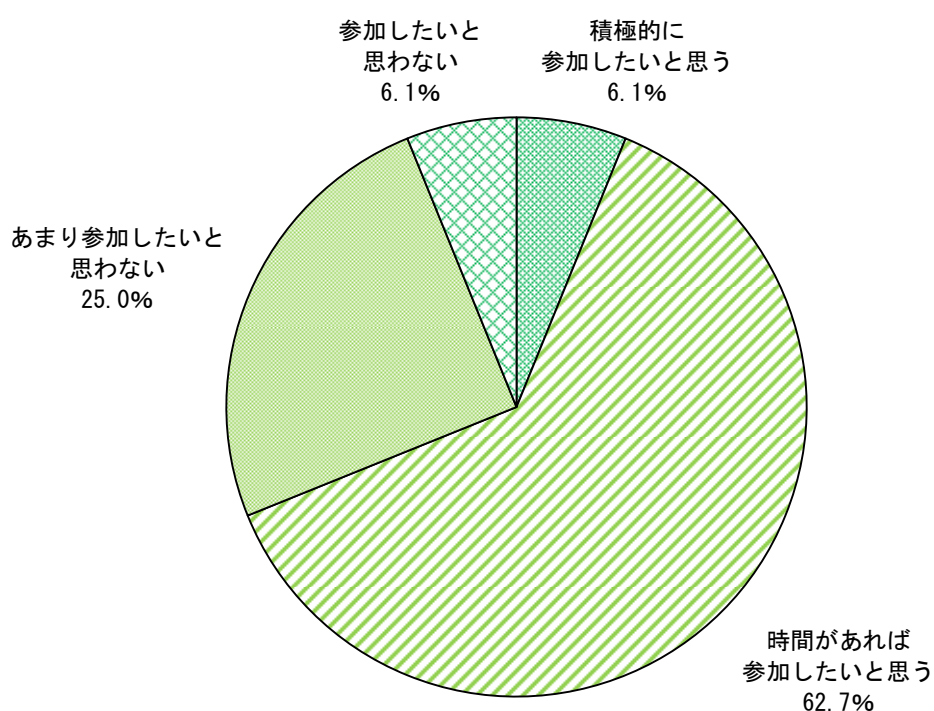
年齢層別でみると、「知っている」は【70 歳～99 歳】が 16.3%と、他の区分に比べ高くなっている。

居住地域別でみると、「知っている」は【亀有・青戸】が 19.5%と、他の区分に比べ高くなっている。

(3) 実働訓練への参加意向

問3. 葛飾区では、大規模災害時、多数の傷病者が発生したことを想定して、緊急医療救護所を病院前に開設・設置・運営をする医療体制についての実働訓練を実施していますが、参加したいと思いますか。(1つ選択)

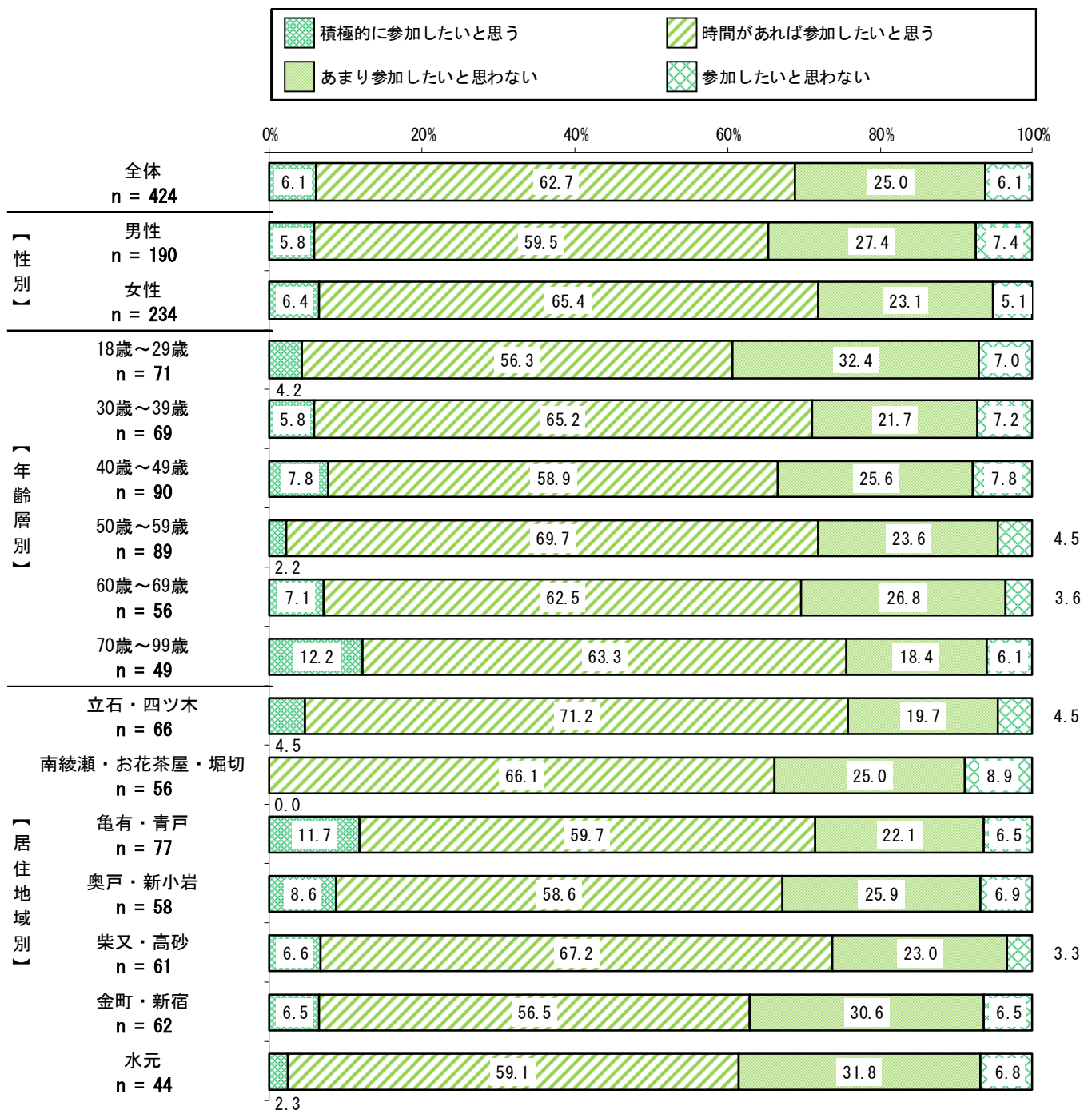
実働訓練への参加意向【全体】



n = 424

実働訓練への参加意向は、「積極的に参加したいと思う」(6.1%)と「時間があれば参加したいと思う」(62.7%)を合わせた『参加希望あり』が68.8%、「参加したいと思わない」(6.1%)と「あまり参加したいと思わない」(25.0%)を合わせた『参加希望なし』が31.1%となっている。

実働訓練への参加意向【全体、性別、年齢層別、居住地域別】



性別でみると、『参加希望あり』は【女性】が71.8%と、【男性】(65.3%)よりも6.5ポイント高くなっている。

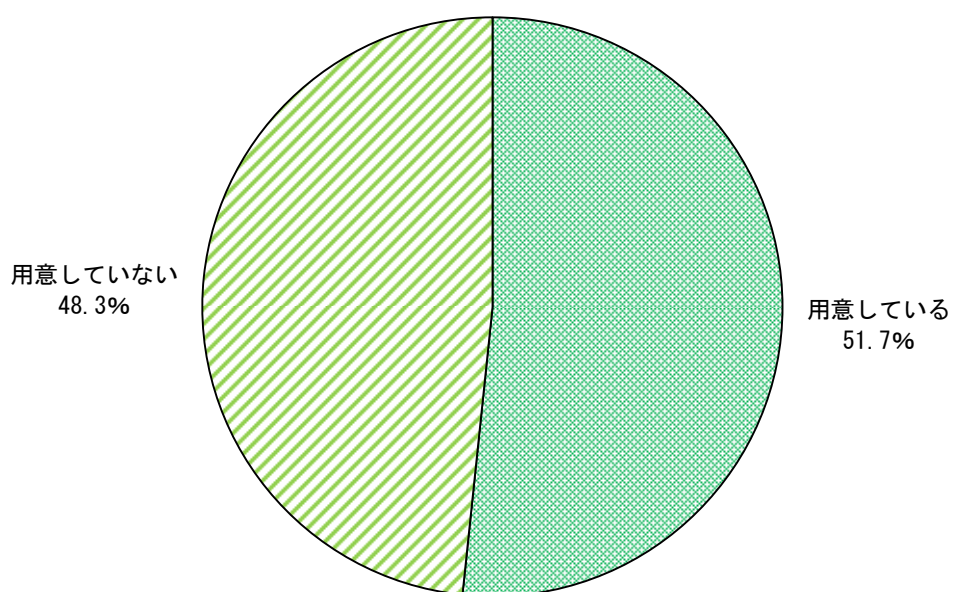
年齢層別でみると、『参加希望なし』は【18歳～29歳】が39.4%と、他の区分に比べ高くなっている。

居住地域別でみると、「時間があれば参加したいと思う」は【立石・四ツ木】が71.2%と、他の区分に比べ高くなっている。

(4) 災害時の非常用持ち出し袋の用意

問4. 災害時の非常用持ち出し袋を用意していますか。(1つ選択)

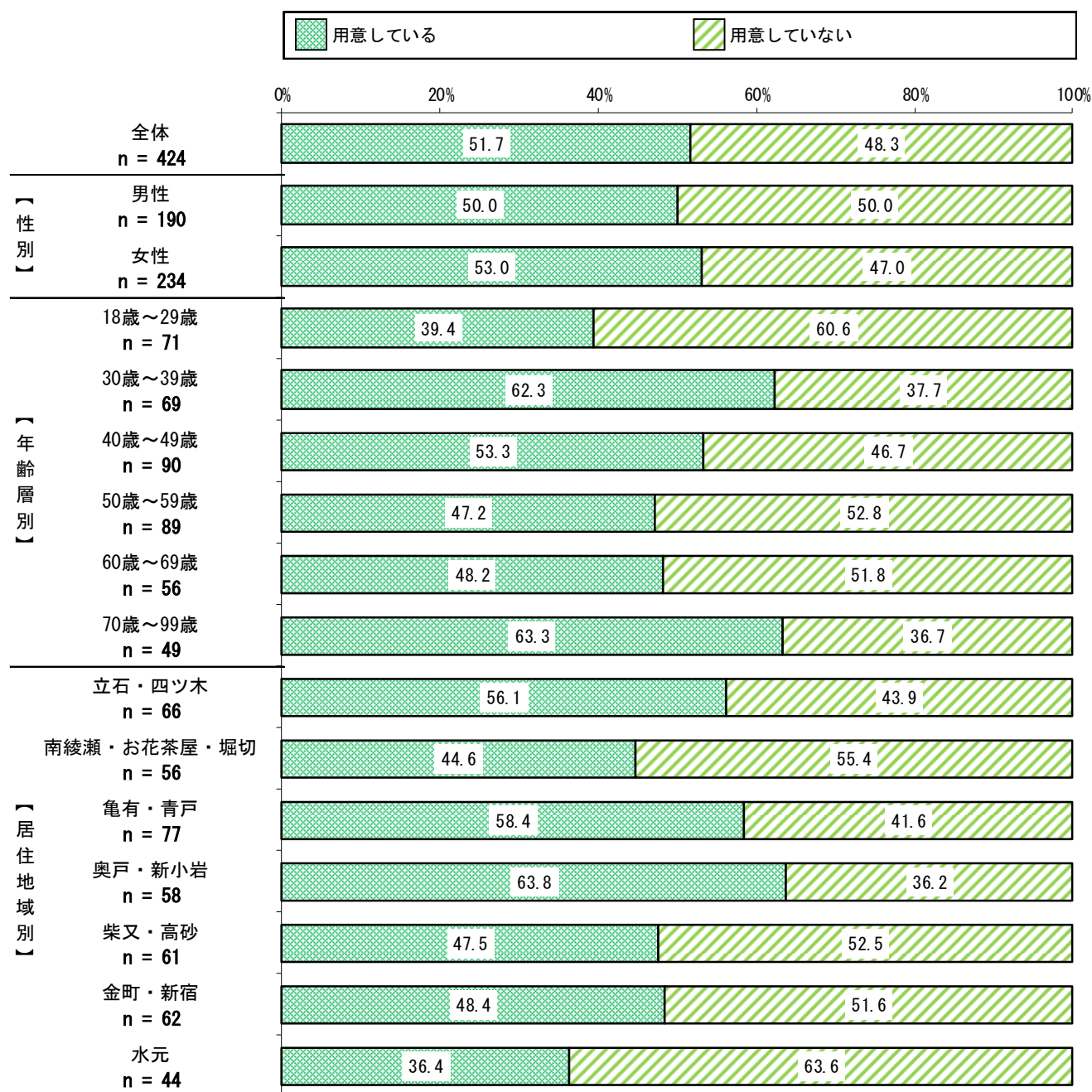
災害時の非常用持ち出し袋の用意【全体】



n = 424

災害時の非常用持ち出し袋の用意は、「用意している」が 51.7%、「用意していない」が 48.3%となっている。

災害時の非常用持ち出し袋の用意【全体、性別、年齢層別、居住地域別】



性別による大きな差はみられない。

年齢層別でみると、「用意している」は【70歳～99歳】が63.3%、【30歳～39歳】が62.3%と、他の区分に比べ高くなっている。

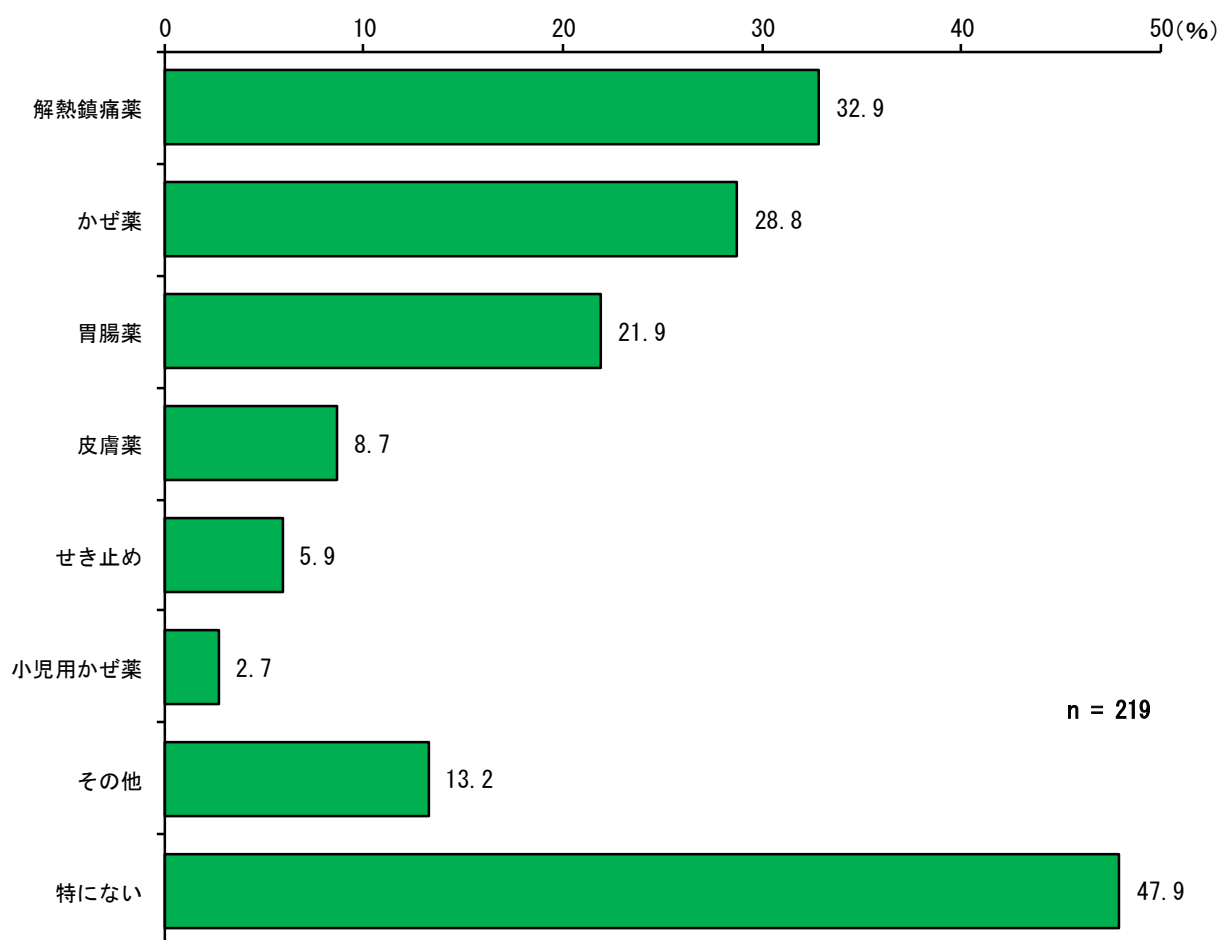
居住地域別でみると、「用意している」は【奥戸・新小岩】が63.8%と、他の区分に比べ高く、【水元】が36.4%と、他の区分に比べ低くなっている。

(5) 非常用持ち出し袋に入れている医薬品

問5. 問4で「用意している」と答えた方に伺います。

災害時の非常用持ち出し袋に入れている医薬品を教えてください。(複数選択可)

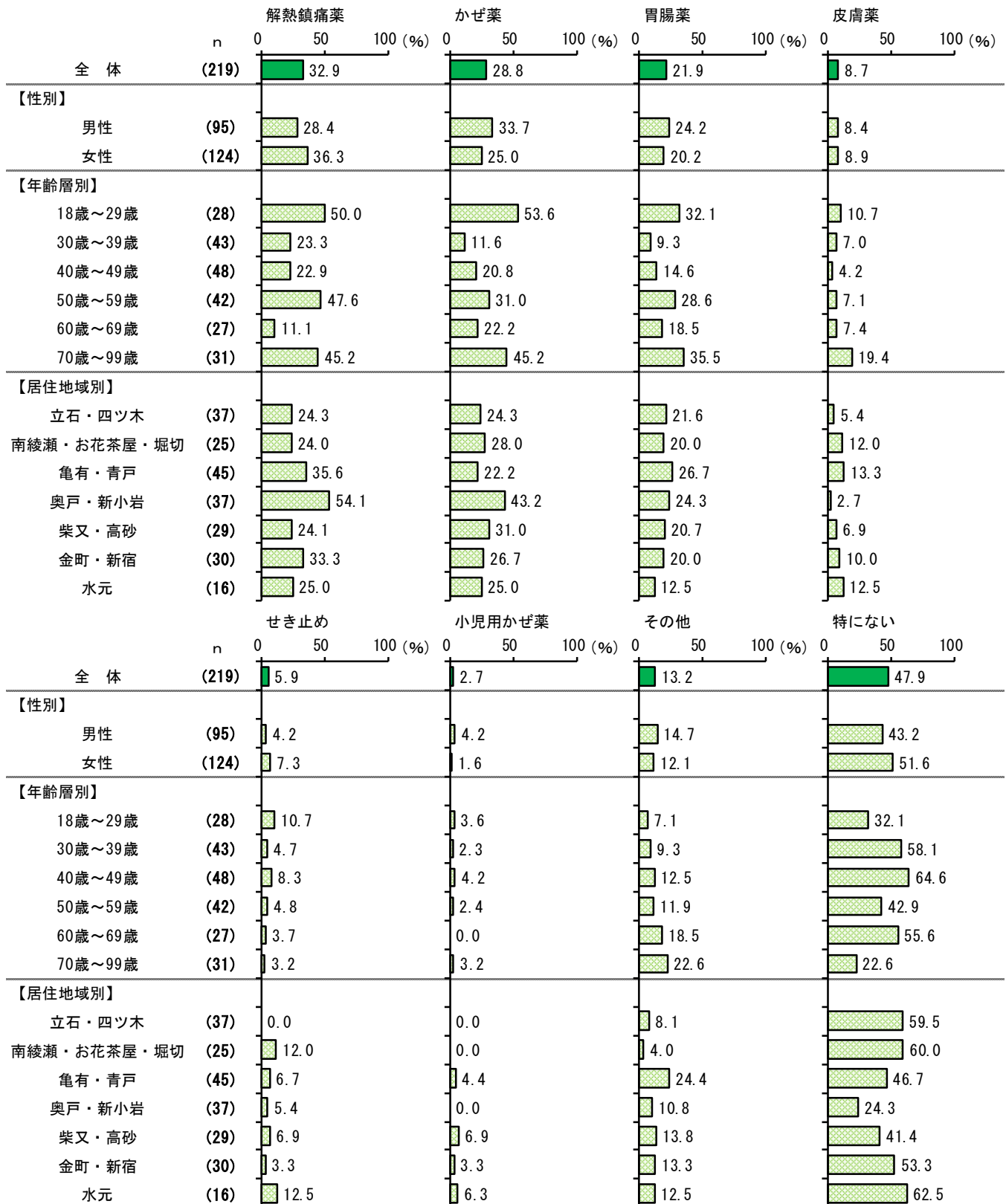
非常用持ち出し袋に入れている医薬品【全体】



非常用持ち出し袋に入れている医薬品は、「特にない」が 47.9%となっている。一方、「解熱鎮痛薬」が 32.9%、「かぜ薬」が 28.8%、「胃腸薬」が 21.9%となっている。

「その他」の内容としては、「持病の薬」「絆創膏」「消毒薬」「湿布」「傷薬等」などがあつた。

非常用持ち出し袋に入れている医薬品【全体、性別、年齢層別、居住地域別】



性別でみると、「かぜ薬」は【男性】が33.7%と、【女性】(25.0%)よりも8.7ポイント高くなっている。一方、「特にない」は【女性】が51.6%と、【男性】(43.2%)よりも8.4ポイント高くなっている。

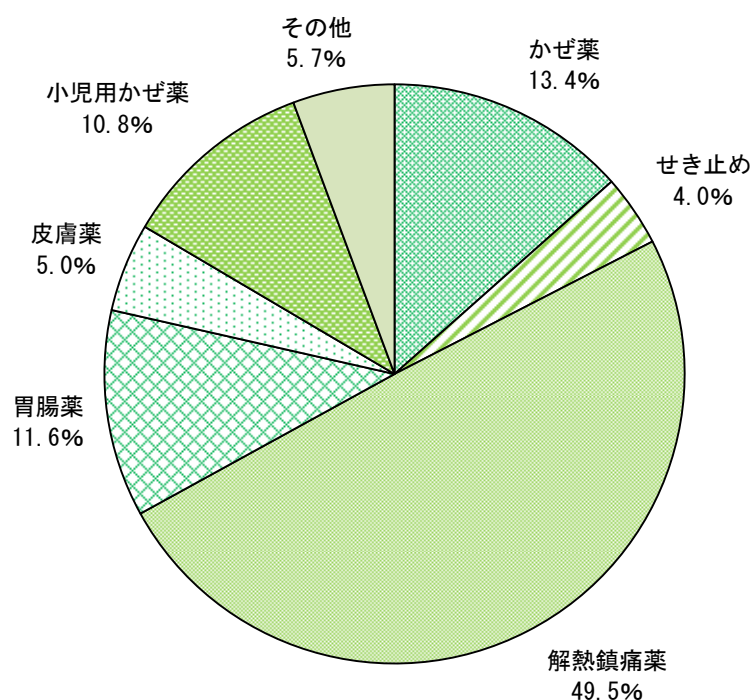
年齢層別でみると、【18歳～29歳】は「かぜ薬」が53.6%、「解熱鎮痛薬」が50.0%と、他の区分に比べ高くなっている。一方、「特にない」は【40歳～49歳】が64.6%と、他の区分に比べ高くなっている。

居住地域別でみると、【奥戸・新小岩】は「解熱鎮痛薬」が54.1%、「かぜ薬」が43.2%と、他の区分に比べ高くなっている。一方、「特にない」は【水元】が62.5%、【南綾瀬・お花茶屋・堀切】が60.0%、【立石・四ツ木】が59.5%と、他の区分に比べ高くなっている。

(6) 災害時に緊急医療救護所にあってほしい医薬品

問 6. 災害時に緊急医療救護所にあってほしい医薬品を教えてください。(1つ選択)

災害時に緊急医療救護所にあってほしい医薬品【全体】

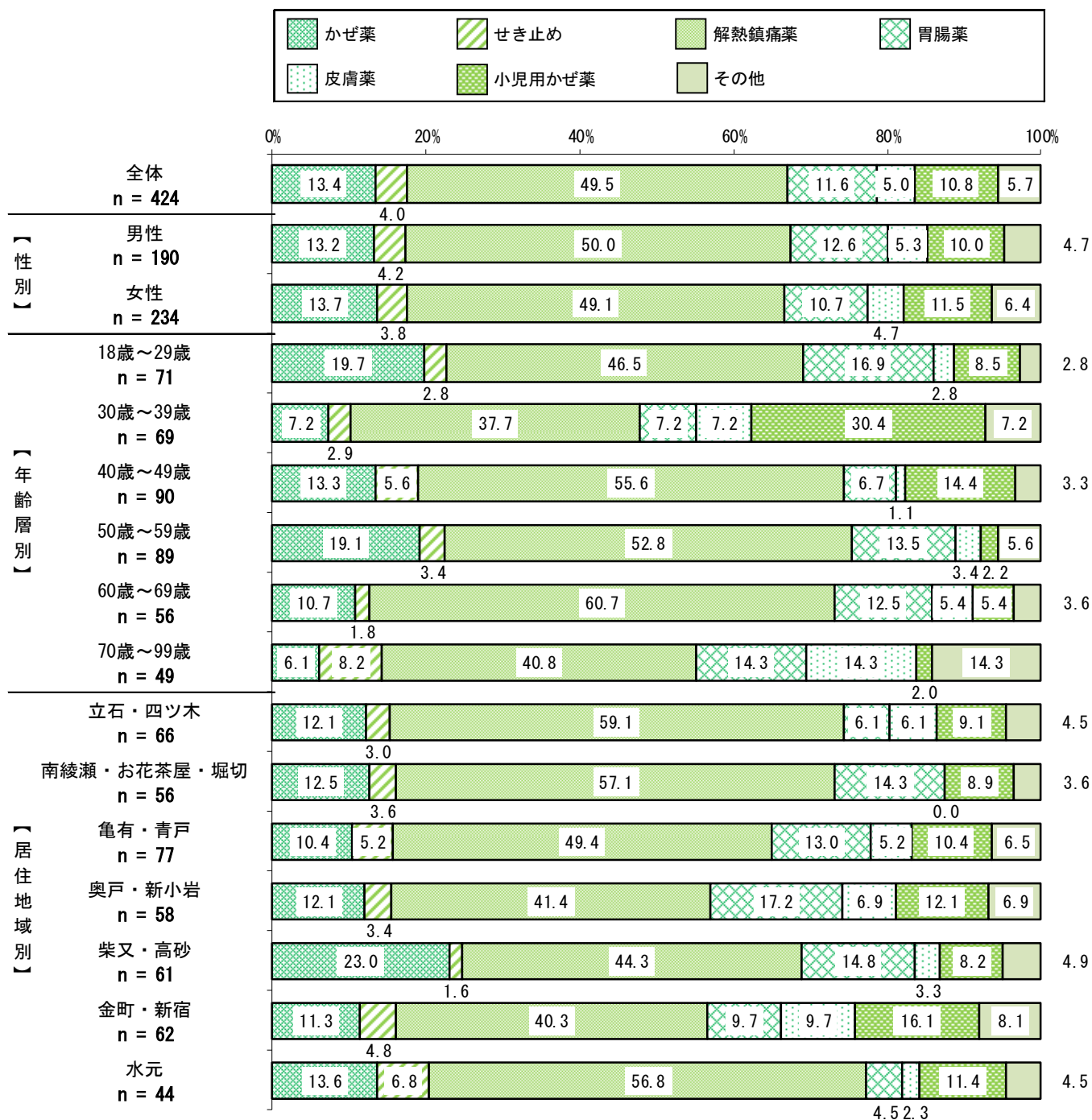


n = 424

災害時に緊急医療救護所にあってほしい医薬品は、「解熱鎮痛薬」が 49.5%で最も高くなっている。以下「かぜ薬」が 13.4%、「胃腸薬」が 11.6%、「小児用かぜ薬」が 10.8%となっている。

「その他」の内容としては、「子どもに関わる薬」「一般的によくある持病の薬類」「精神安定剤」「酔い止め(余震対策になるのなら)」「包帯や湿布」などがあつた。

災害時に緊急医療救護所にあってほしい医薬品【全体、性別、年齢層別、居住地域別】



性別による大きな差はみられない。

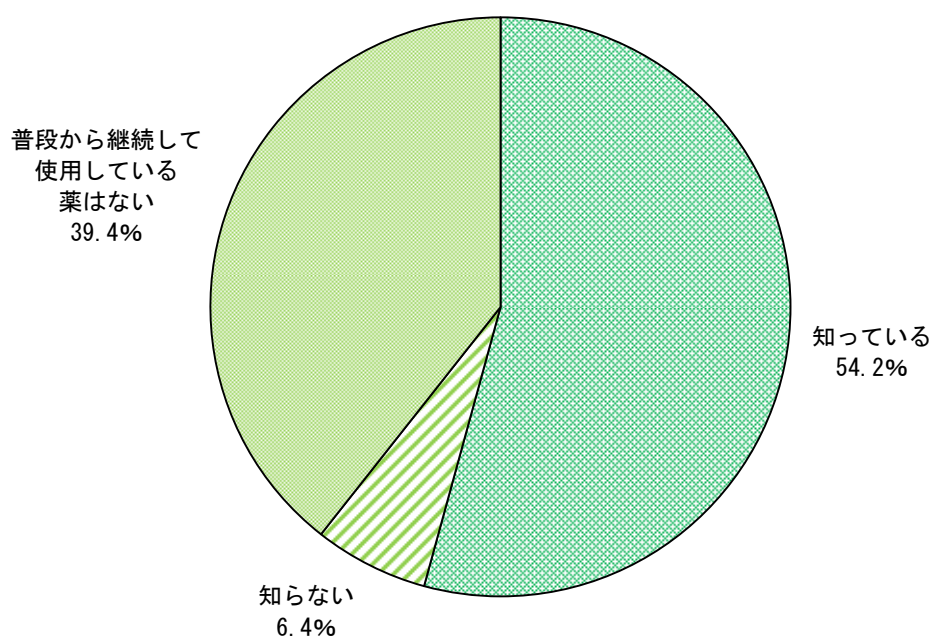
年齢層別でみると、「解熱鎮痛薬」は【60歳～69歳】が60.7%、「小児用かぜ薬」は【30歳～39歳】が30.4%と、他の区分に比べ高くなっている。

居住地域別でみると、「解熱鎮痛薬」は【立石・四ツ木】が59.1%、「かぜ薬」は【柴又・高砂】が23.0%と、他の区分に比べ高くなっている。

(7) 普段から継続して使用している医薬品の名前の認知

問7. 普段から継続して使用している医薬品の名前を知っていますか。(1つ選択)

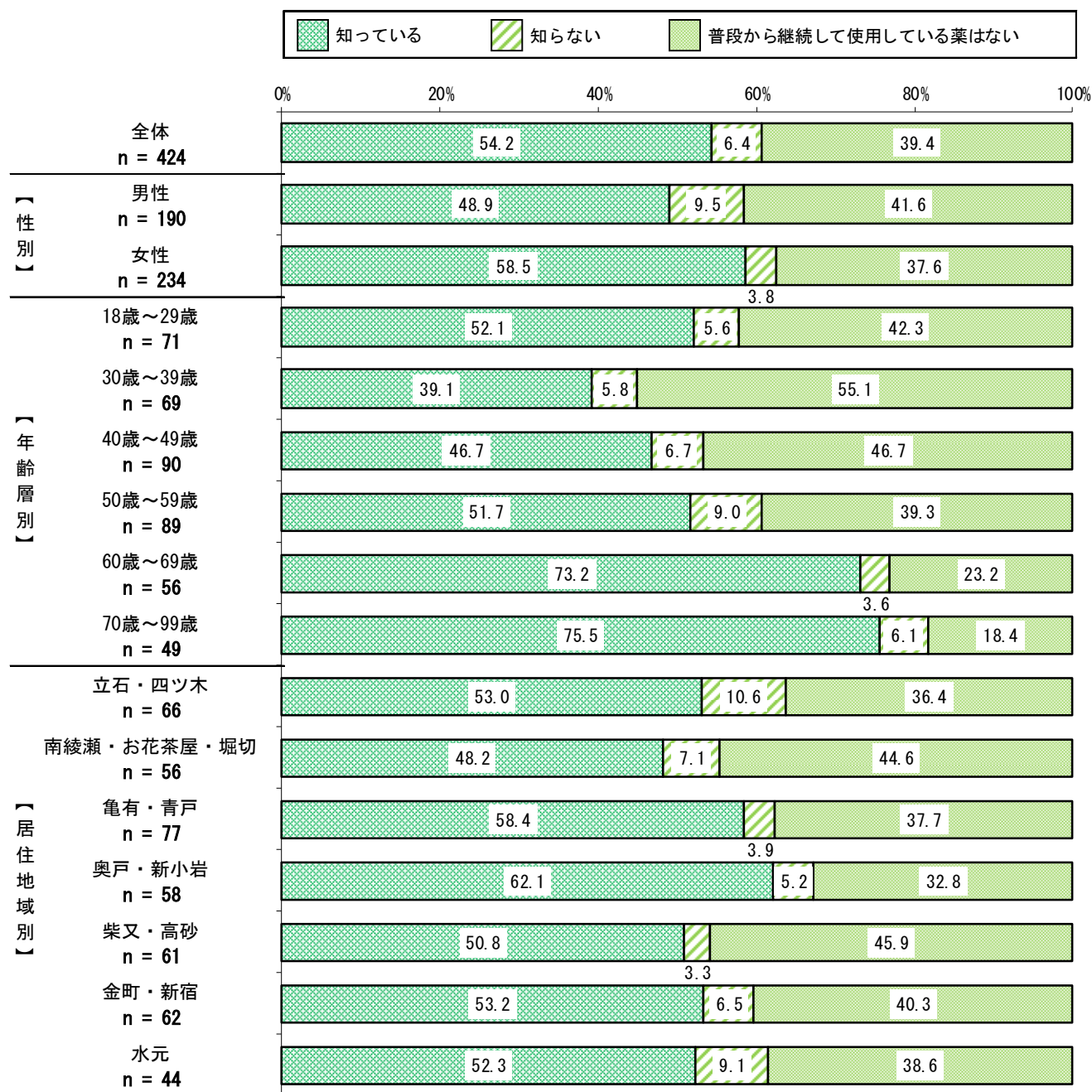
普段から継続して使用している医薬品の名前の認知【全体】



n = 424

普段から継続して使用している医薬品の名前の認知は、「知っている」が 54.2%、「知らない」が 6.4%、「普段から継続して使用している薬はない」が 39.4%となっている。

普段から継続して使用している医薬品の名前の認知【全体、性別、年齢層別、居住地域別】



性別でみると、「知っている」は【女性】が58.5%と、【男性】(48.9%) よりも9.6ポイント高くなっている。

年齢層別でみると、「知っている」は【70歳～99歳】が75.5%、【60歳～69歳】が73.2%と、他の区分に比べ高くなっている。「普段から継続して使用している薬はない」は【30歳～39歳】が55.1%と、他の区分に比べ高くなっている。

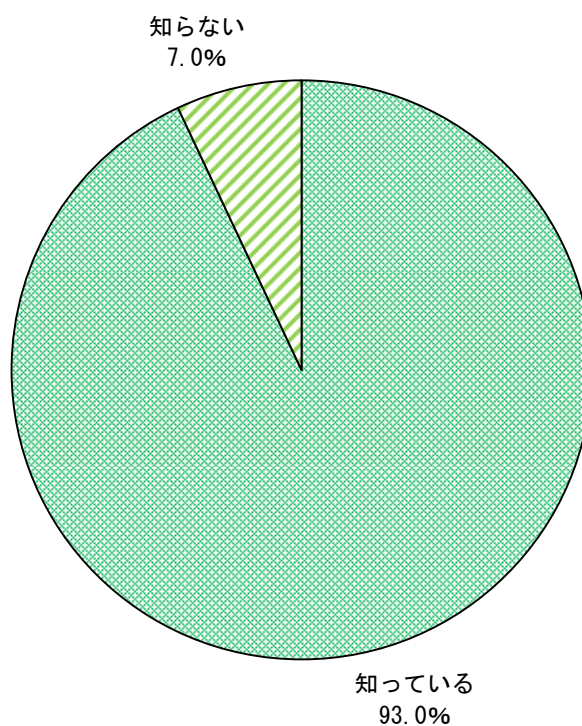
居住地域による大きな差はみられない。

(8) 継続使用している医薬品の用法・用量の認知

問8. 問7で「知っている」「知らない」と答えた方に伺います。

普段から継続して使用している薬の用法・用量を知っていますか。(1つ選択)

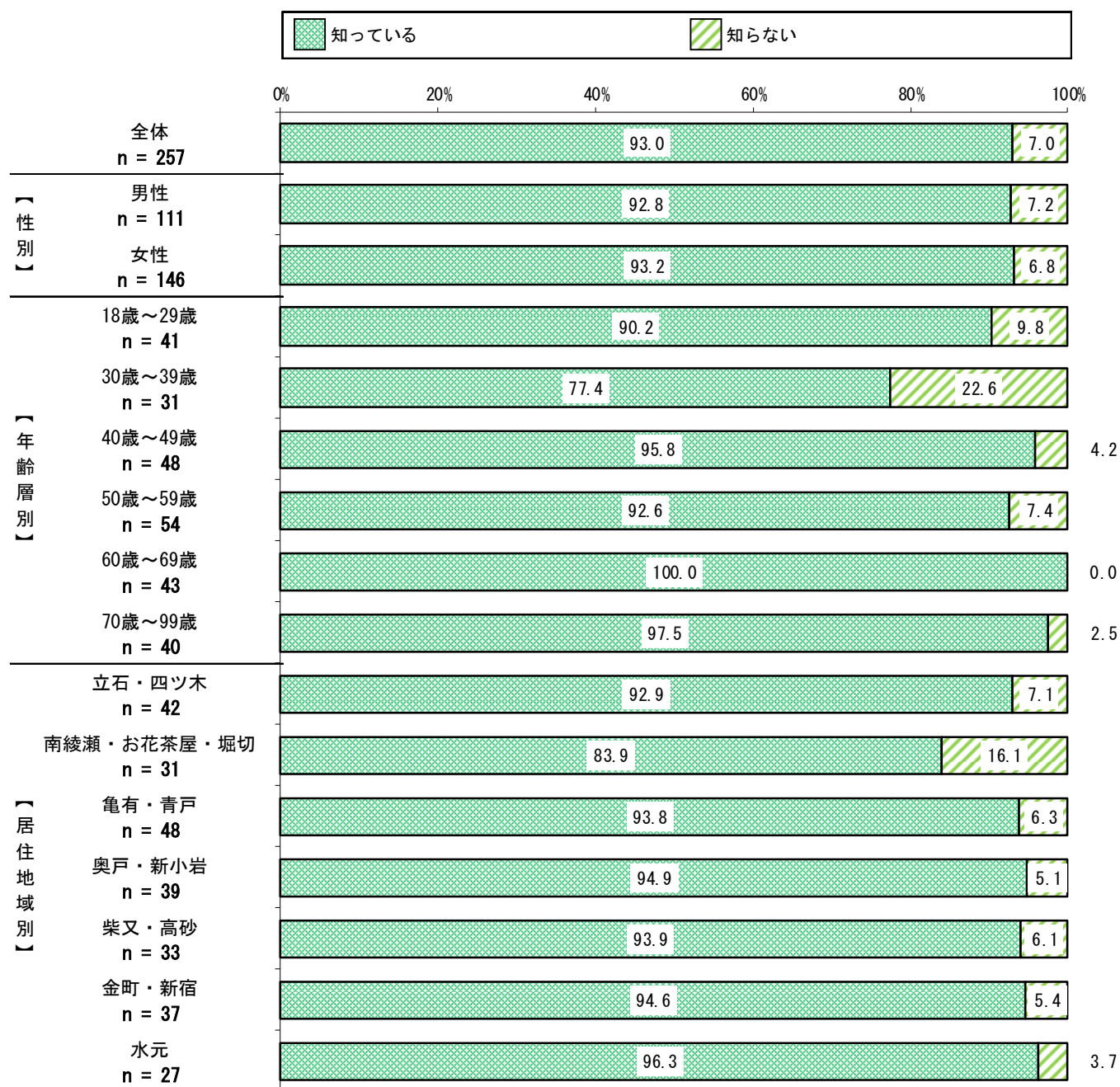
継続使用している医薬品の用法・用量の認知【全体】



n = 257

継続使用している医薬品の用法・用量の認知は、「知っている」が93.0%となっている。

継続使用している医薬品の用法・用量の認知【全体、性別、年齢層別、居住地域別】



性別による大きな差はみられない。

年齢層別でみると、「知っている」は【30 歳～39 歳】が 77.4%と、他の区分に比べ低くなっている。

居住地域別でみると、「知っている」は【南綾瀬・お花茶屋・堀切】が 83.9%と、他の区分に比べ低くなっている。

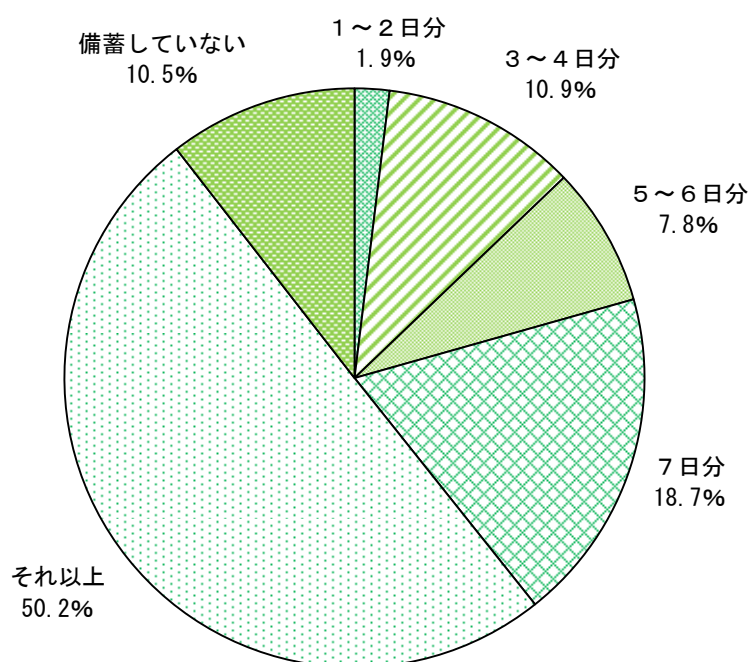
(9) 継続使用している医薬品や市販薬の備蓄量

問9. 問7で「知っている」「知らない」と答えた方に伺います。

普段から継続して使用している持病の薬や市販薬は何日分備蓄されていますか。

(1つ選択)

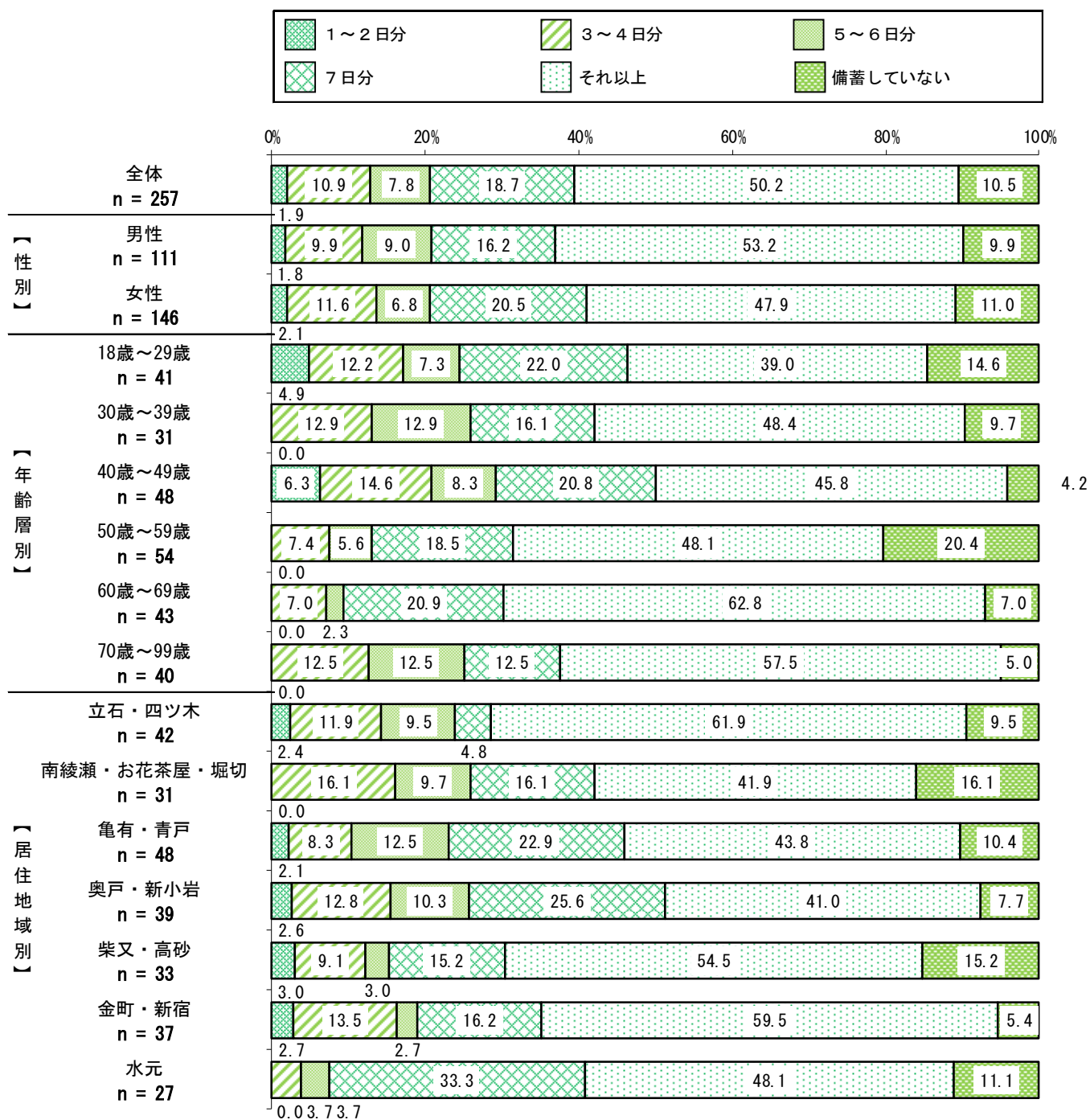
継続使用している医薬品や市販薬の備蓄量【全体】



n = 257

継続使用している医薬品や市販薬の備蓄量は、「それ以上」が 50.2%、「7日分」が 18.7%、「3～4日分」が 10.9%となっている。一方、「備蓄していない」が 10.5%となっている。

継続使用している医薬品や市販薬の備蓄量【全体、性別、年齢層別、居住地域別】



性別でみると、「それ以上」は【男性】が53.2%と、【女性】(47.9%) よりも5.3ポイント高くなっている。

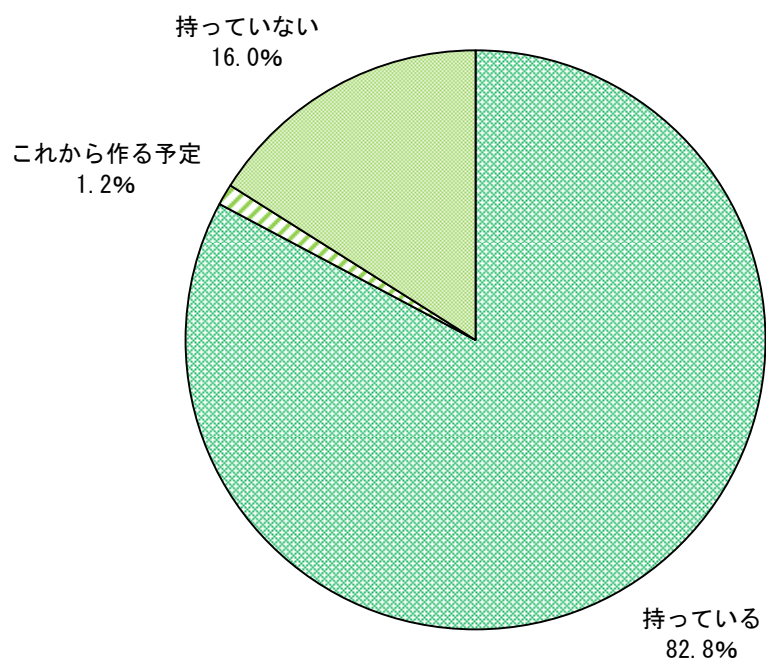
年齢層別でみると、「それ以上」は【60歳~69歳】が62.8%と、他の区分に比べ高くなっている。

居住地域別でみると、「それ以上」は【立石・四ツ木】が61.9%、「7日分」は【水元】が33.3%と、他の区分に比べ高くなっている。

(10) お薬手帳の所有状況

問 10. お薬手帳をお持ちですか。(1 つ選択)

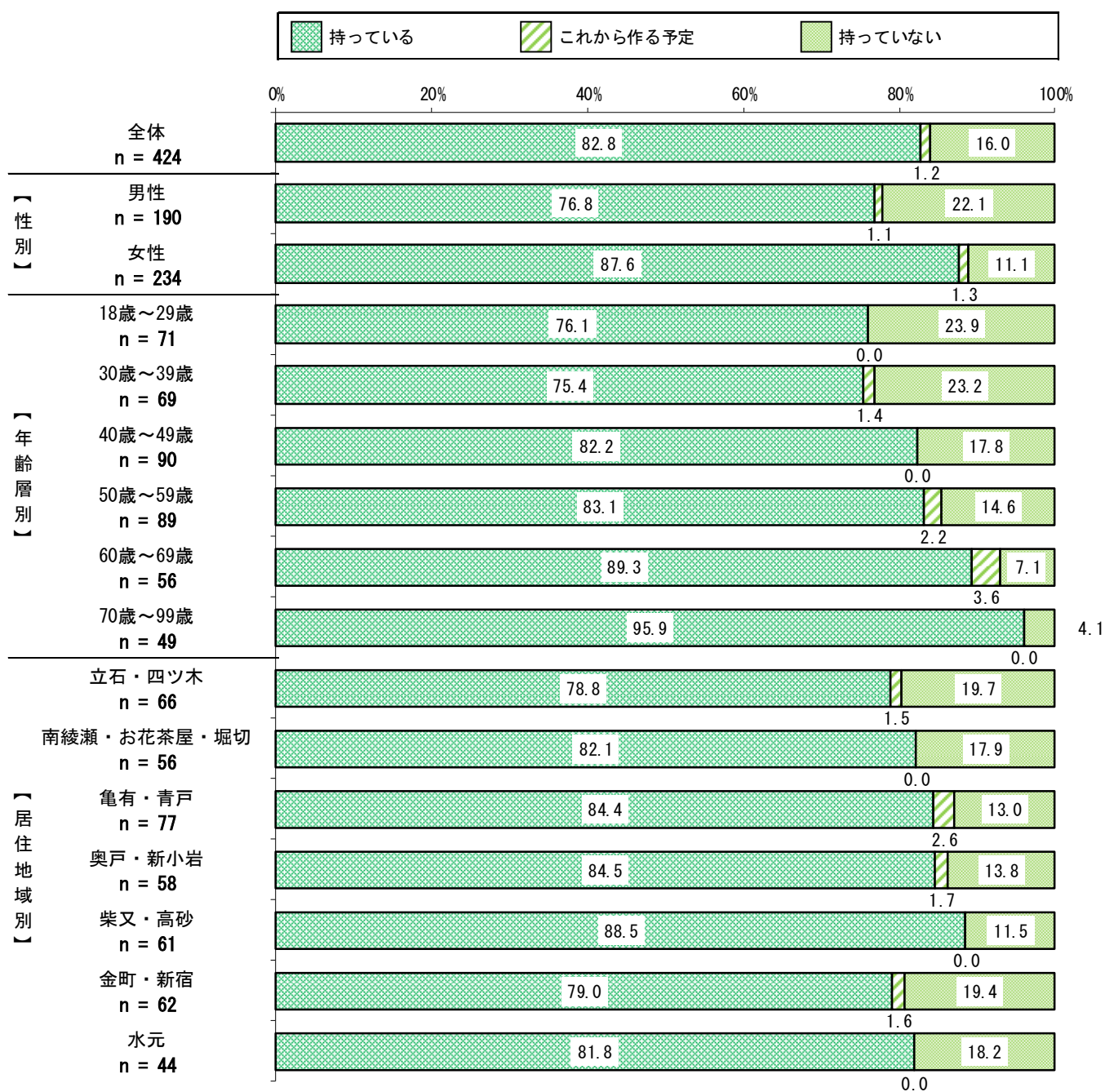
お薬手帳の所有状況【全体】



n = 424

お薬手帳の所有状況は、「持っている」が 82.8%となっている。

お薬手帳の所有状況【全体、性別、年齢層別、居住地域別】



性別でみると、「持っている」は【女性】が 87.6%と、【男性】(76.8%) よりも 10.8 ポイント高くなっている。

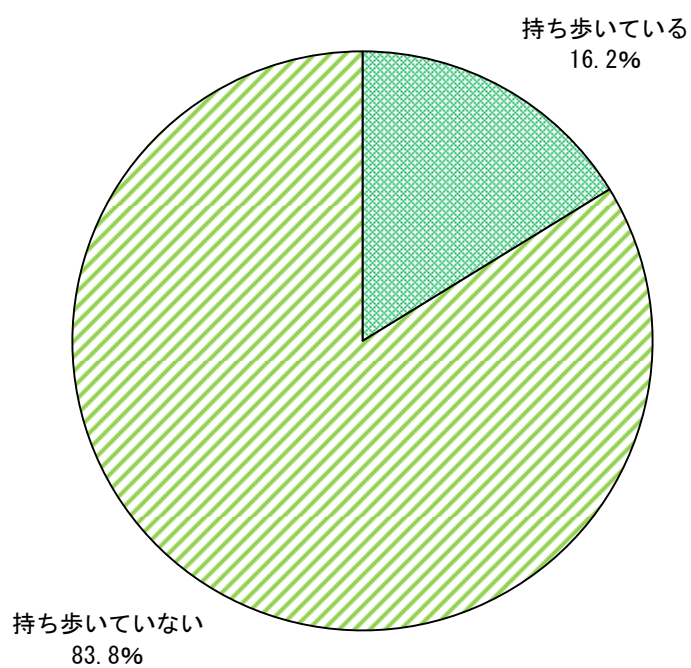
年齢層別でみると、「持っている」は【70 歳～99 歳】が 95.9%と、他の区分に比べ高くなっている。

居住地域別による大きな差はみられない。

(11) お薬手帳を持ち歩いているか

問 11. 問 10 で「持っている」と答えた方に伺います。
お薬手帳を持ち歩いていますか。(1 つ選択)

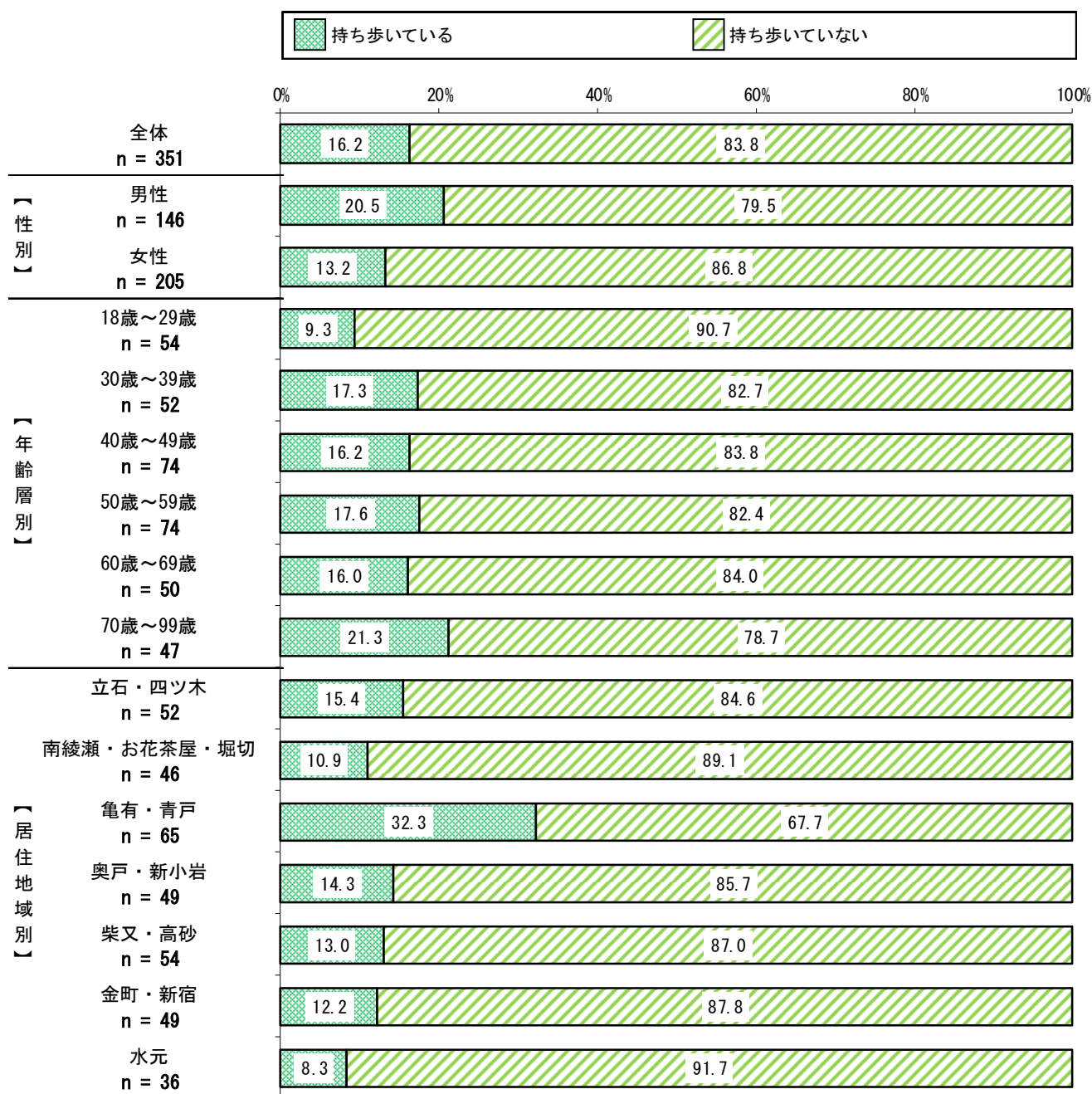
お薬手帳を持ち歩いているか【全体】



n = 351

お薬手帳を持ち歩いているか、「持ち歩いていない」が 83.8%となっている。

お薬手帳を持ち歩いているか【全体、性別、年齢層別、居住地域別】



性別でみると、「持ち歩いている」は【男性】が 20.5%と、【女性】（13.2%）よりも 7.3 ポイント高くなっている。

年齢層別でみると、「持ち歩いている」は【18 歳～29 歳】が 9.3%と、他の区分に比べ低くなっている。

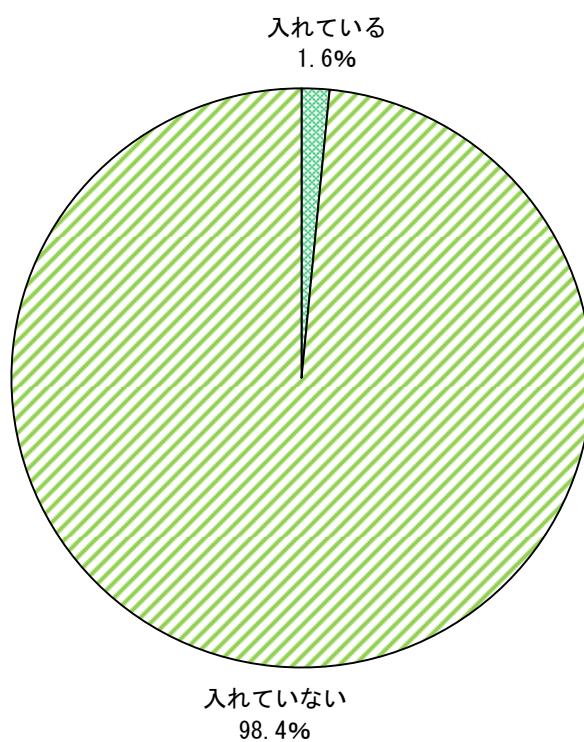
居住地域別でみると、「持ち歩いている」は【亀有・青戸】が 32.3%と、他の区分に比べ高くなっている。

(12) 非常用持ち出し袋にお薬手帳のコピーを入れているか

問 12. 問 4 で「用意している」と答えた方、かつ、問 10 で「持っている」と答えた方に伺います。

非常用持ち出し袋にお薬手帳のコピーを入れていますか。(1 つ選択)

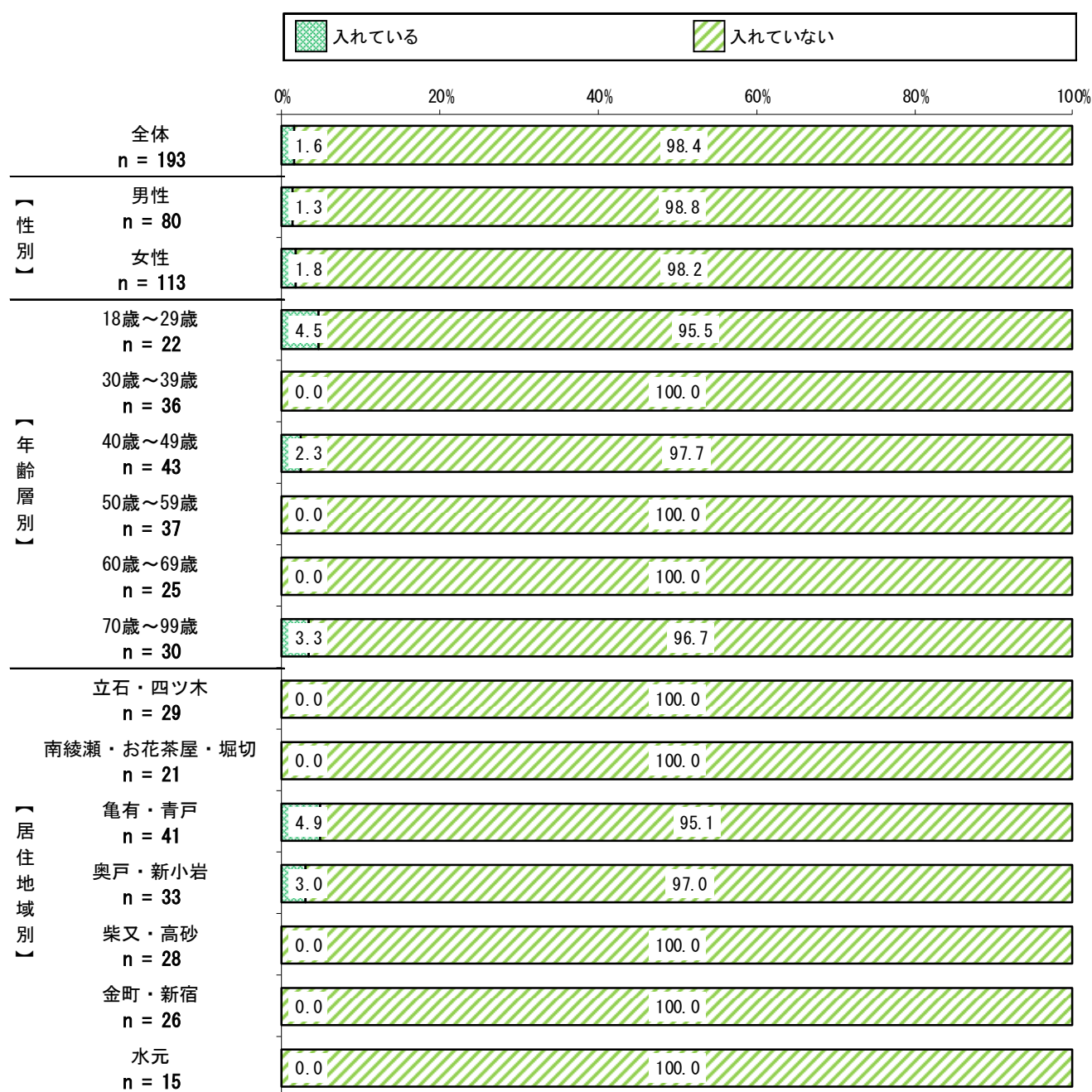
非常用持ち出し袋にお薬手帳のコピーを入れているか【全体】



n = 193

非常用持ち出し袋にお薬手帳のコピーを入れているか、「入れていない」が 98.4%となっている。

非常用持ち出し袋にお薬手帳のコピーを入れているか【全体、性別、年齢層別、居住地域別】

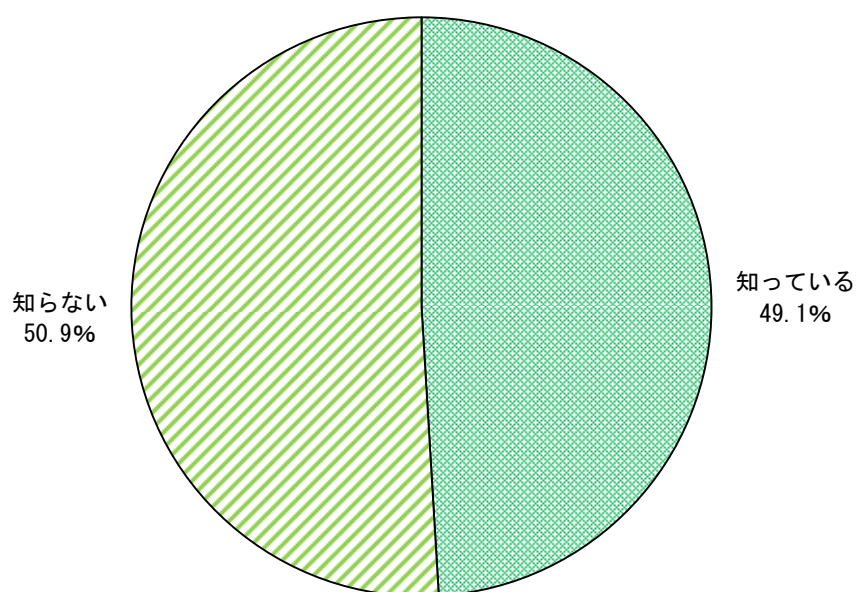


非常用持ち出し袋にお薬手帳のコピーを「入れている」方の割合は、性別・年齢層別・居住地域別による大きな差はみられない。

(13) 電子版お薬手帳の認知度

問 13. 電子版お薬手帳を知っていますか。(1つ選択)

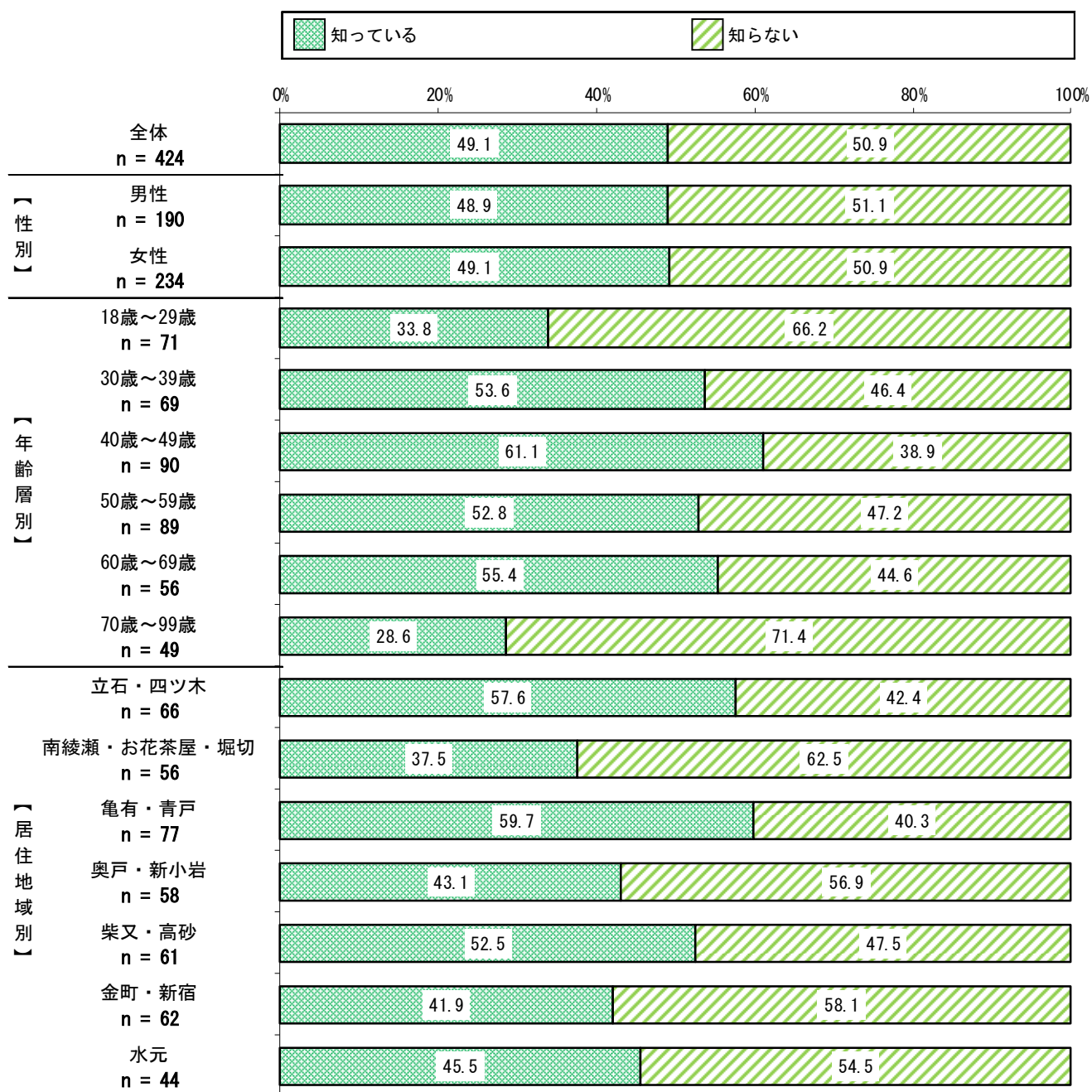
電子版お薬手帳の認知度【全体】



n = 424

電子版お薬手帳の認知度は、「知っている」が 49.1%、「知らない」が 50.9%となっている。

電子版お薬手帳の認知度【全体、性別、年齢層別、居住地域別】



性別による大きな差はみられない。

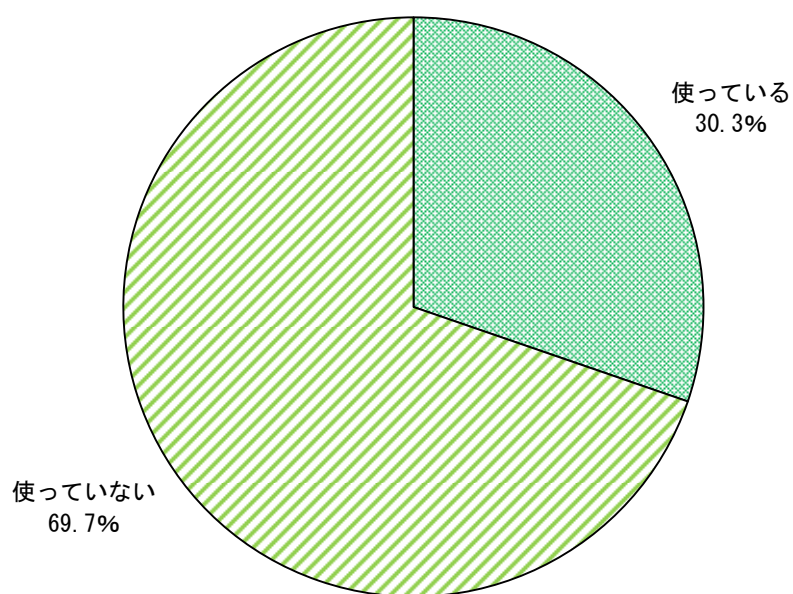
年齢層別でみると、「知っている」は【40歳～49歳】が61.1%と、他の区分に比べ高くなっている。

居住地域別でみると、「知っている」は【亀有・青戸】が59.7%と、他の区分に比べ高くなっている。

(14) 電子版お薬手帳の使用状況

問 14. 問 13 で「知っている」と答えた方に伺います。
電子版お薬手帳を使っていますか。(1 つ選択)

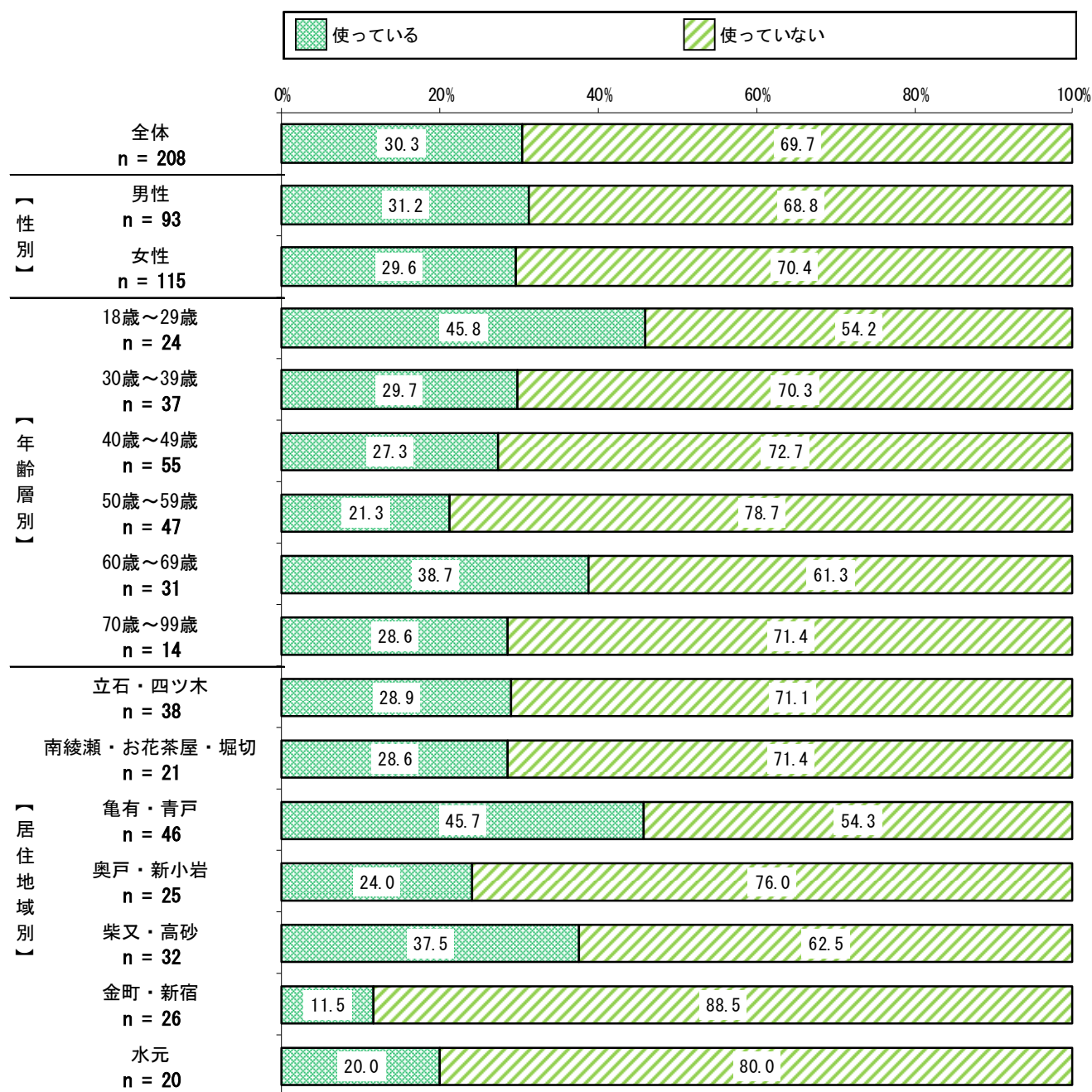
電子版お薬手帳の使用状況【全体】



n = 208

電子版お薬手帳の使用状況は、「使っている」が 30.3%、「使っていない」が 69.7%となっている。

電子版お薬手帳の使用状況【全体、性別、年齢層別、居住地域別】



性別による大きな差はみられない。

年齢層別でみると、「使っている」は【18歳～29歳】が45.8%と、他の区分に比べ高くなっている。

居住地域別でみると、「使っている」は【亀有・青戸】が45.7%と、他の区分に比べ高くなっている。一方、「使っていない」は【金町・新宿】が88.5%、【水元】が80.0%と、他の区分に比べ高くなっている。

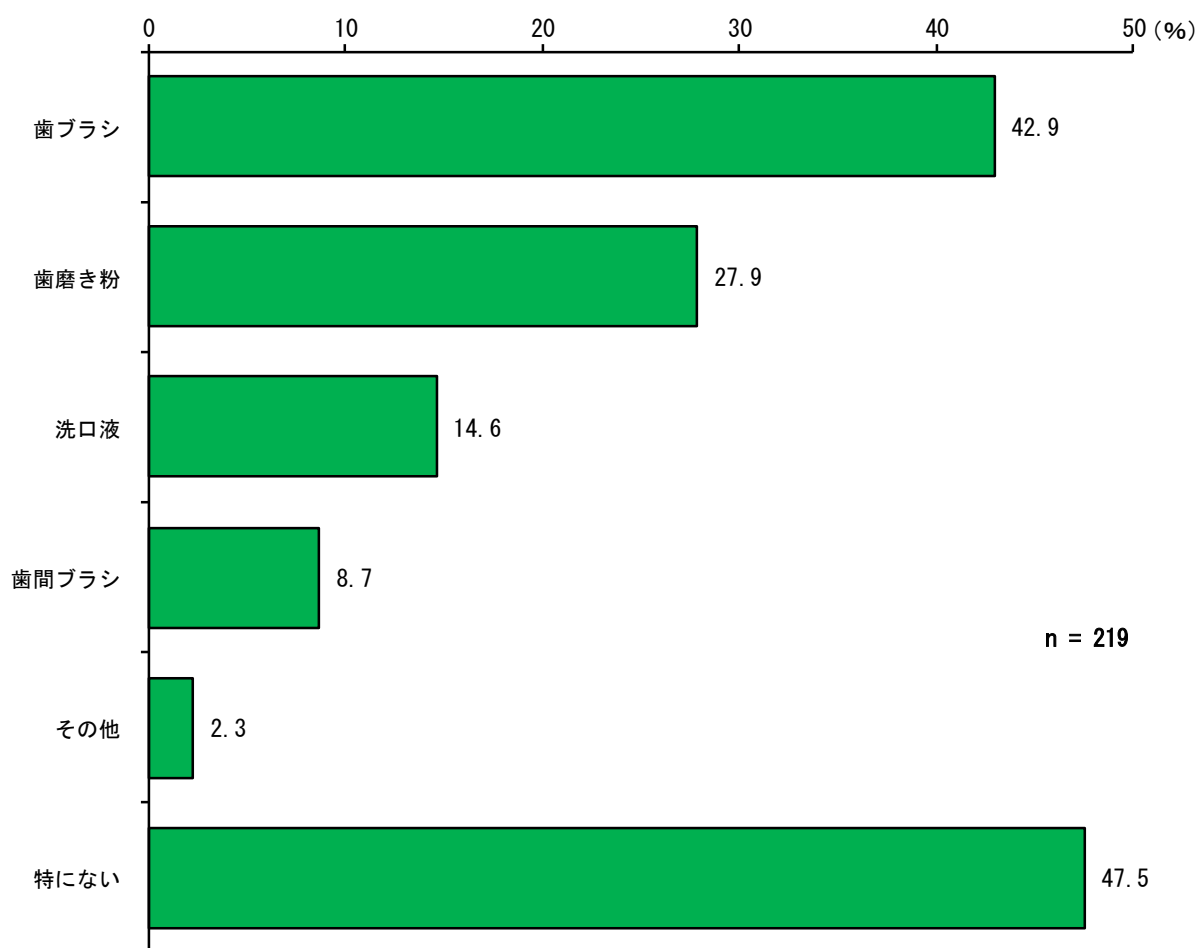
(15) 非常用持ち出し袋に入れている口腔ケア用品

問 15. 問 4 で「用意している」と答えた方に伺います。

災害時、口の中の汚れと免疫力低下が原因で、虫歯や誤嚥(ごえん)性肺炎、インフルエンザ等を患いやすくなります。そのため、口腔ケアは災害時においても重要となります。

非常用持ち出し袋に入れている口腔ケア用品を教えてください。(複数選択可)

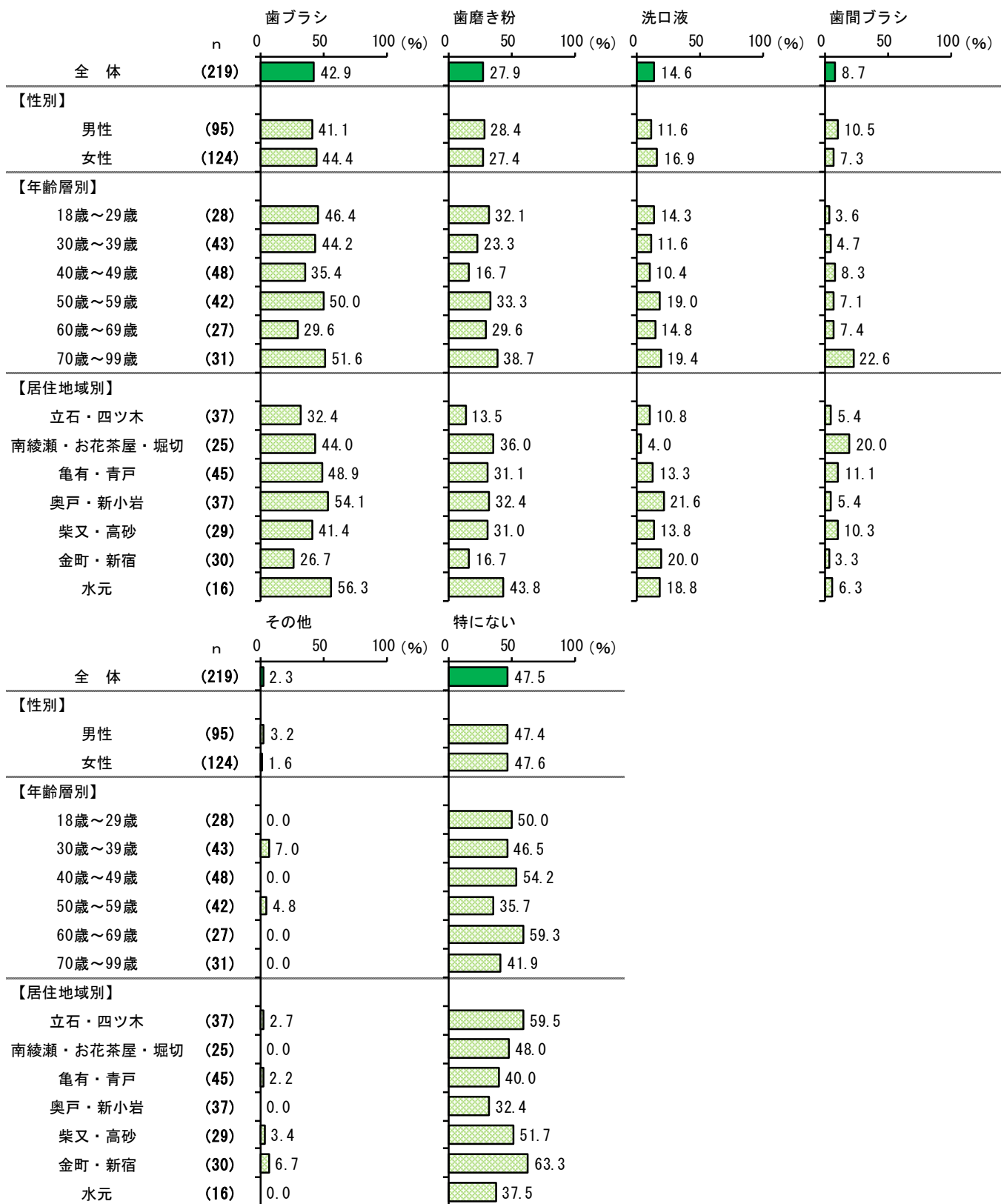
非常用持ち出し袋に入れている口腔ケア用品【全体】



非常用持ち出し袋に入れている口腔ケア用品は、「特になし」が 47.5%となっている。一方、「歯ブラシ」が 42.9%、「歯磨き粉」が 27.9%、「洗口液」が 14.6%となっている。

「その他」の内容としては、「舌ブラシ」「デンタルフロス」「歯磨きシート」などがあつた。

非常用持ち出し袋に入れている口腔ケア用品【全体、性別、年齢層別、居住地域別】



性別でみると、「洗口液」は【女性】が 16.9%と、【男性】（11.6%）よりも 5.3 ポイント高くなっている。

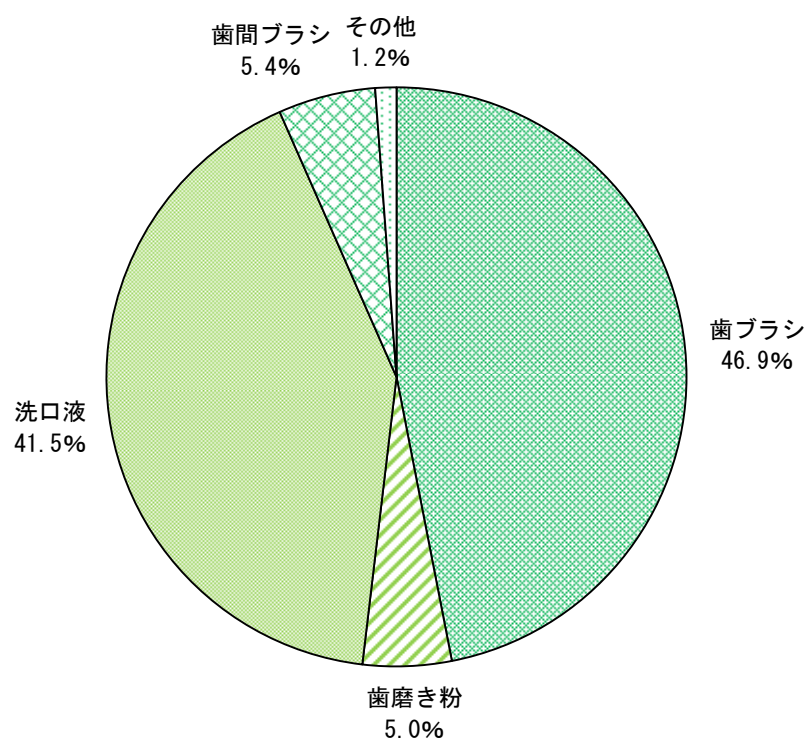
年齢層別でみると、【70 歳～99 歳】は「歯磨き粉」が 38.7%、「歯間ブラシ」が 22.6%と、他の区分に比べ高くなっている。一方、「特にない」は【60 歳～69 歳】が 59.3%と、他の区分に比べ高くなっている。

居住地域別でみると、「歯ブラシ」は【水元】が 56.3%、【奥戸・新小岩】が 54.1%と、他の区分に比べ高くなっている。「歯磨き粉」は【水元】が 43.8%と、他の区分に比べ高くなっている。一方、「特にない」は【金町・新宿】が 63.3%、【立石・四ツ木】が 59.5%と、他の区分に比べ高くなっている。

(16) 災害時に緊急医療救護所にあってほしい口腔ケア用品

問 16. 災害時に緊急医療救護所にあってほしい口腔ケア用品を教えてください。
(1つ選択)

災害時に緊急医療救護所にあってほしい口腔ケア用品【全体】

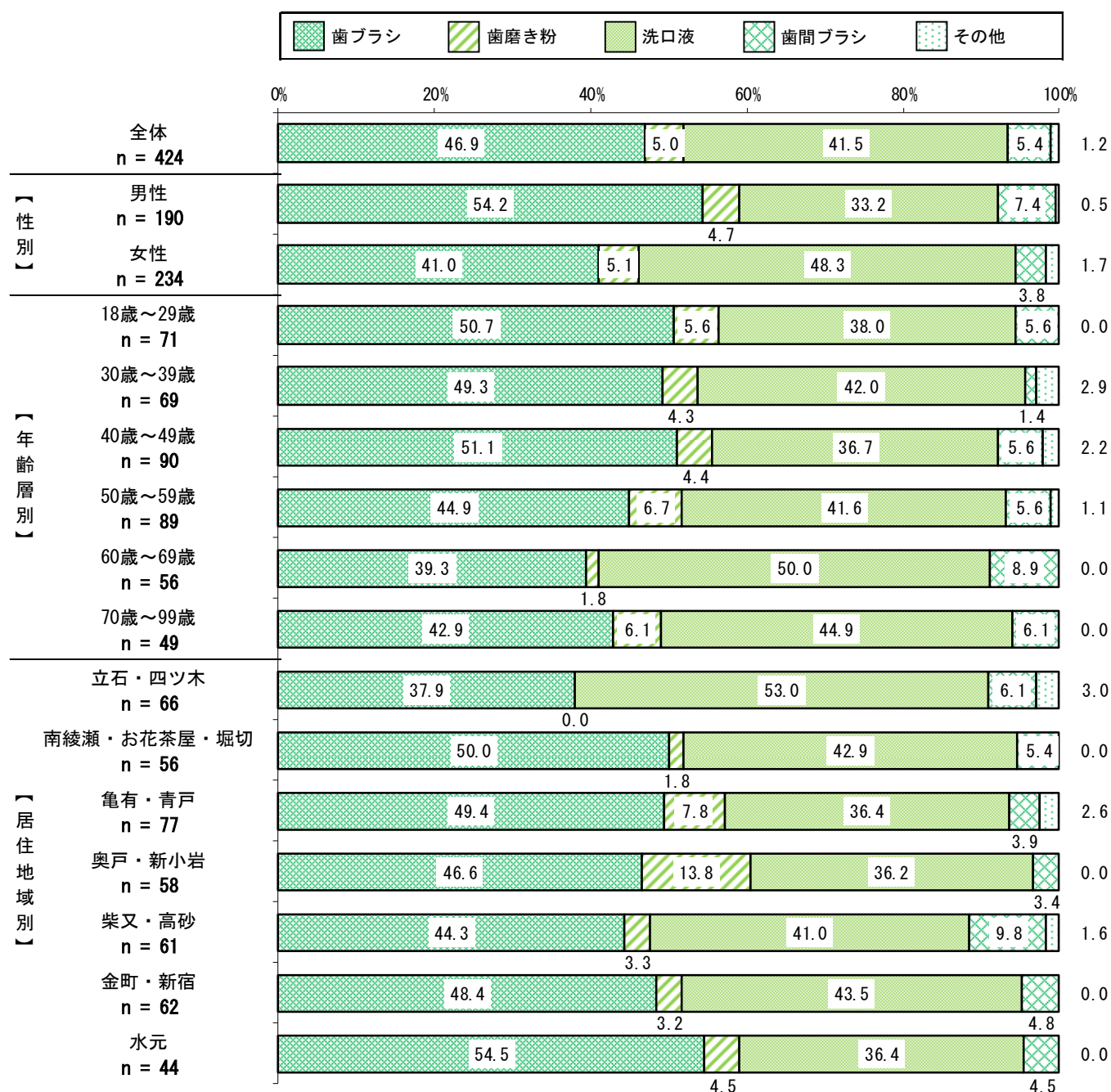


n = 424

災害時に緊急医療救護所にあってほしい口腔ケア用品は、「歯ブラシ」が 46.9%、「洗口液」が 41.5%となっている。

「その他」の内容としては、「歯磨きセット」「歯磨きできるウェットティッシュ」「シート式の口腔ケア用品」などがあった。

災害時に緊急医療救護所にあってほしい口腔ケア用品【全体、性別、年齢層別、居住地域別】



性別でみると、「洗口液」は【女性】が 48.3%と、【男性】（33.2%）よりも 15.1 ポイント高くなっている。一方、「歯ブラシ」は【男性】が 54.2%と、【女性】（41.0%）よりも 13.2 ポイント高くなっている。

年齢層別でみると、「洗口液」は【60 歳～69 歳】が 50.0%と、他の区分に比べ高くなっている。

居住地域別でみると、「洗口液」は【立石・四ツ木】が 53.0%と、他の区分に比べ高くなっている。

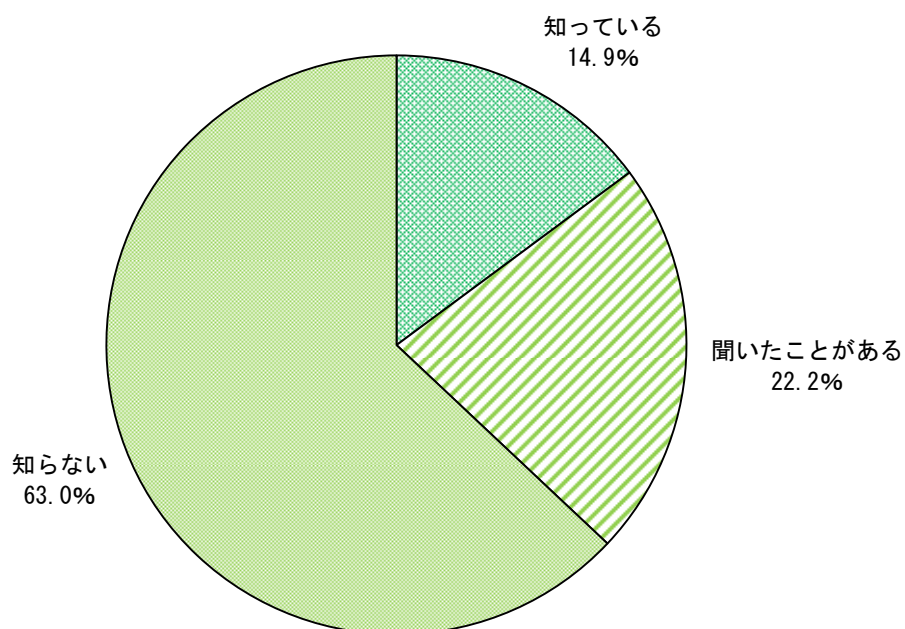
(17) 『R I C Eの法則』の認知度

問 17. 外傷により損傷したときの応急処置「R I C Eの法則」を知っていますか。

(1つ選択)

※R I C Eの法則とは・・・Rest (安静にする)、Ice (冷やす)、Compression (圧迫する)、Elevation (患部を心臓よりも高い位置に保ち、内出血を防ぐ) という4つの手当ての英語の頭文字を用いた総称です。

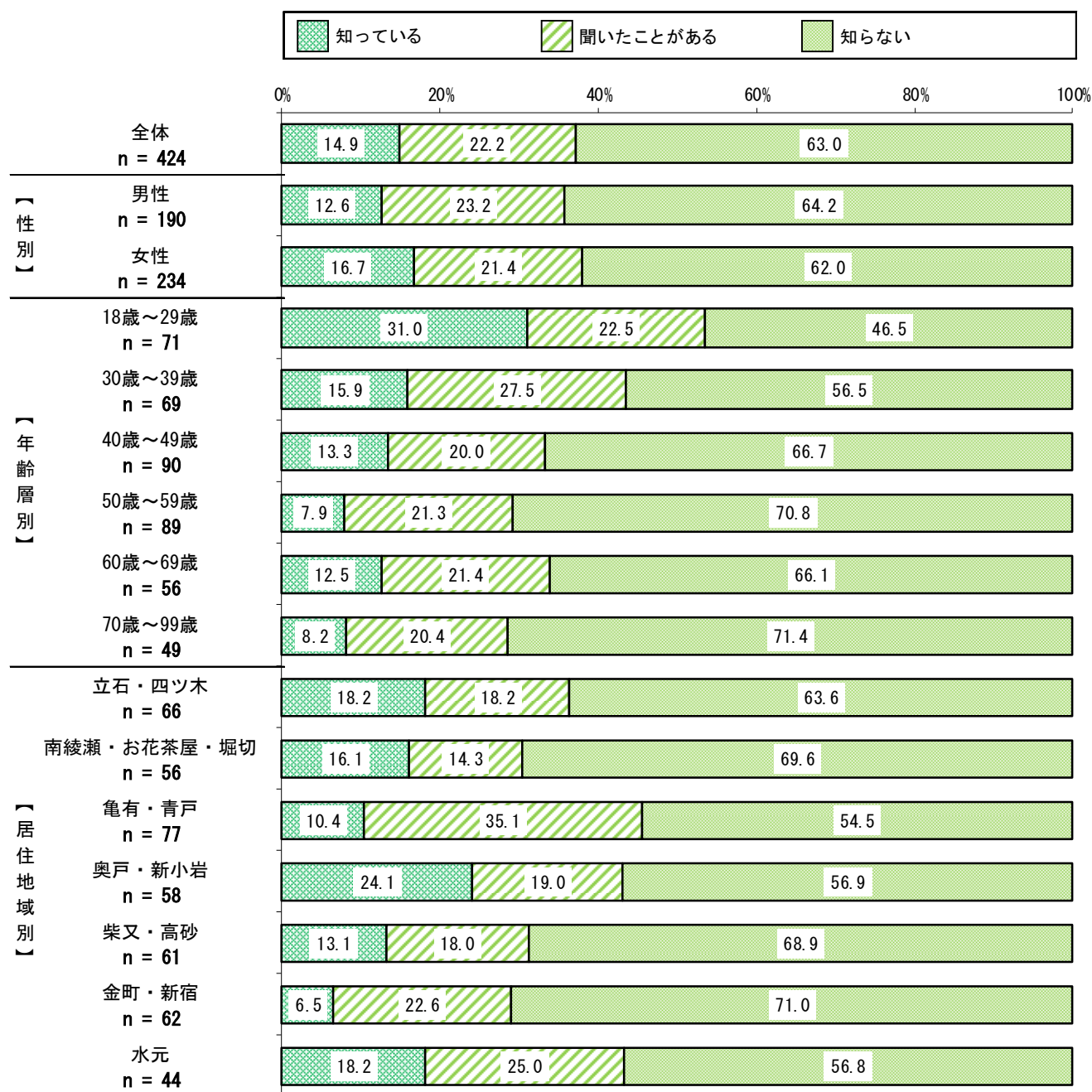
『R I C Eの法則』の認知度【全体】



n = 424

『R I C Eの法則』の認知度は、「知っている」が 14.9%、「聞いたことがある」が 22.2%、「知らない」が 63.0%となっている。

『R I C Eの法則』の認知度【全体、性別、年齢層別、居住地域別】



性別による大きな差はみられない。

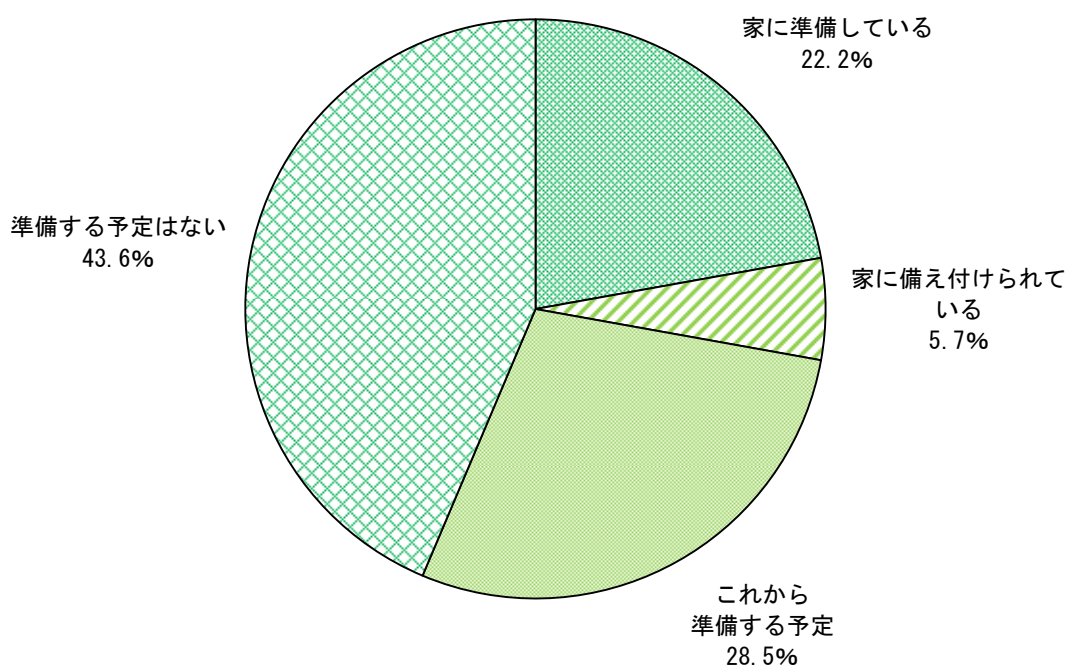
年齢層別でみると、「知っている」は【18歳～29歳】が31.0%と、他の区分に比べ高くなっている。

居住地域別でみると、「聞いたことがある」は【亀有・青戸】が35.1%と、他の区分に比べ高くなっている。

(18) 非常用電源の準備、蓄電池等の設備の備え付けの有無

問 18. 災害時にも使用できる非常用電源（ポータブル電源）の準備、または、蓄電池等の設備は家に備え付けられていますか。（1つ選択）

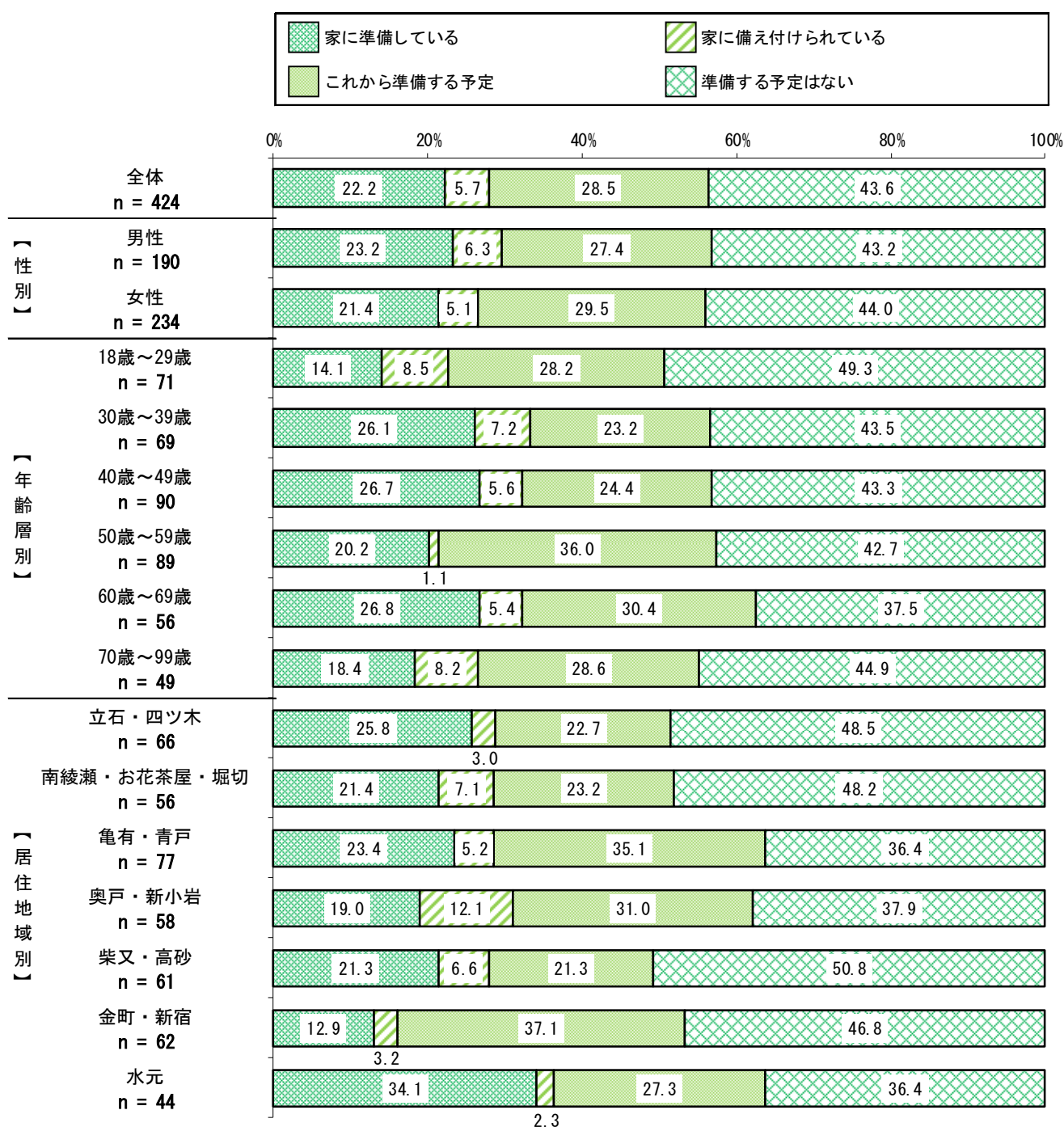
非常用電源の準備、蓄電池等の設備の備え付けの有無【全体】



n = 424

非常用電源の準備、蓄電池等の設備の備え付けの有無は、「家に準備している」が22.2%、「これから準備する予定」が28.5%となっている。一方、「準備する予定はない」が43.6%となっている。

非常用電源の準備、蓄電池等の設備の備え付けの有無【全体、性別、年齢層別、居住地域別】



性別・年齢層別による大きな差はみられない。

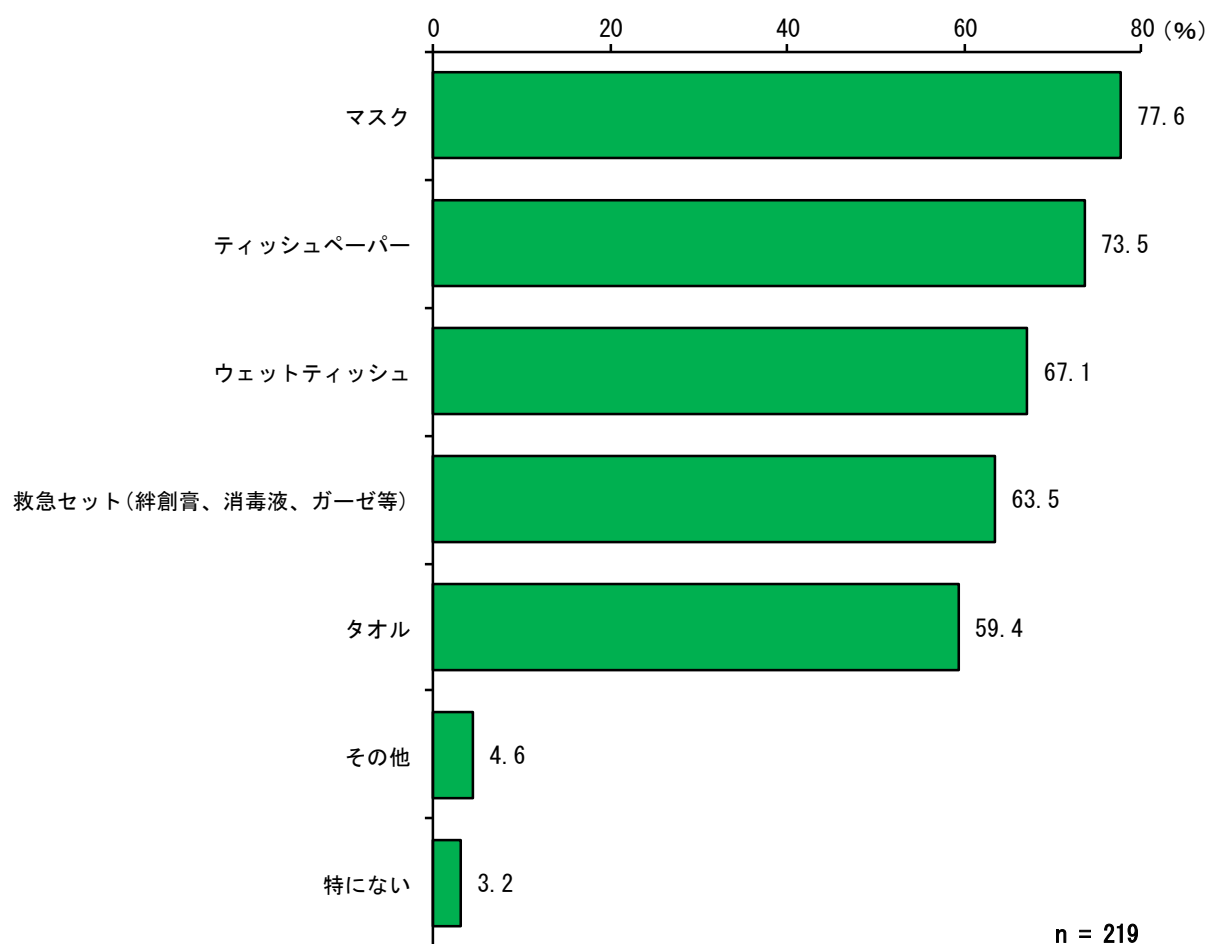
居住地域別でみると、「家に準備している」は【水元】が34.1%と、他の区分に比べ高くなっている。

(19) 非常用持ち出し袋に入れている衛生用品

問 19. 問 4 で「用意している」と答えた方に伺います。

非常用持ち出し袋に入れている衛生用品を教えてください。(複数選択可)

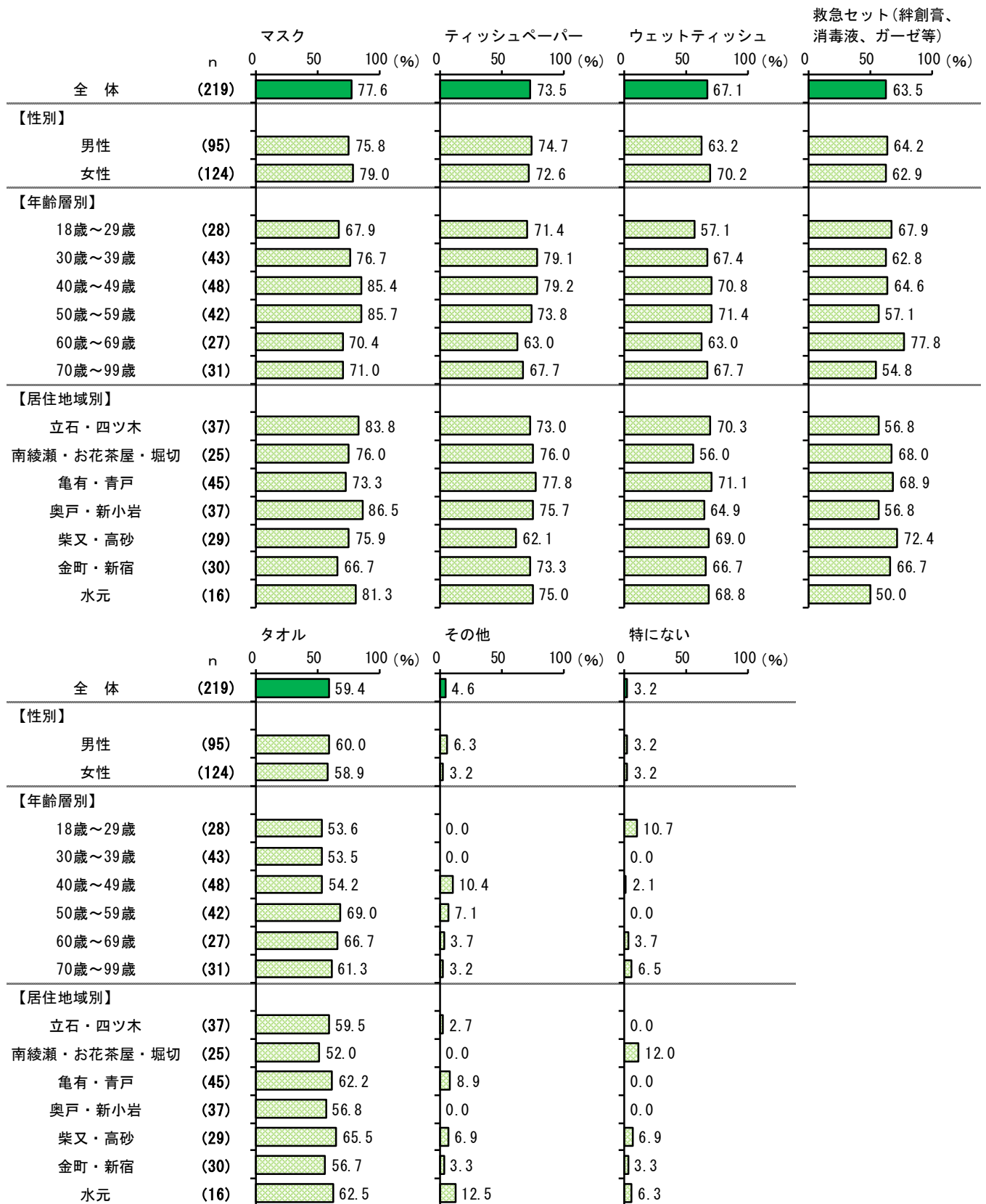
非常用持ち出し袋に入れている衛生用品【全体】



非常用持ち出し袋に入れている衛生用品は、「マスク」が 77.6%で最も高く、次いで「ティッシュペーパー」が 73.5%、「ウェットティッシュ」が 67.1%、「救急セット(絆創膏、消毒液、ガーゼ等)」が 63.5%、「タオル」が 59.4%と続いている。

「その他」の内容としては、「簡易トイレ」「生理用品」「ペット用トイレシート」「止血帯、三角巾、空気で膨らむ副木」などがあつた。

非常用持ち出し袋に入れている衛生用品【全体、性別、年齢層別、居住地域別】



性別でみると、「ウェットティッシュ」は【女性】が70.2%と、【男性】(63.2%) よりも7.0ポイント高くなっている。

年齢層別でみると、【60歳～69歳】は「救急セット(絆創膏、消毒液、ガーゼ等)」が77.8%と、他の区分に比べ高く、「ティッシュペーパー」が63.0%と、他の区分に比べ低くなっている。

居住地域別でみると、「救急セット(絆創膏、消毒液、ガーゼ等)」は【水元】が50.0%、「ティッシュペーパー」は【柴又・高砂】が62.1%、「ウェットティッシュ」は【南綾瀬・お花茶屋・堀切】が56.0%、「マスク」は【金町・新宿】が66.7%と、他の区分に比べ低くなっている。

第2章 調査結果（自転車乗車用ヘルメット購入費補助金について）

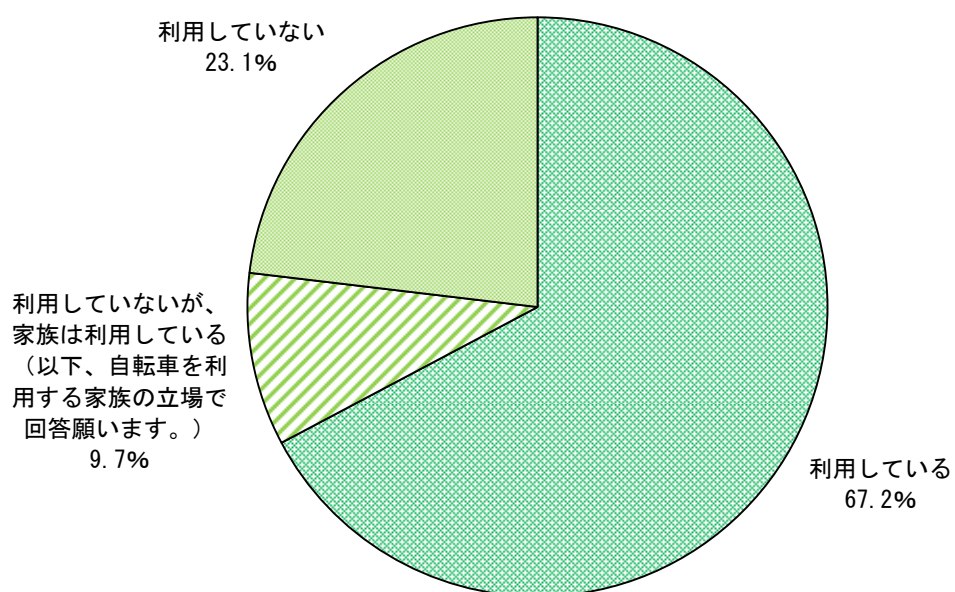
テーマ2 自転車乗車用ヘルメット購入費補助金について

このアンケートは、自転車乗車用ヘルメット着用に関する意識や行動、補助金活用の有無、ヘルメット着用率の向上に向けた施策についての情報を収集することを目的としています。

(20) 自転車の利用状況

問 20. あなたは自転車を利用していますか。(1つ選択)

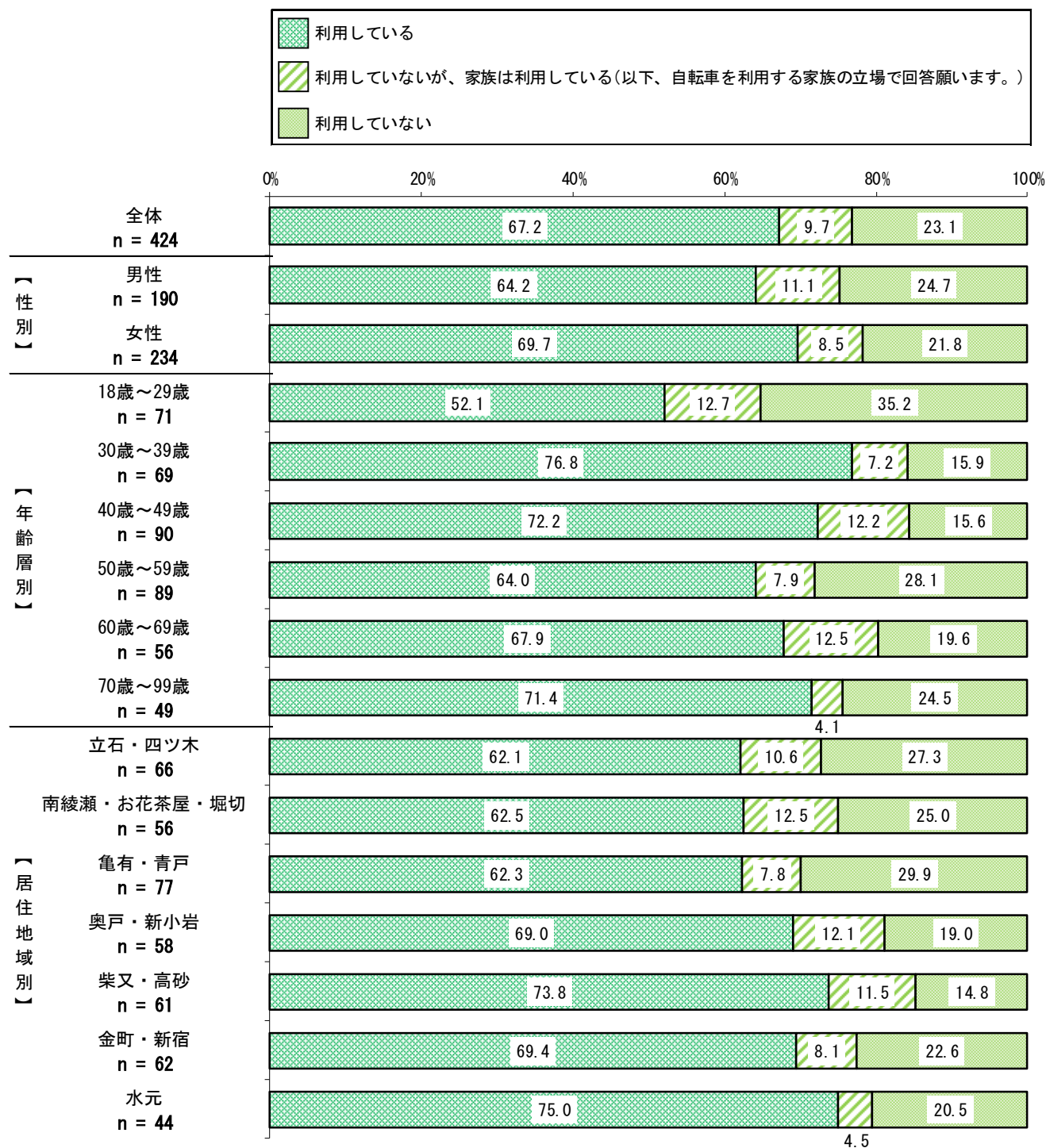
自転車の利用状況【全体】



n = 424

自転車の利用状況は、「利用している」が 67.2%、「利用していないが、家族は利用している（以下、自転車を利用する家族の立場で回答願います。）」が 9.7%、「利用していない」が 23.1%となっている。

自転車の利用状況【全体、性別、年齢層別、居住地域別】



性別でみると、「利用している」は【女性】が69.7%と、【男性】(64.2%)よりも5.5ポイント高くなっている。

年齢層別でみると、「利用していない」は【18歳～29歳】が35.2%と、他の区分に比べ高くなっている。

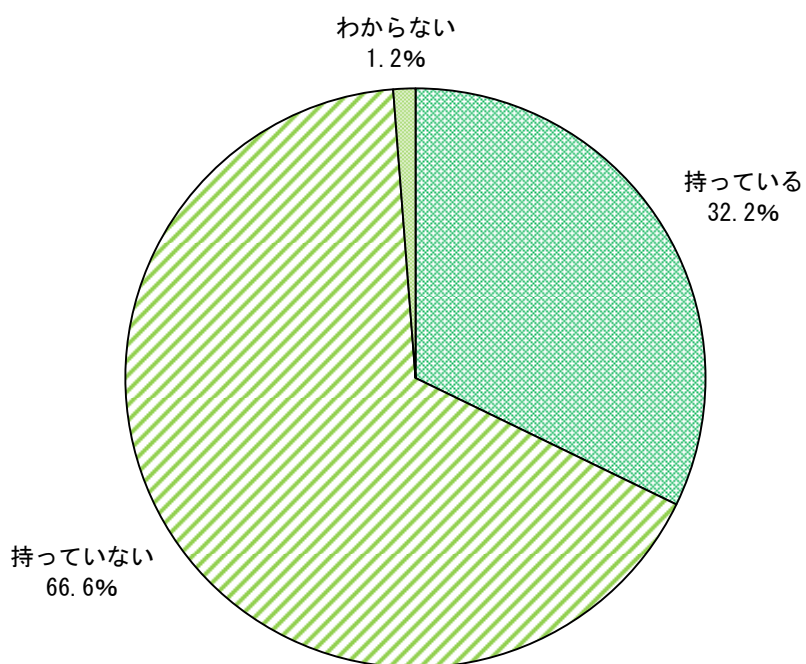
居住地域別による大きな差はみられない。

(21) 自転車用ヘルメット保有状況

問 21. 問 20 で「利用している」「利用していないが、家族は利用している（以下、自転車を利用する家族の立場で回答願います。）」と答えた方に伺います。

自転車用ヘルメットを持っていますか。（1つ選択）

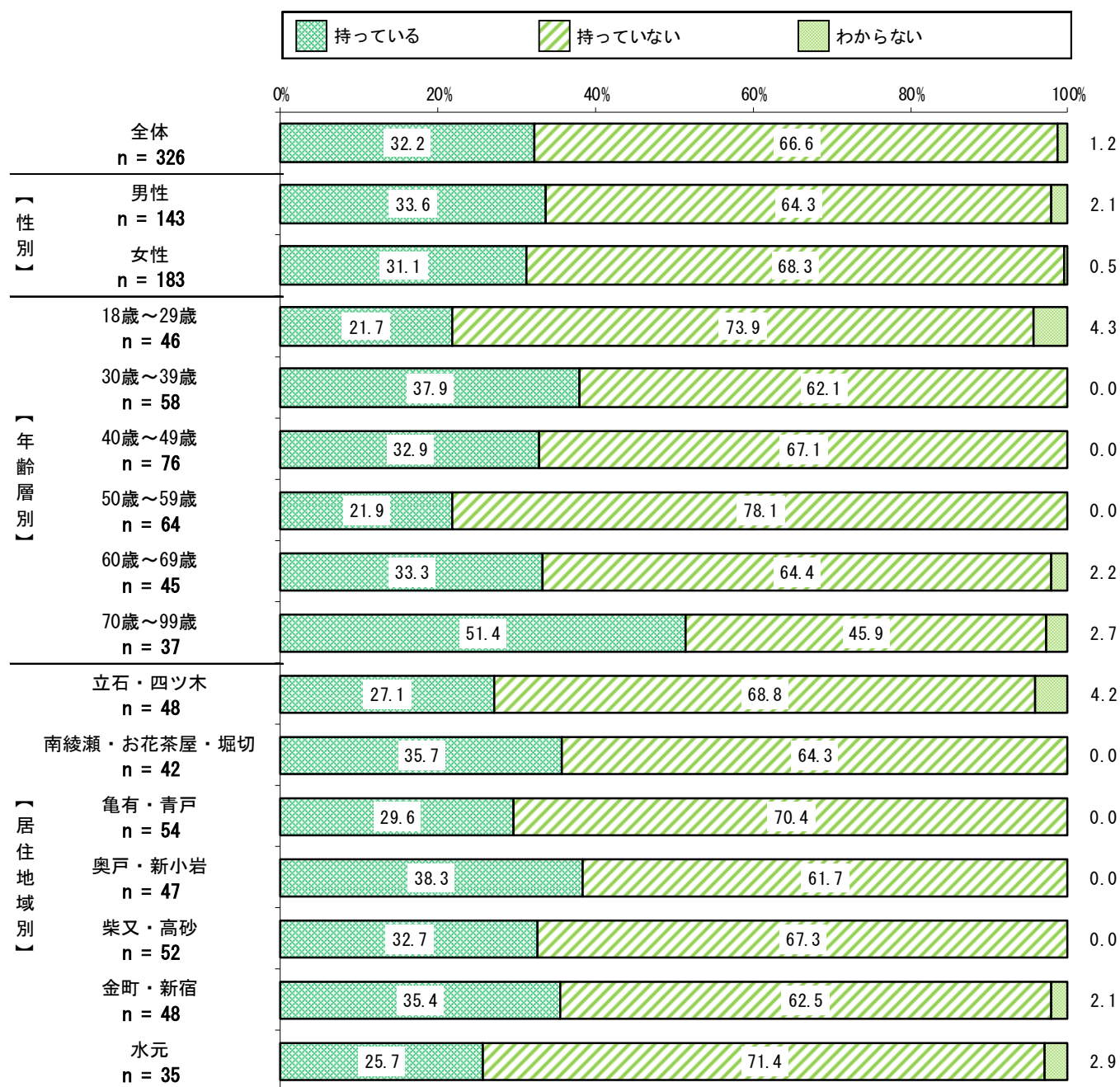
自転車用ヘルメット保有状況【全体】



n = 326

自転車用ヘルメット保有状況は、「持っている」が 32.2%、「持っていない」が 66.6%となっている。

自転車用ヘルメット保有状況【全体、性別、年齢層別、居住地域別】



性別による大きな差はみられない。

年齢層別でみると、「持っている」は【70 歳～99 歳】が 51.4%と、他の区分に比べ高くなっている。

居住地域別による大きな差はみられない。

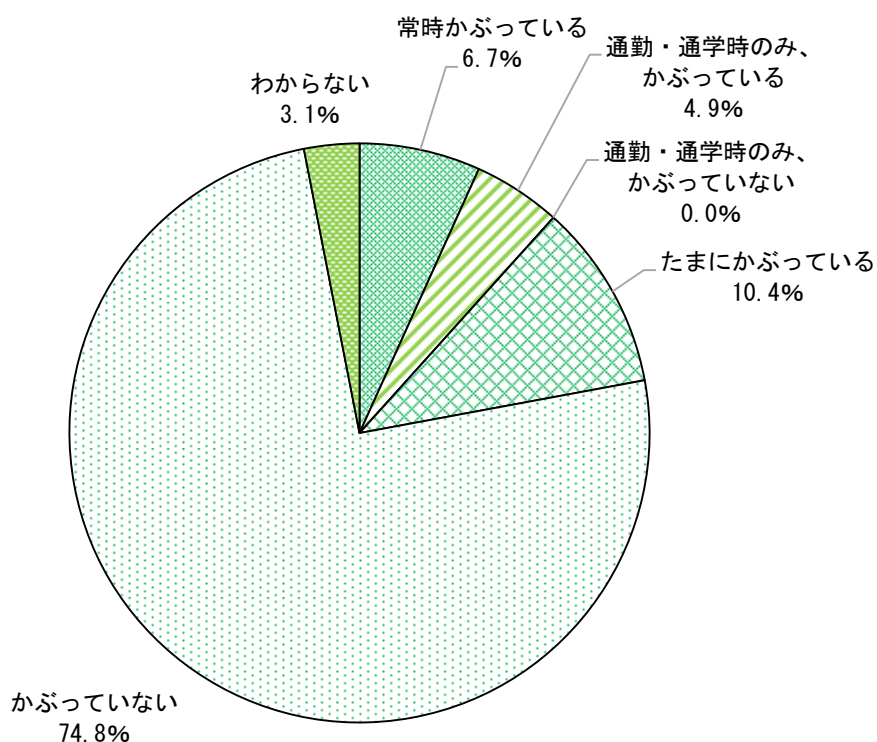
(22) 自転車乗車時にヘルメットをかぶっているか

問 22. 問 20 で「利用している」「利用していないが、家族は利用している（以下、自転車を利用する家族の立場で回答願います。）」と答えた方に伺います。

自転車乗車時にヘルメットをかぶっていますか。（1つ選択）

※自転車に乗る際のヘルメットの着用は、2023 年 4 月 1 日から「努力義務」となり、全世代でヘルメット着用が求められています。

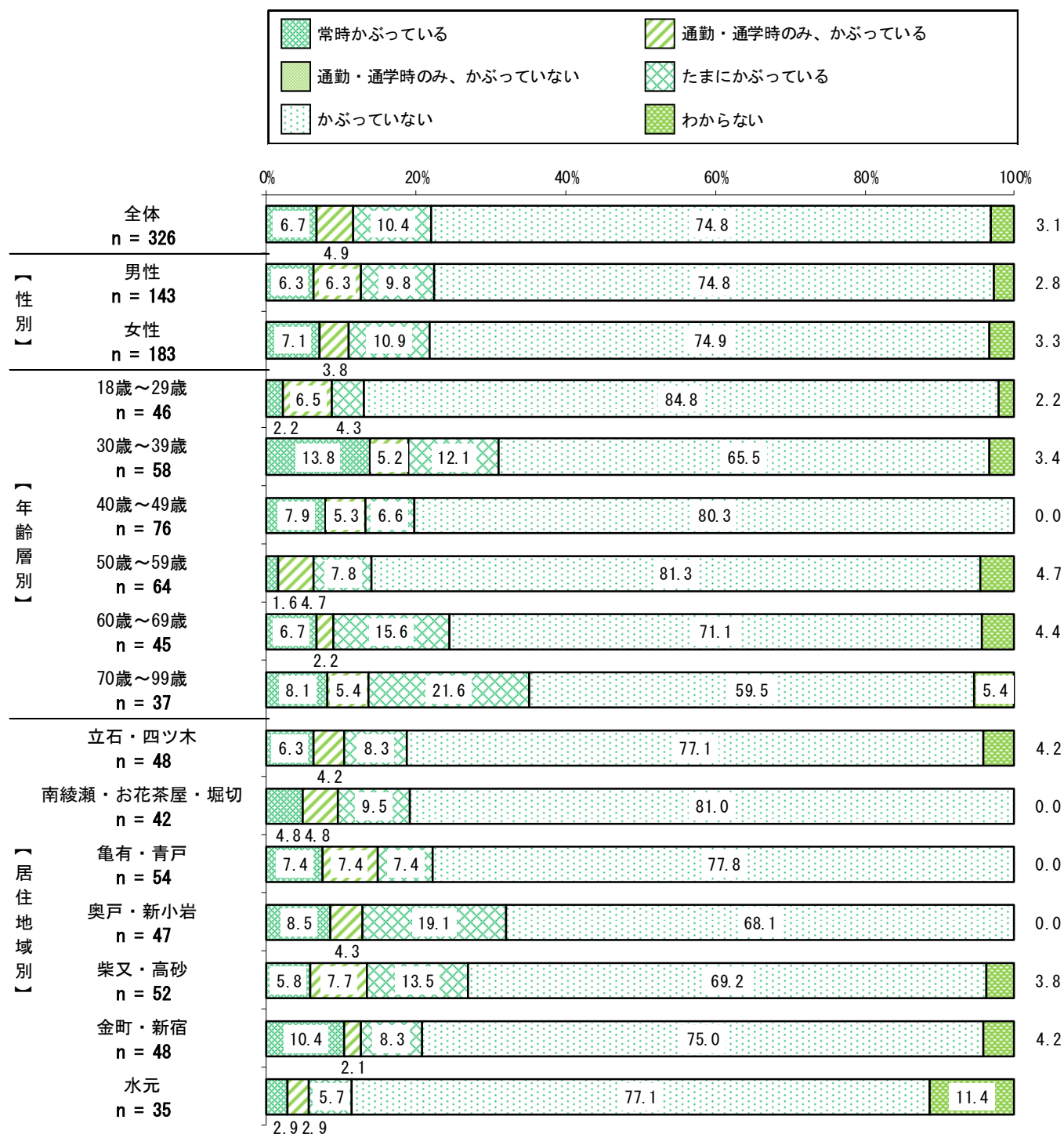
自転車乗車時にヘルメットをかぶっているか【全体】



n = 326

自転車乗車時にヘルメットをかぶっているか、「かぶっていない」が 74.8%となっている。一方、「常時かぶっている」が 6.7%、「通勤・通学時のみ、かぶっている」が 4.9%、「たまにかぶっている」が 10.4%となっている。

自転車乗車時にヘルメットをかぶっているか【全体、性別、年齢層別、居住地域別】



※「通勤・通学時のみ、かぶっていない」は回答者がいないため、割愛している

性別による大きな差はみられない。

年齢層別でみると、「たまにかぶっている」は【70歳～99歳】が21.6%と、他の区分に比べ高くなっている。

居住地域別でみると、「たまにかぶっている」は【奥戸・新小岩】が19.1%と、他の区分に比べ高くなっている。

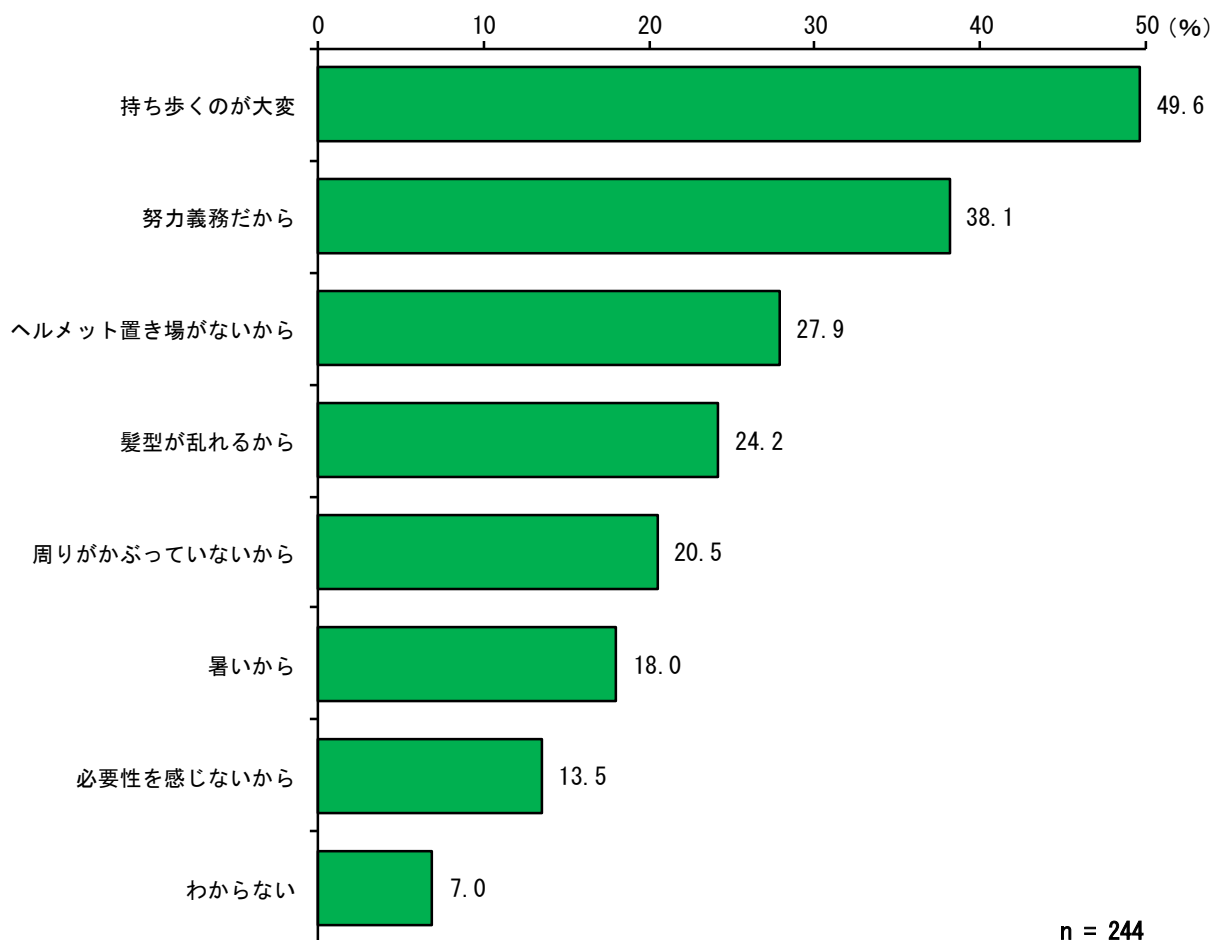
(23) ヘルメットをかぶらない理由（持っていない理由）

問 23. 問 22 で「かぶっていない」と答えた方に伺います。

ヘルメットをかぶらない理由（持っていない理由）を教えてください。

（複数選択可）

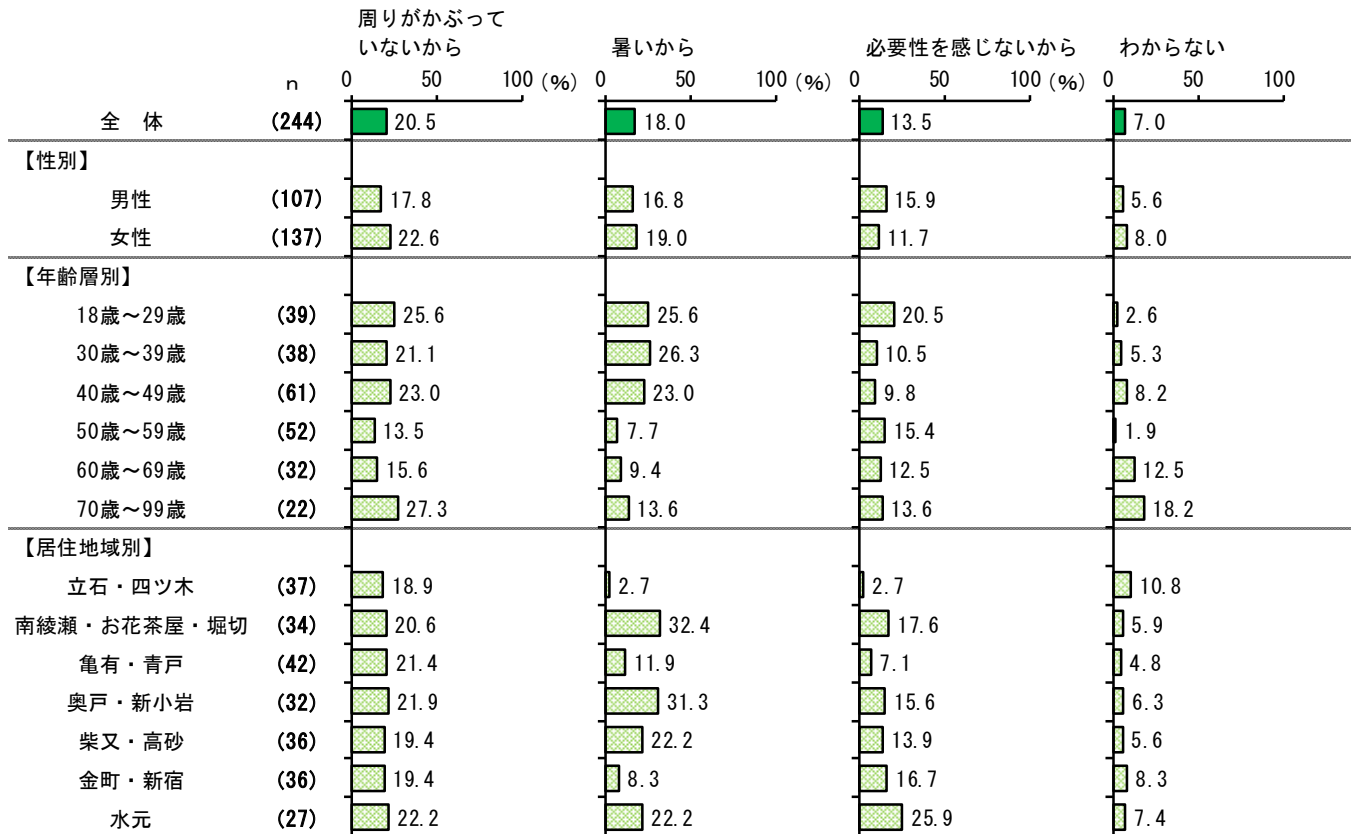
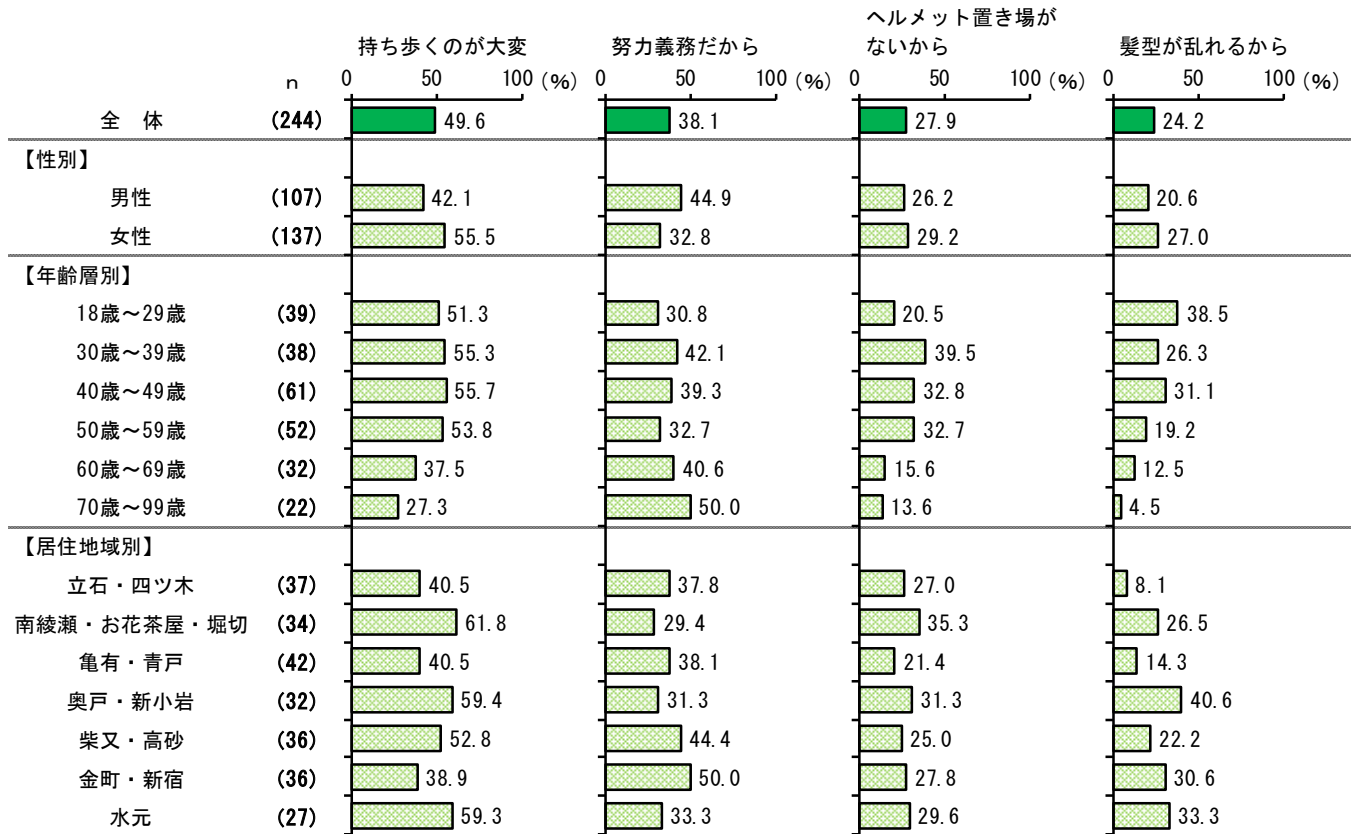
ヘルメットをかぶらない理由（持っていない理由）【全体】



n = 244

ヘルメットをかぶらない理由（持っていない理由）は、「持ち歩くのが大変」が 49.6%で最も高く、次いで「努力義務だから」が 38.1%、「ヘルメット置き場がないから」が 27.9%、「髪型が乱れるから」が 24.2%、「周りがかぶっていないから」が 20.5%、「暑いから」が 18.0%と続いている。

ヘルメットをかぶらない理由（持っていない理由）【全体、性別、年齢層別、居住地域別】



性別でみると、「努力義務だから」は【男性】が44.9%と、【女性】(32.8%)よりも12.1ポイント高くなっている。

年齢層別でみると、「髪型が乱れるから」は【18歳～29歳】が38.5%、「努力義務だから」は【70歳～99歳】が50.0%と、他の区分に比べ高くなっている。

居住地域別でみると、「髪型が乱れるから」は【奥戸・新小岩】が40.6%、「暑いから」は【南綾瀬・お花茶屋・堀切】が32.4%、【奥戸・新小岩】が31.3%、「必要性を感じないから」は【水元】が25.9%、「持ち歩くのが大変」は【南綾瀬・お花茶屋・堀切】が61.8%、「努力義務だから」は【金町・新宿】が50.0%と、他の区分に比べ高くなっている。

(24) ヘルメットをかぶるために必要なきっかけ

問 24. 問 20 で「利用している」と答えた方、かつ、問 22 で「かぶっていない」と答えた方に伺います。

あなた自身は、どのようなきっかけがあれば、ヘルメットをかぶりますか。

(自由記述)

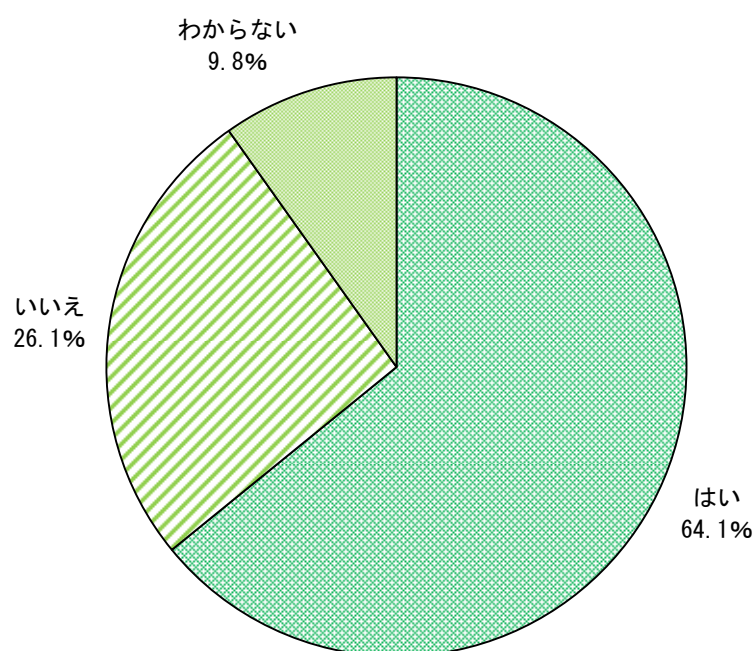
【主な意見】

- ヘルメット着用が強制になった場合。
- バイクのように自転車にもヘルメットが取り付けられるようになり且つ盗難のおそれが無くなればかぶる。
- カバンに入るなど、手に持たないで良いようになれば。
- 怪我をした時。
- おしゃれなデザイン。
- 髪型がキープできて、おしゃれでヘルメットと分らない物ならかぶりたいと思う。
- 自転車購入時、ヘルメットが着いてくる。また、自転車所持者へのヘルメット配布。
- ヘルメット購入補助金と周りの着用率が上がればかぶると思います。
- 購入補助金ではなく支給してもらえれば装着します。
- 髪が乱れても自転車に乗っている人は仕方ないという考えに世間様になったら。髪が乱れても気にならない気持ちに変化したら。
- ヘルメットの価格が安くなる。
- ヒヤッとする思いをしたなら。
- コンパクトで使いやすいヘルメットがあれば、かぶることを検討します。
- コンパクトで持ち運びできるリーズナブルなヘルメットがあればかぶります。盗難が心配で自転車には置いて行けません。
- コンパクトに収納できるようなヘルメット、あるいは少しおしゃれな感じで自分が気に入ったヘルメットを見つけたら、購入してかぶると思います。
- かぶったり脱いだりするのによりストレスの少ないヘルメットを見つければ購入して使うかもしれません。あまり大げさなのは好みません。
- 着脱が簡単で安全に(盗難リスク、破損リスク)自転車に取り付けられるようなヘルメットがあればと思います。駅前の駐輪場等はかなり幅も狭いので、ヘルメットバッグを皆がぶら下げると入庫・出庫時に破損トラブルが起きそうです。
- 葛飾区では絶対に盗まれると思うので、盗まれない仕組みがあれば良い。
- 努力義務ではなく法規制により徹底すべき。
- 違反、罰金の対象になる。
- 法律で義務になれば、かぶらざるをえない。
- 法制化されるか罰則でも科されない限りはかぶらないと思います。
- 罰則規定があればかぶらなければならないと思っています。ヘルメットの重要性をそこまで感じていない。
- 法的義務。
- 電動自転車への乗り換えや着用の義務化。

(25) 自転車乗車時、危険を感じたことがあるか

問 25. 問 20 で「利用している」「利用していないが、家族は利用している（以下、自転車を利用する家族の立場で回答願います。）」と答えた方に伺います。
自転車乗車時に、危険を感じたことがありますか。（1 つ選択）

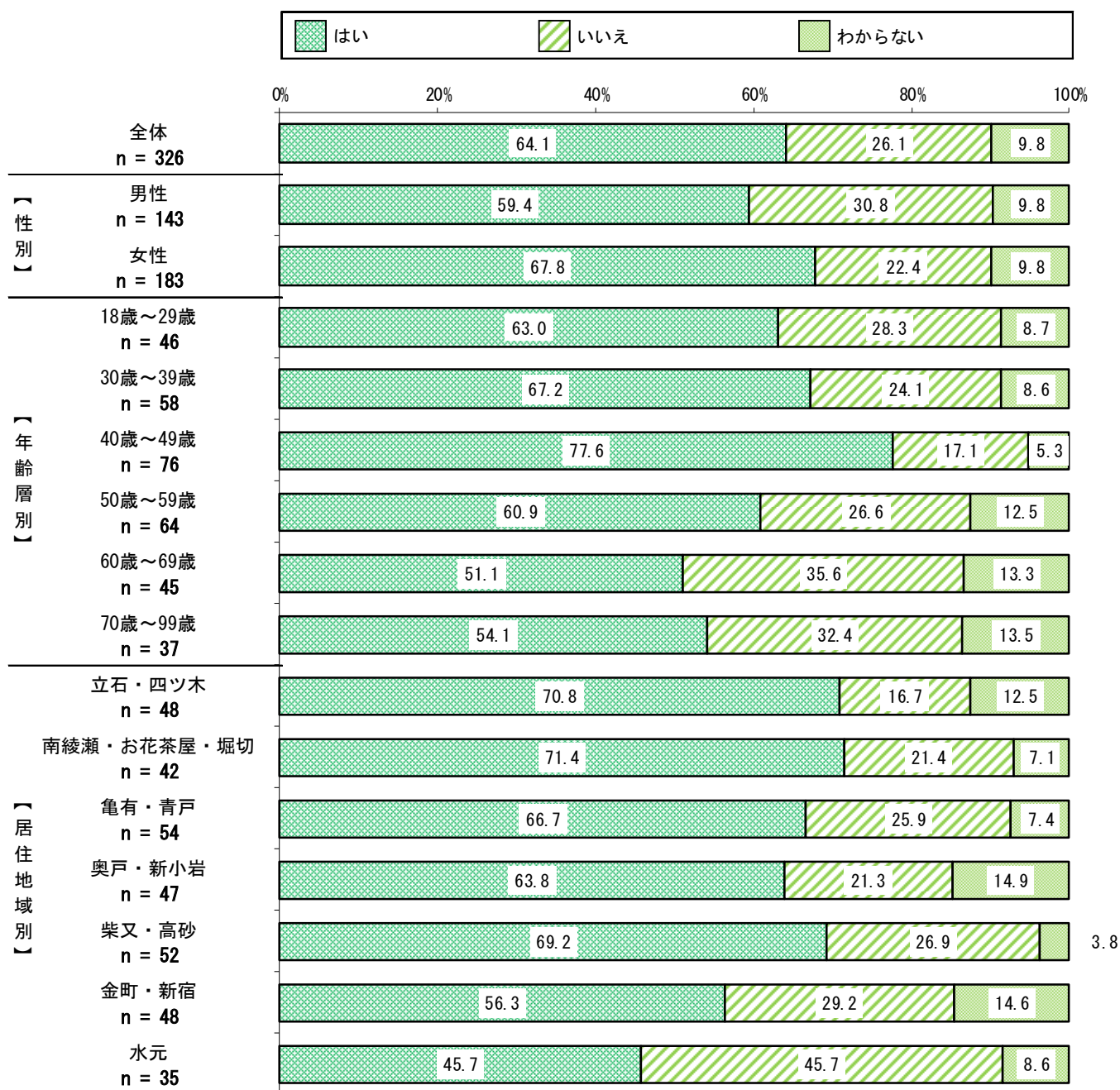
自転車乗車時、危険を感じたことがあるか【全体】



n = 326

自転車乗車時、危険を感じたことがあるか、「はい」が 64.1%、「いいえ」が 26.1%となっている。

自転車乗車時、危険を感じたことがあるか【全体、性別、年齢層別、居住地域別】



性別でみると、「はい」は【女性】が67.8%と、【男性】(59.4%) よりも8.4ポイント高くなっている。

年齢層別でみると、「はい」は【40歳～49歳】が77.6%と、他の区分に比べ高くなっている。

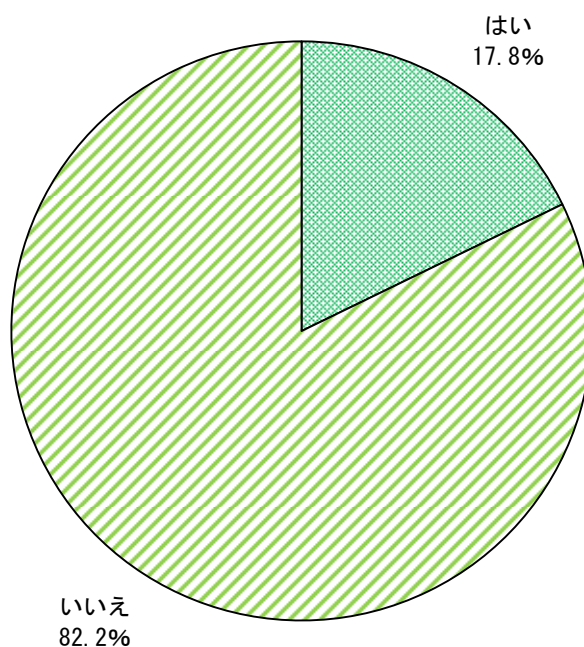
居住地域別でみると、「いいえ」は【水元】が45.7%と、他の区分に比べ高くなっている。

(26) 自転車乗車時、事故の経験

問 26. 問 20 で「利用している」「利用していないが、家族は利用している（以下、自転車を
利用する家族の立場で回答願います。）」と答えた方に伺います。

自転車乗車時に、事故に遭った、あるいは事故を起こしてしまったことがあります
か。（1つ選択）

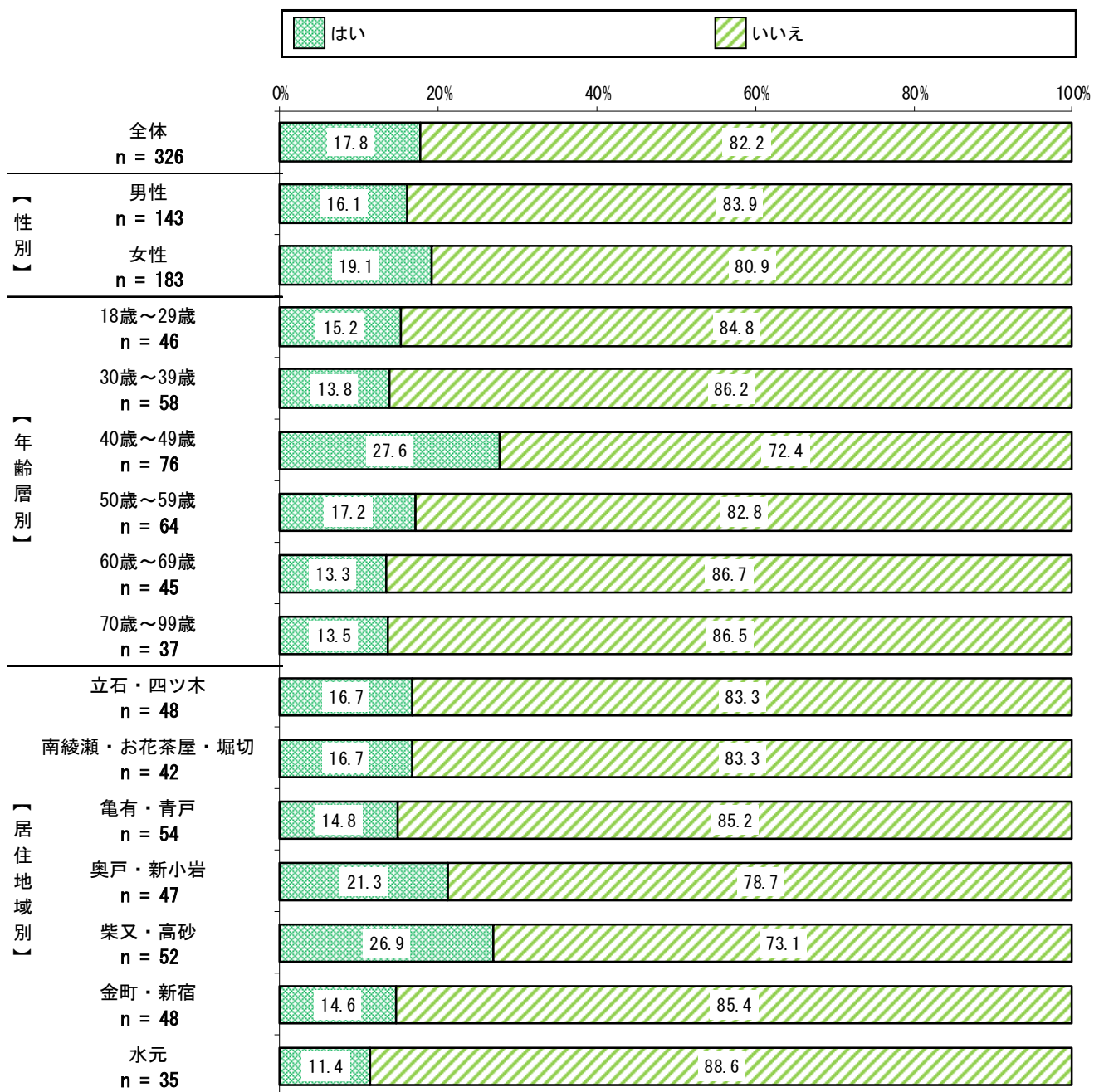
自転車乗車時、事故の経験【全体】



n = 326

自転車乗車時、事故の経験は、「いいえ」が 82.2%となっている。

自転車乗車時、事故の経験【全体、性別、年齢層別、居住地域別】



性別による大きな差はみられない。

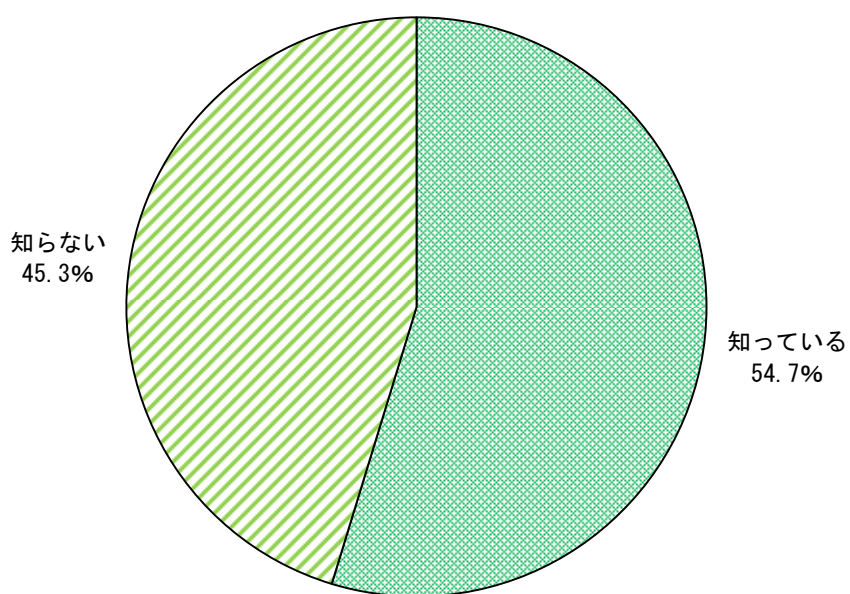
年齢層別でみると、「はい」は【40 歳～49 歳】が 27.6%と、他の区分に比べ高くなっている。

居住地域別でみると、「はい」は【柴又・高砂】が 26.9%と、他の区分に比べ高くなっている。

(27) 自転車乗車用ヘルメット購入費補助金の認知度

問 27. 葛飾区では、自転車乗車用ヘルメット購入費補助金があることを知っていますか。
(1つ選択)

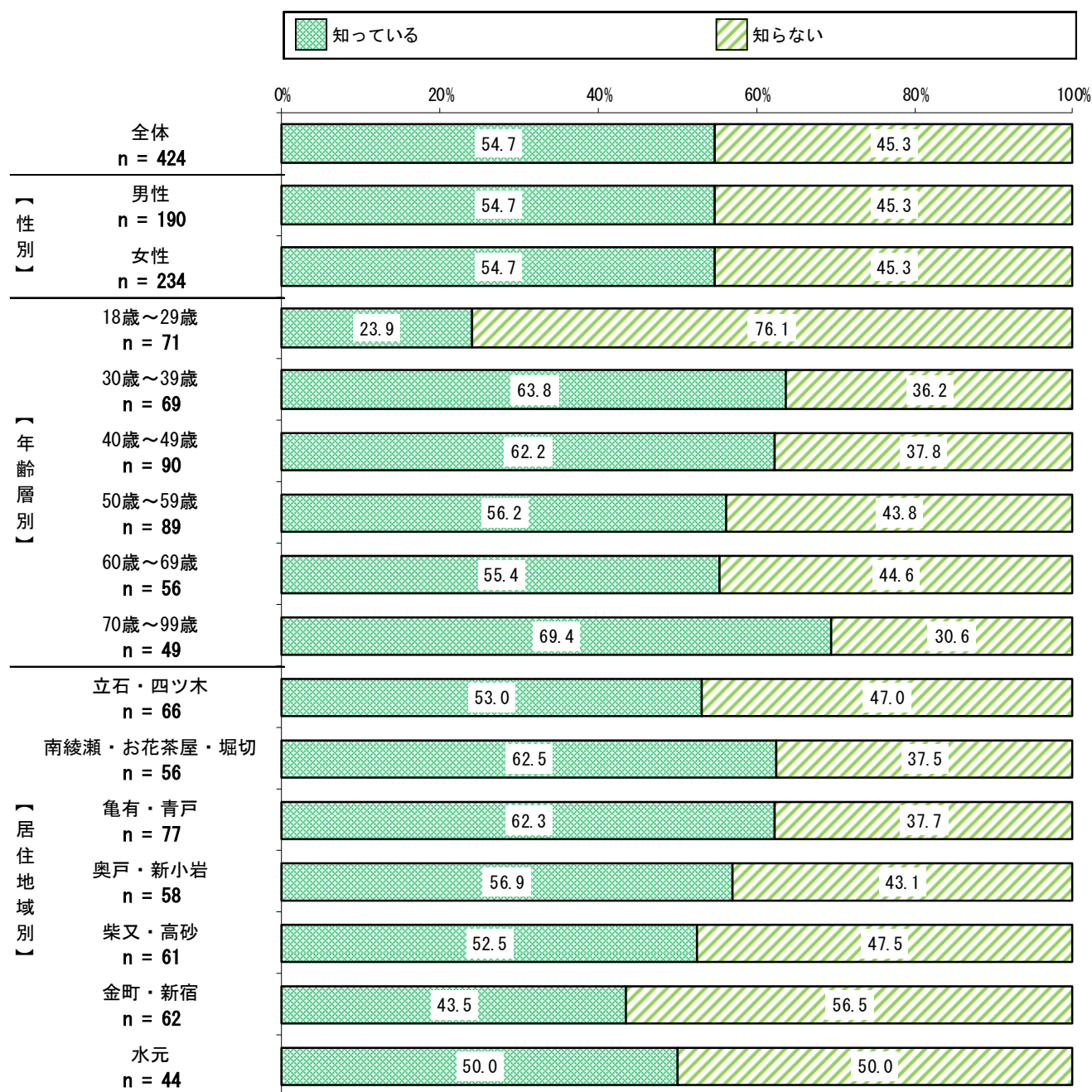
自転車乗車用ヘルメット購入費補助金の認知度【全体】



n = 424

自転車乗車用ヘルメット購入費補助金の認知度は、「知っている」が 54.7%、「知らない」が 45.3%となっている。

自転車乗車用ヘルメット購入費補助金の認知度【全体、性別、年齢層別、居住地域別】



性別による大きな差はみられない。

年齢層別でみると、「知っている」は【70歳～99歳】が69.4%、「知らない」は【18歳～29歳】が76.1%と、他の区分に比べ高くなっている。

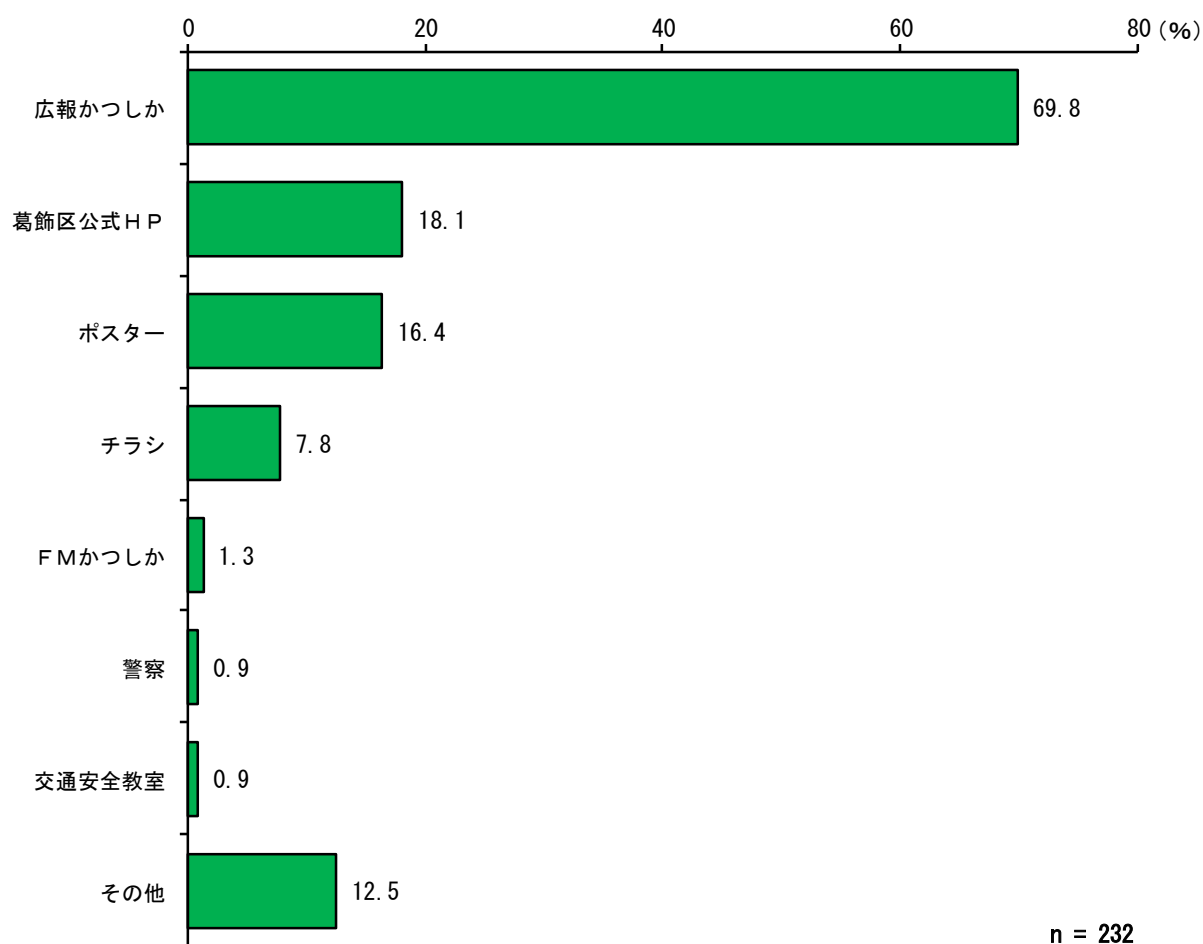
居住地域別でみると、「知らない」は【金町・新宿】が56.5%と、他の区分に比べ高くなっている。

(28) 自転車乗車用ヘルメット購入費補助金の認知経路

問 28. 問 27 で「知っている」と答えた方に伺います。

自転車乗車用ヘルメット購入費補助金をどこで知りましたか。(複数選択可)

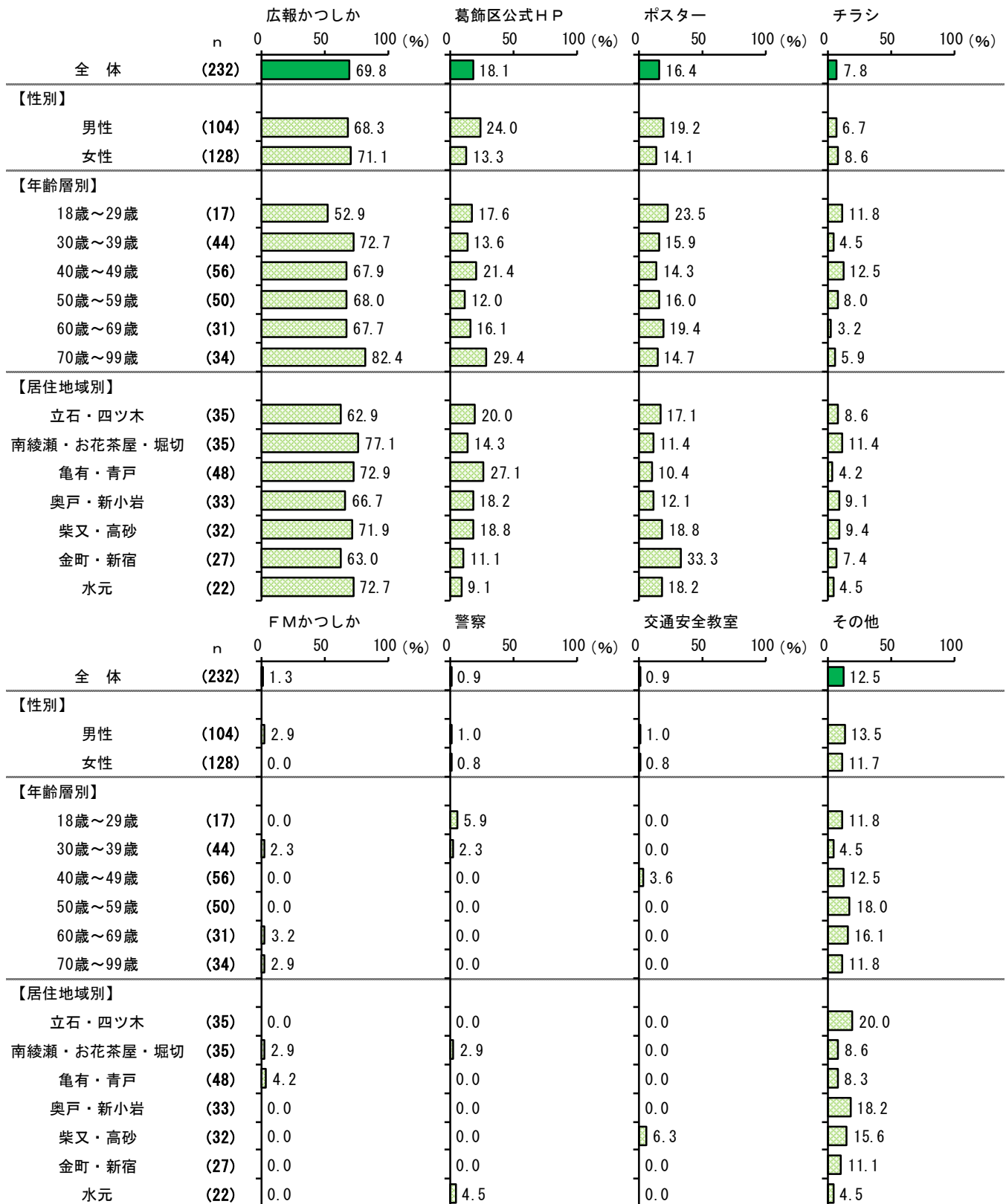
自転車乗車用ヘルメット購入費補助金の認知経路【全体】



自転車乗車用ヘルメット購入費補助金の認知経路は、「広報かつしか」が 69.8%で最も高くなっている。以下「葛飾区公式HP」が 18.1%、「ポスター」が 16.4%となっている。

「その他」の内容としては、「自転車販売店」「友人から」「自治会」「家族から聞いた」「テレビの報道番組」などがあつた。

自転車乗車用ヘルメット購入費補助金の認知経路【全体、性別、年齢層別、居住地域別】



性別でみると、「葛飾区公式HP」は【男性】が24.0%と、【女性】（13.3%）よりも10.7ポイント、「ポスター」は【男性】が19.2%と、【女性】（14.1%）よりも5.1ポイント高くなっている。

年齢層別でみると、【70歳～99歳】は「広報かつしか」が82.4%、「葛飾区公式HP」が29.4%と、他の区分に比べ高くなっている。

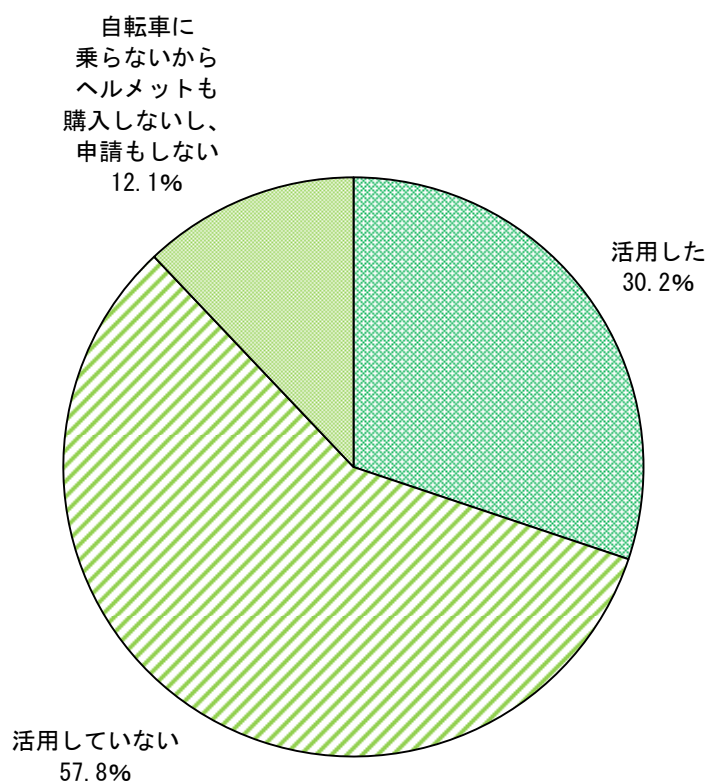
居住地域別でみると、「ポスター」は【金町・新宿】が33.3%と、他の区分に比べ高くなっている。

(29) 自転車乗車用ヘルメット購入費補助金の活用状況

問 29. 問 27 で「知っている」と答えた方に伺います。

自転車乗車用ヘルメット購入費補助金を活用しましたか。(1つ選択)

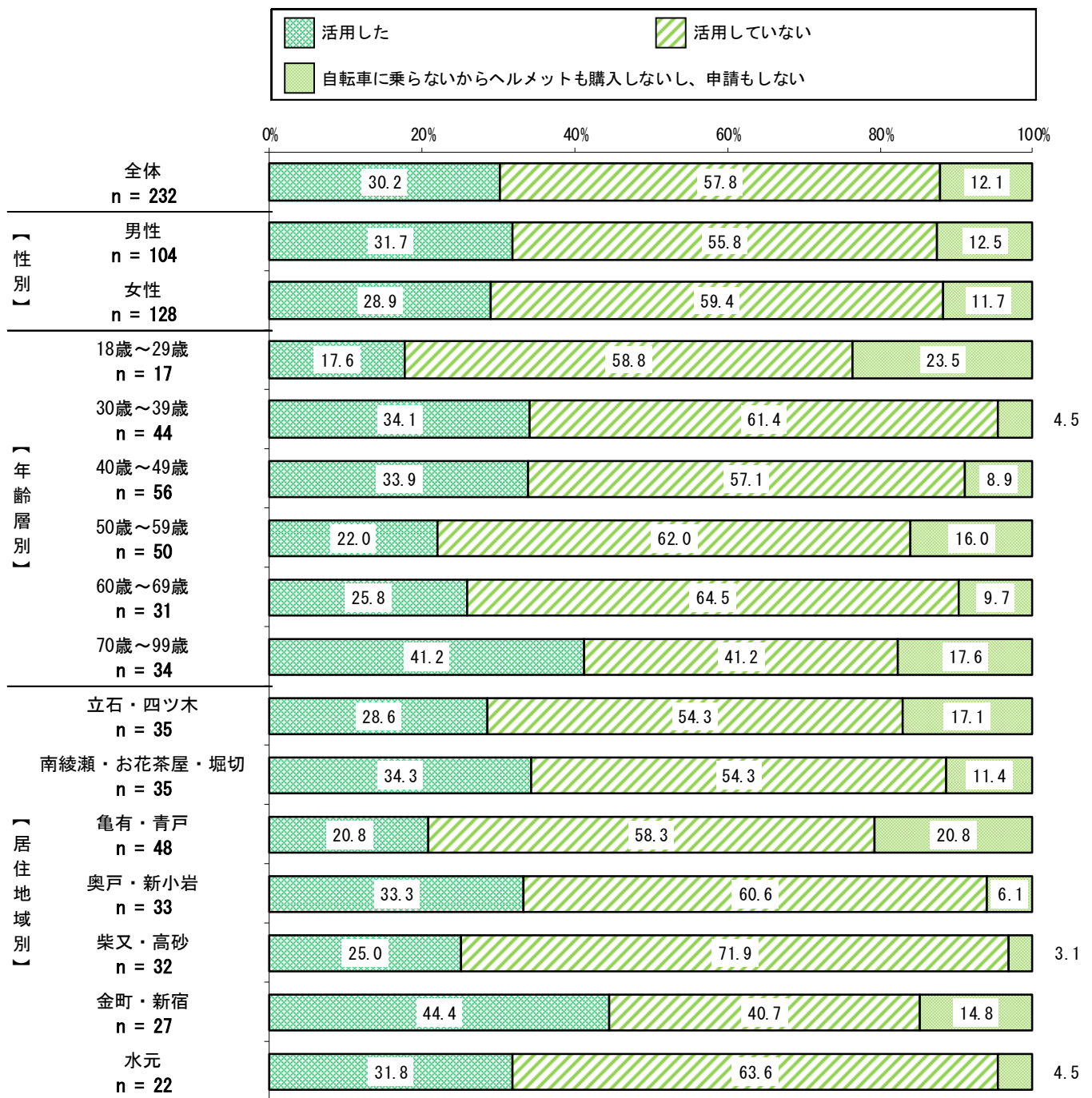
自転車乗車用ヘルメット購入費補助金の活用状況【全体】



n = 232

自転車乗車用ヘルメット購入費補助金の活用状況は、「活用した」が 30.2%、「活用していない」が 57.8%、「自転車に乗らないからヘルメットも購入しないし、申請もしない」が 12.1%となっている。

自転車乗車用ヘルメット購入費補助金の活用状況【全体、性別、年齢層別、居住地域別】



性別による大きな差はみられない。

年齢層別でみると、「活用した」は【70歳～99歳】が41.2%、「自転車に乗らないからヘルメットも購入しないし、申請もしない」は【18歳～29歳】が23.5%と、他の区分に比べて高くなっている。

居住地域別でみると、「活用した」は【金町・新宿】が44.4%、「活用していない」は【柴又・高砂】が71.9%と、他の区分に比べて高くなっている。

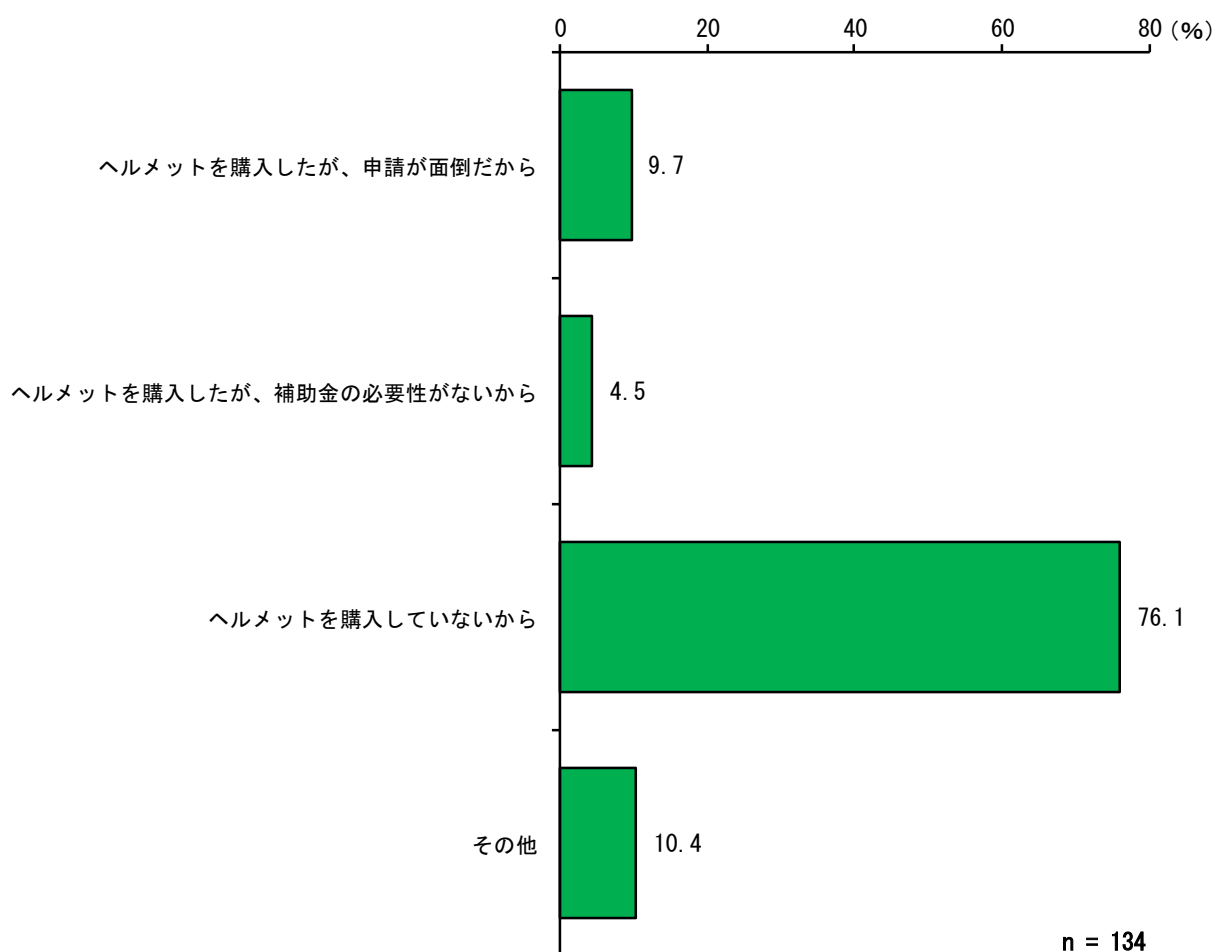
(30) 自転車乗車用ヘルメット購入費補助金を活用していない理由

問 30. 問 29 で「活用していない」と答えた方に伺います。

自転車乗車用ヘルメット購入費補助金を活用していない理由を教えてください。

(複数選択可)

自転車乗車用ヘルメット購入費補助金を活用していない理由【全体】

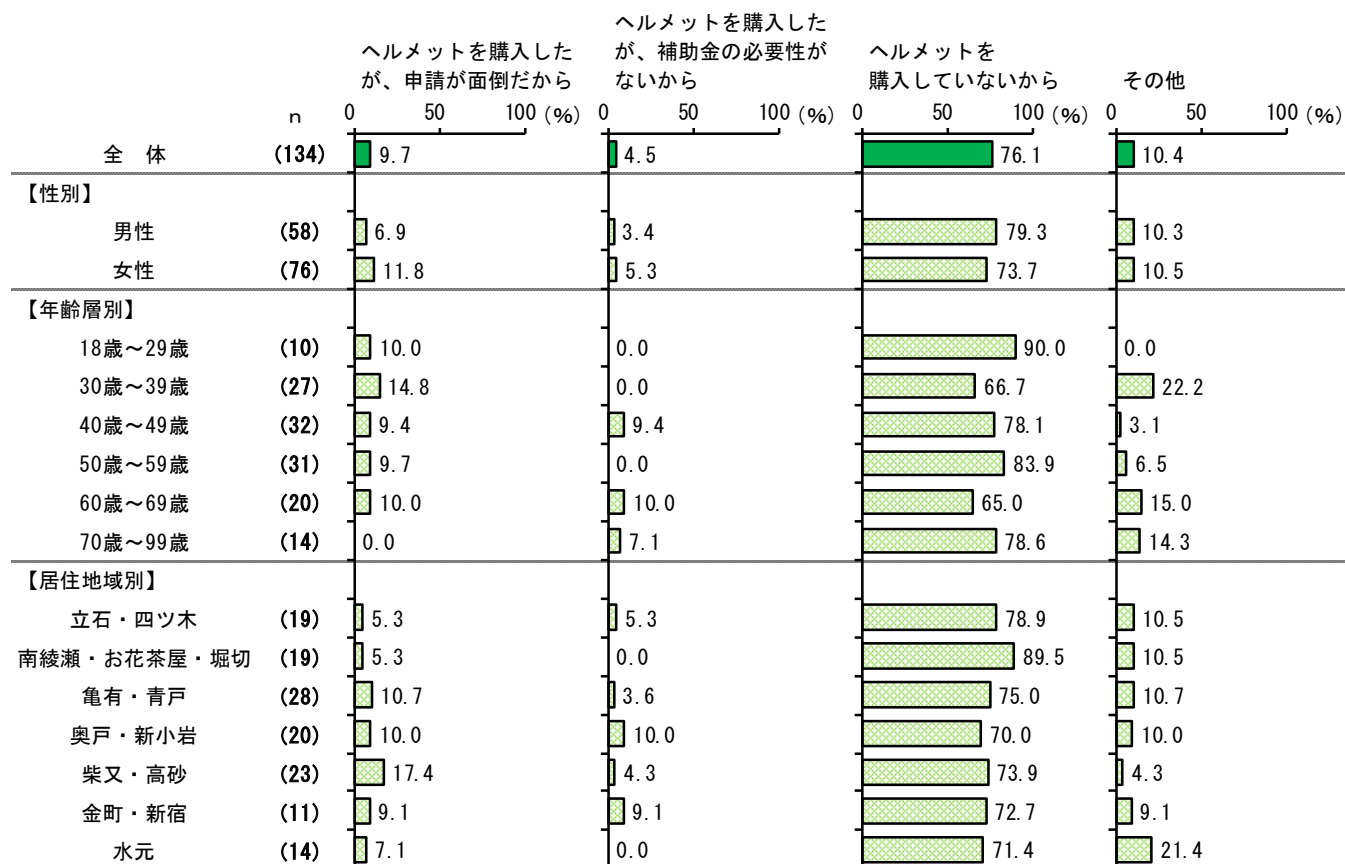


自転車乗車用ヘルメット購入費補助金を活用していない理由は、「ヘルメットを購入していないから」が76.1%となっている。

「その他」の内容としては、「補助金創設前に購入したから」「申請する前にレシートを紛失してしまった」「買ってから随分経ってから知ったので」「これからする予定だが、配偶者が手続きの書類を持っているため」「活用しようと思い購入を検討していたが、サイズや種類が少なく、補助金を活用しても値段が高く感じたため断念した」などがあつた。

自転車乗車用ヘルメット購入費補助金を活用していない理由

【全体、性別、年齢層別、居住地域別】



性別でみると、「ヘルメットを購入していないから」は【男性】が 79.3%と、【女性】(73.7%) よりも 5.6 ポイント高くなっている。

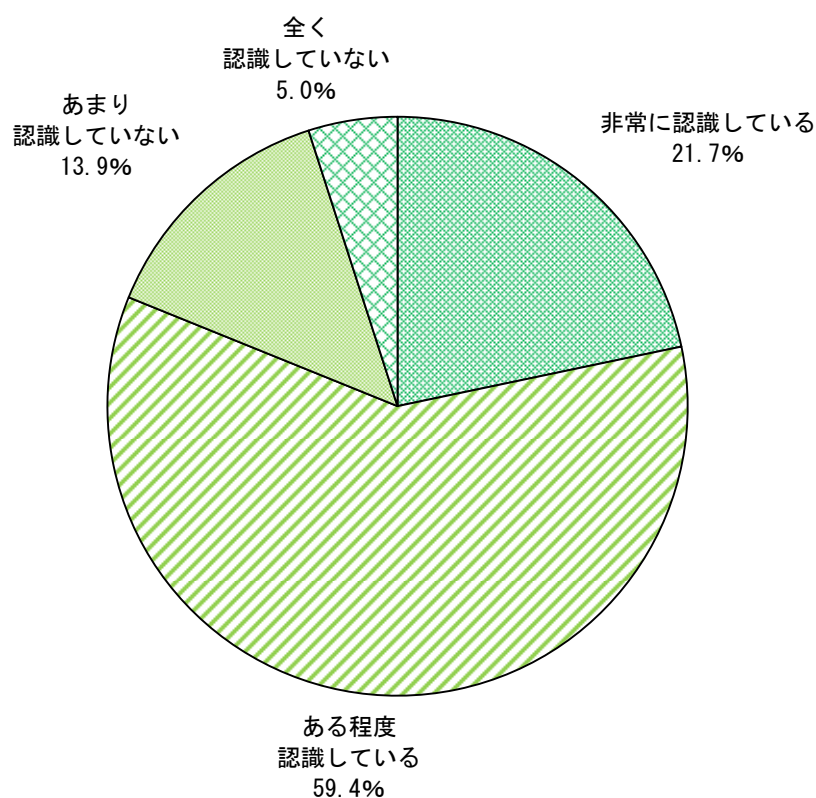
年齢層別でみると、「ヘルメットを購入していないから」は【18 歳～29 歳】が 90.0%と、他の区分に比べ高くなっている。

居住地域別でみると、「ヘルメットを購入していないから」は【南綾瀬・お花茶屋・堀切】が 89.5%と、他の区分に比べ高くなっている。

(31) ヘルメット着用の重要性の認識

問 31. ヘルメット着用の重要性について、どの程度認識していますか。(1つ選択)

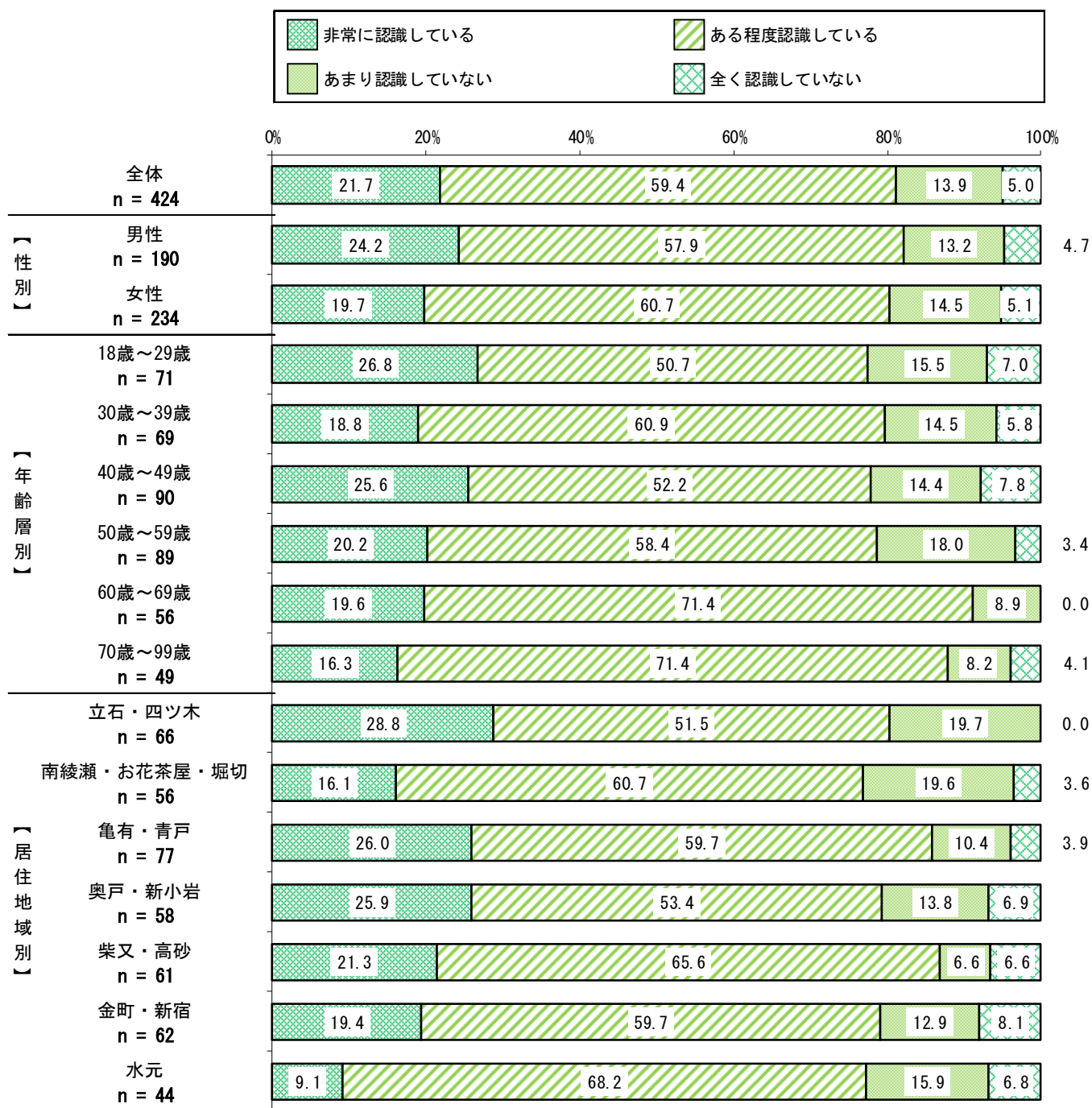
ヘルメット着用の重要性の認識【全体】



n = 424

ヘルメット着用の重要性の認識は、「非常に認識している」(21.7%)と「ある程度認識している」(59.4%)を合わせた『認識あり』が81.1%、「全く認識していない」(5.0%)と「あまり認識していない」(13.9%)を合わせた『認識なし』が18.9%となっている。

ヘルメット着用の重要性の認識【全体、性別、年齢層別、居住地域別】



性別による大きな差はみられない。

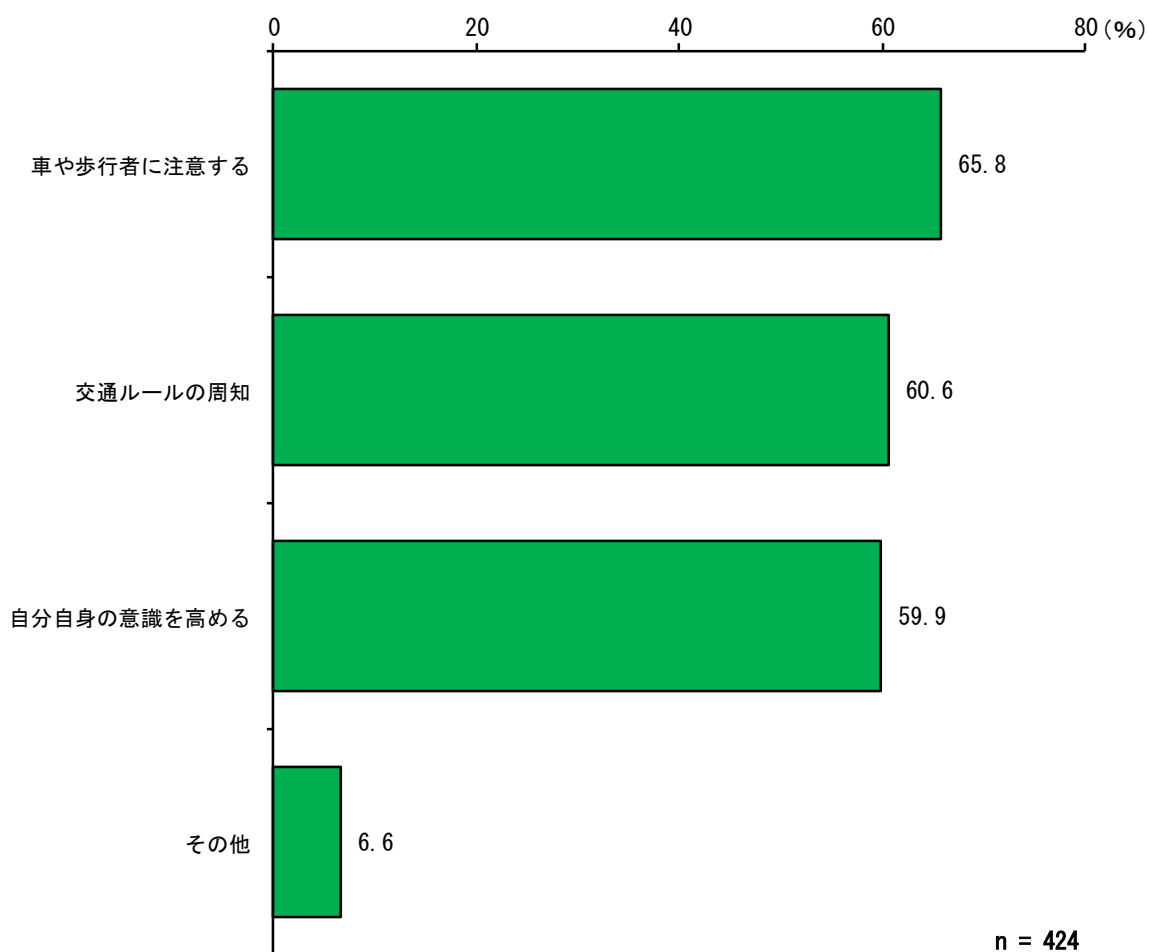
年齢層別でみると、『認識あり』は【60歳～69歳】が91.0%と、他の区分に比べ高くなっている。

居住地域別でみると、「非常に認識している」は【水元】が9.1%と、他の区分に比べ低くなっている。

(32) 自転車乗車時に事故にならないために必要な対策

問 32. 自転車乗車時に、事故に遭わない、あるいは事故を起こさないためには、どのような対策が必要だと思いますか。(複数選択可)

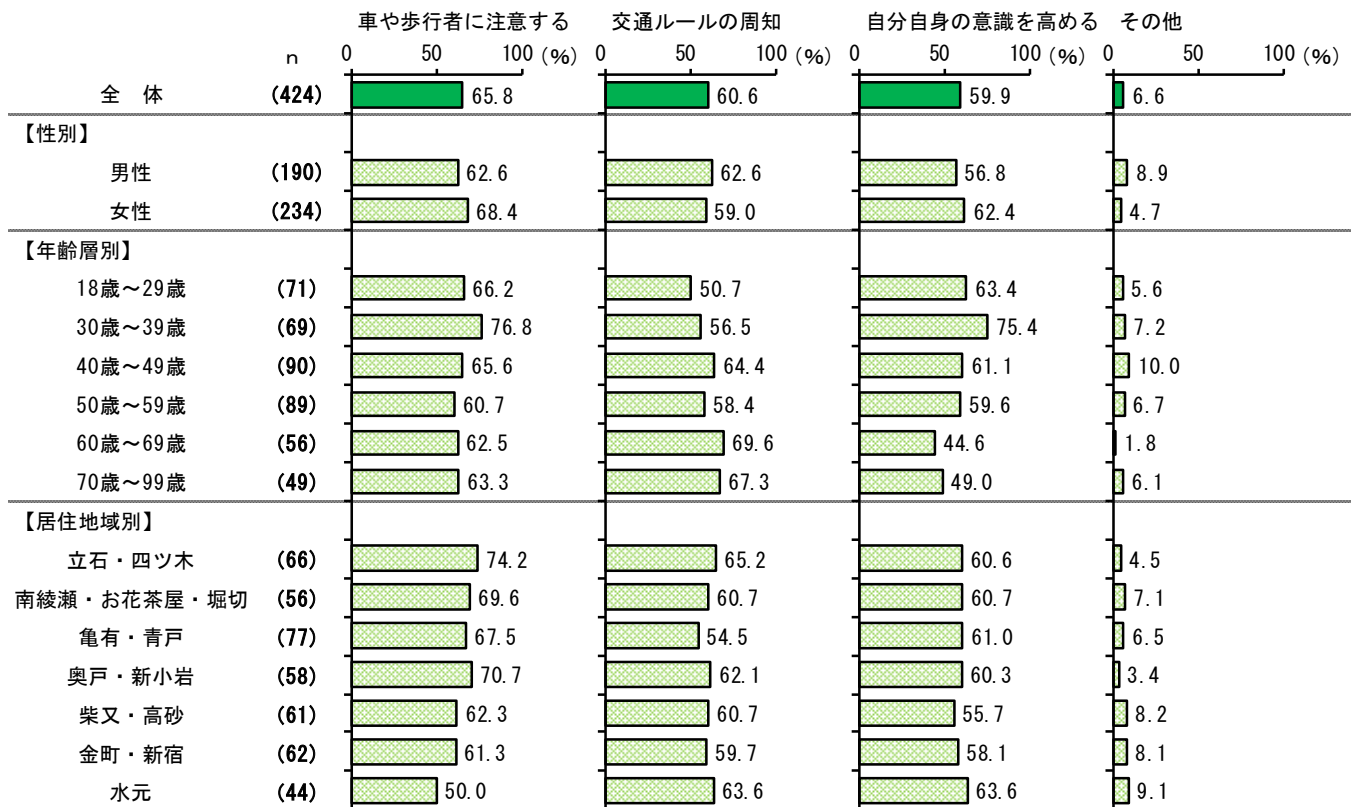
自転車乗車時に事故にならないために必要な対策【全体】



自転車乗車時に事故にならないために必要な対策は、「車や歩行者に注意する」が65.8%で最も高く、次いで「交通ルールの周知」が60.6%、「自分自身の意識を高める」が59.9%となっている。

「その他」の内容としては、「歩行者、自転車、車それぞれの思いやり」「自転車専用レーンの整備や周知」「罰則金規定の強化」「無灯火と逆走を徹底的に取り締まる」「自転車運転免許制度の導入」などがあつた。

自転車乗車時に事故にならないために必要な対策【全体、性別、年齢層別、居住地域別】



性別でみると、「車や歩行者に注意する」は【女性】が68.4%と、【男性】(62.6%)よりも5.8ポイント、「自分自身の意識を高める」は【女性】が62.4%と、【男性】(56.8%)よりも5.6ポイント高くなっている。

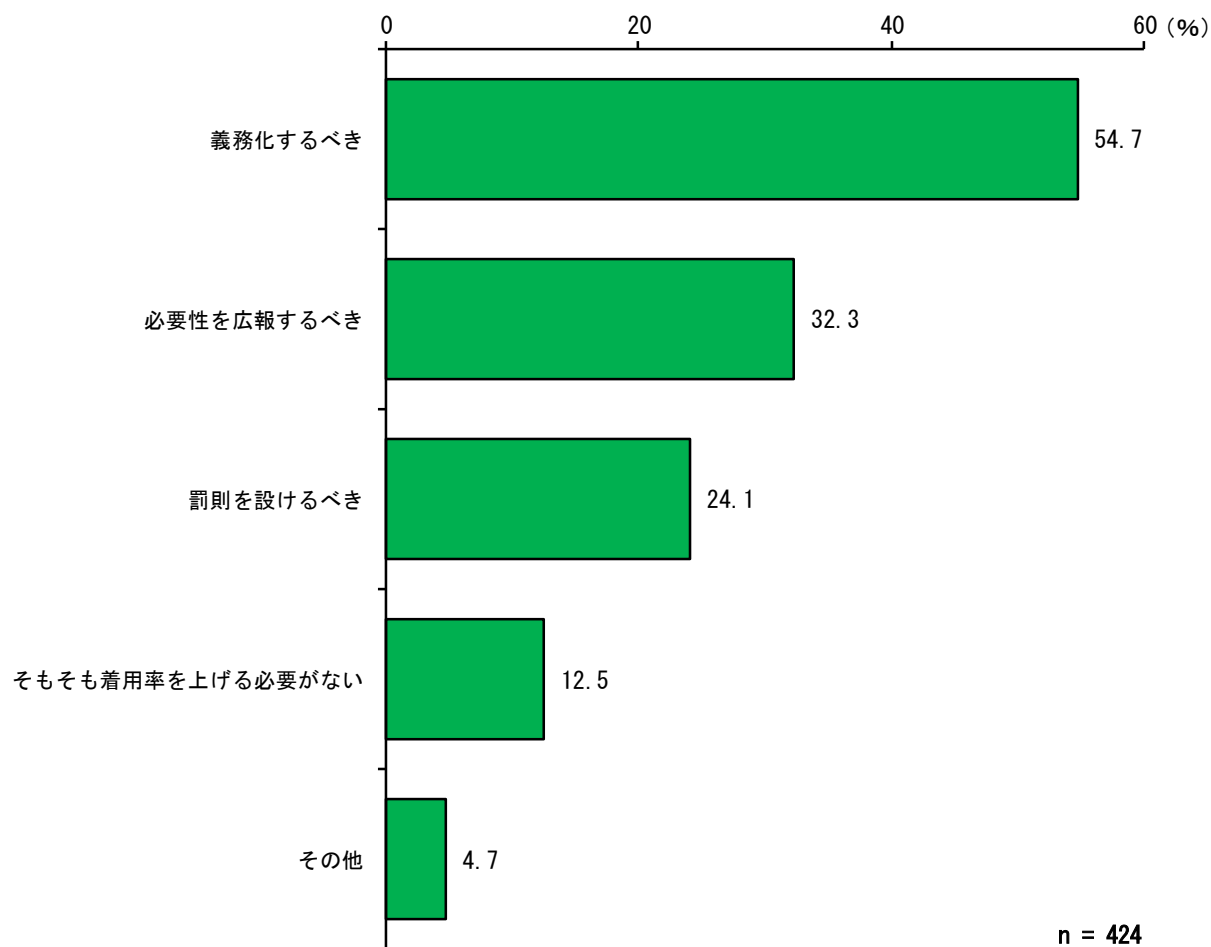
年齢層別でみると、【30歳～39歳】は「車や歩行者に注意する」が76.8%、「自分自身の意識を高める」が75.4%と、他の区分に比べ高くなっている。

居住地域別でみると、「車や歩行者に注意する」は【水元】が50.0%と、他の区分に比べ低くなっている。

(33) 自転車乗車時のヘルメット着用率を上げるために必要なこと

問 33. 自転車乗車時のヘルメット着用率を上げるためには、どうすればよいと思いますか。
(複数選択可)

自転車乗車時のヘルメット着用率を上げるために必要なこと【全体】

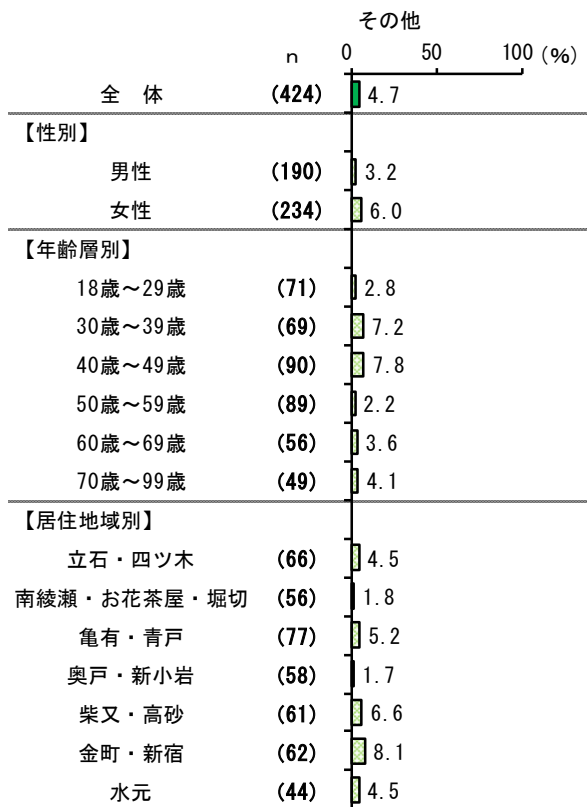
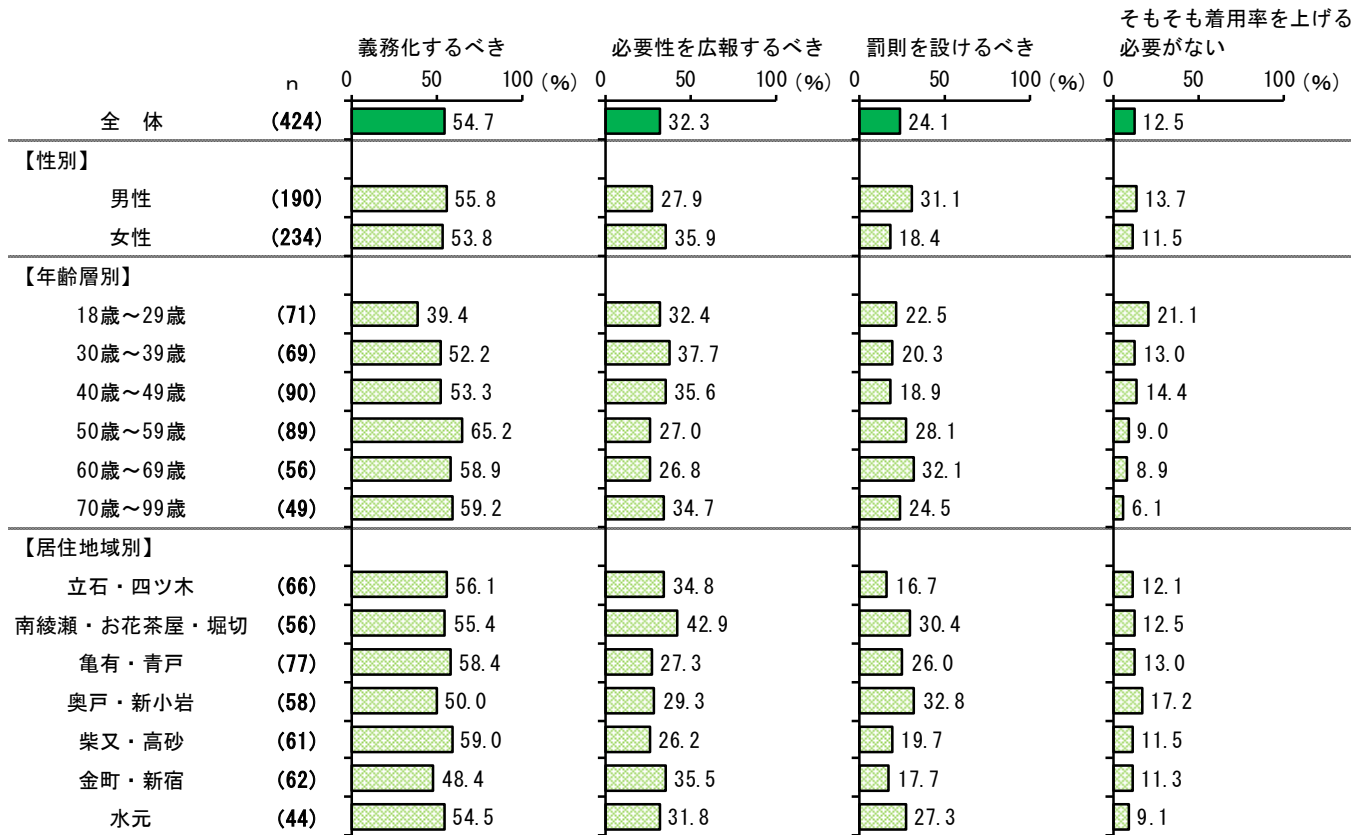


自転車乗車時のヘルメット着用率を上げるために必要なことは、「義務化するべき」が 54.7%で最も高く、次いで「必要性を広報するべき」が 32.3%、「罰則を設けるべき」が 24.1%となっている。一方、「そもそも着用率を上げる必要がない」が 12.5%となっている。

「その他」の内容としては、「自転車と一緒に売る」「補助額を上げる」「駐車時の保管要領を確立する」「公費負担」「ヘルメットの商品開発を多様化」などがあつた。

自転車乗車時のヘルメット着用率を上げるために必要なこと

【全体、性別、年齢層別、居住地域別】



性別でみると、「罰則を設けるべき」は【男性】が 31.1%と、【女性】(18.4%) よりも 12.7 ポイント高くなっている。一方、「必要性を広報するべき」は【女性】が 35.9%と、【男性】(27.9%) よりも 8.0 ポイント高くなっている。

年齢層別でみると、「義務化するべき」は【18 歳～29 歳】が 39.4%と、他の区分に比べ低くなっている。

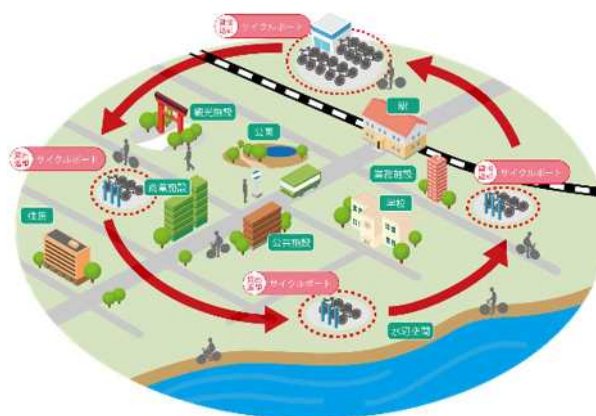
居住地域別でみると、「必要性を広報するべき」は【南綾瀬・お花茶屋・堀切】が 42.9%と、他の区分に比べ高くなっている。

第3章 調査結果（シェアサイクルについて）

テーマ3 シェアサイクルについて

シェアサイクルとは、複数配置されたサイクルポートで自由に貸出・返却をすることができる自転車シェアリングシステムのことです。借りたサイクルポートとは異なるサイクルポートで返却することができます。

区内における移動の利便性や回遊性の向上、自家用車から自転車への交通手段の転換による環境にやさしいまちづくりに向けて、自転車をいつでも貸出・返却できるシェアサイクルをさらに普及させるため、区民モニターの皆様のご意見を伺います。

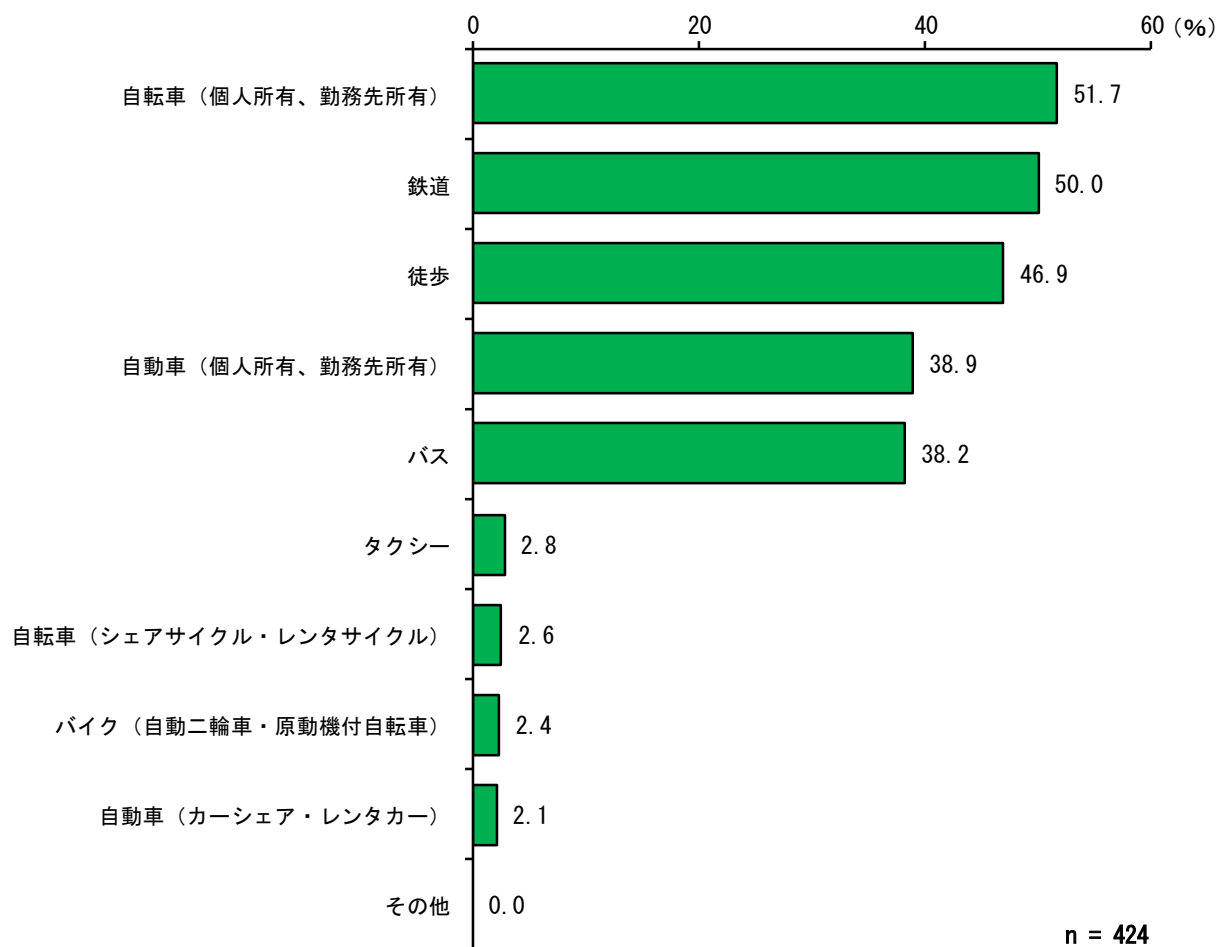


※サイクルポートとは、施設等に設置された、自転車の貸出・返却を行う無人の駐輪施設のことです。

(34) 区内移動時、よく利用する交通手段

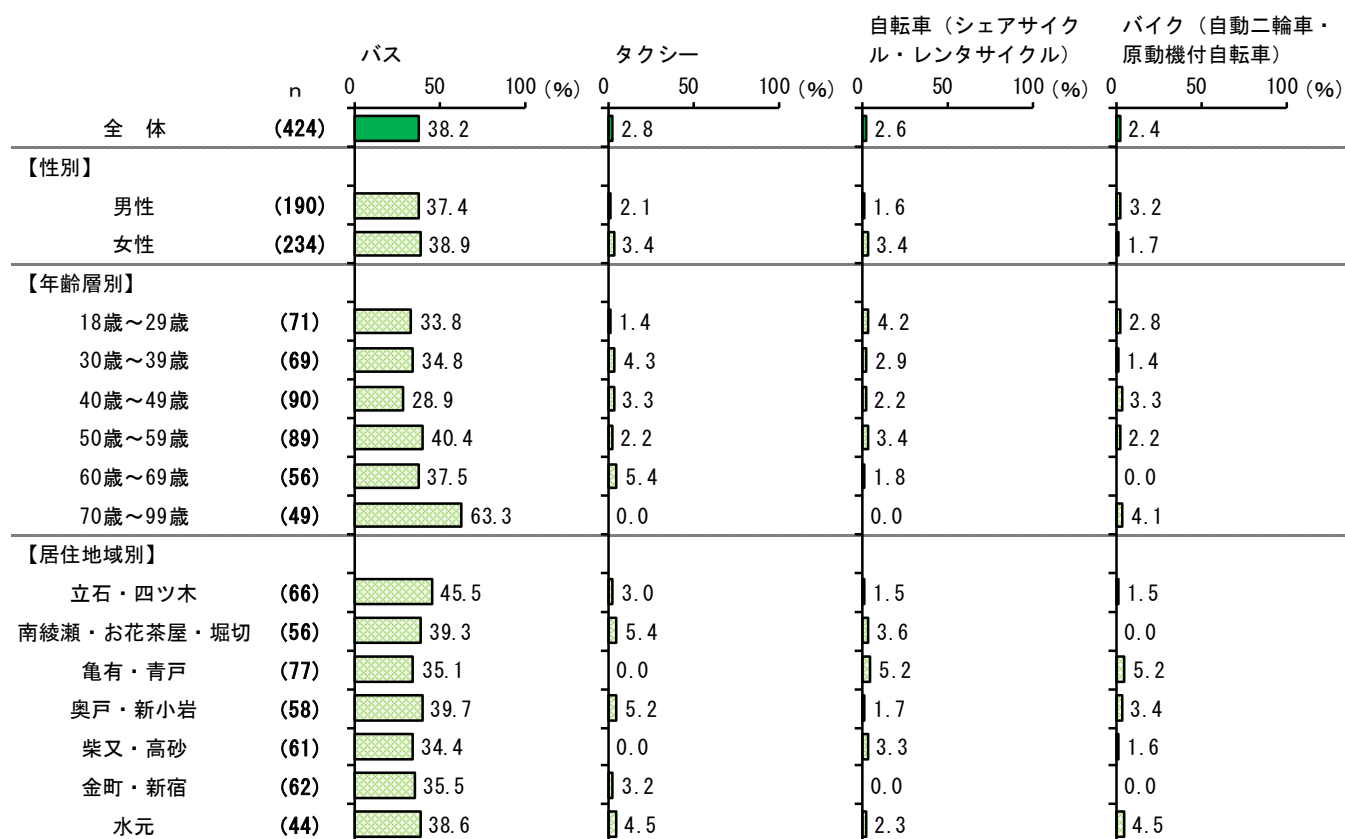
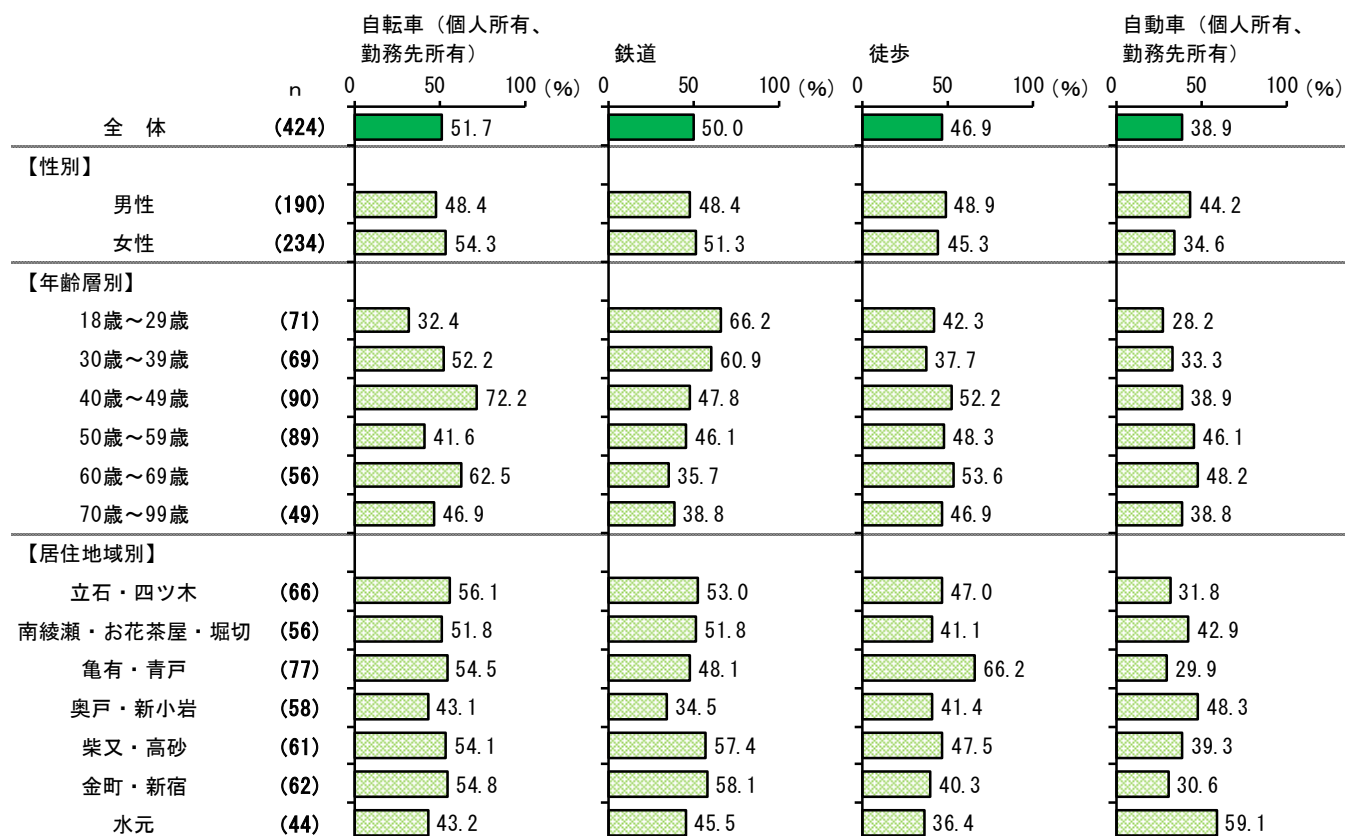
問 34. 区内を移動するとき、よく利用する交通手段は何ですか。(3つまで選択可)

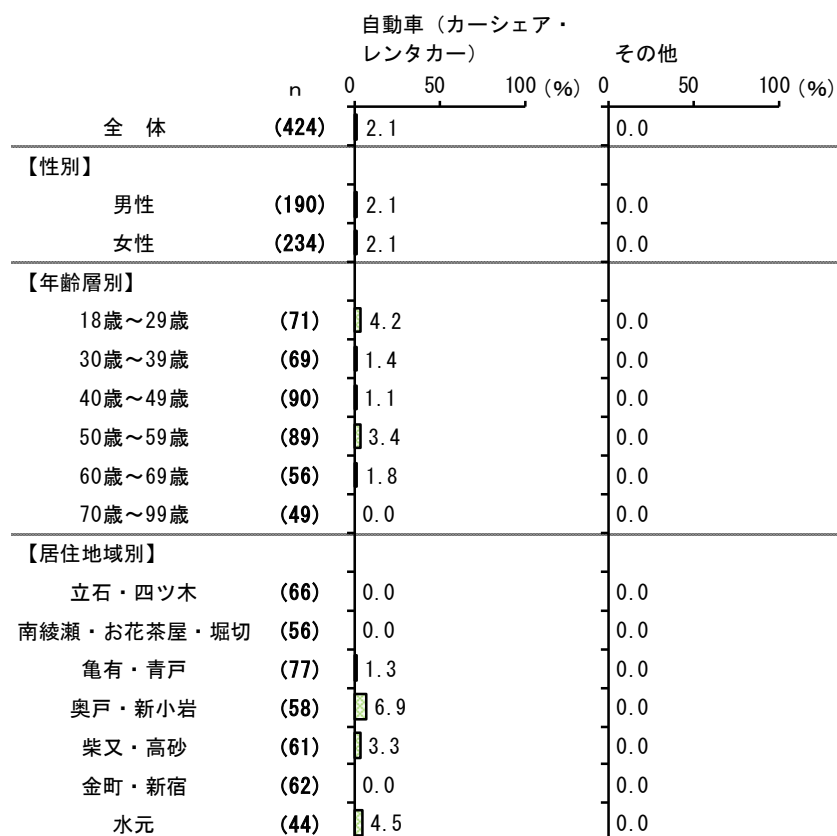
区内移動時、よく利用する交通手段【全体】



区内移動時、よく利用する交通手段は、「自転車（個人所有、勤務先所有）」が 51.7%で最も高く、次いで「鉄道」が50.0%、「徒歩」が46.9%、「自動車（個人所有、勤務先所有）」が38.9%、「バス」が38.2%と続いている。

区内移動時、よく利用する交通手段【全体、性別、年齢層別、居住地域別】





性別でみると、「自動車（個人所有、勤務先所有）」は【男性】が 44.2%と、【女性】（34.6%）よりも9.6ポイント高くなっている。一方、「自転車（個人所有、勤務先所有）」は【女性】が 54.3%と、【男性】（48.4%）よりも 5.9 ポイント高くなっている。

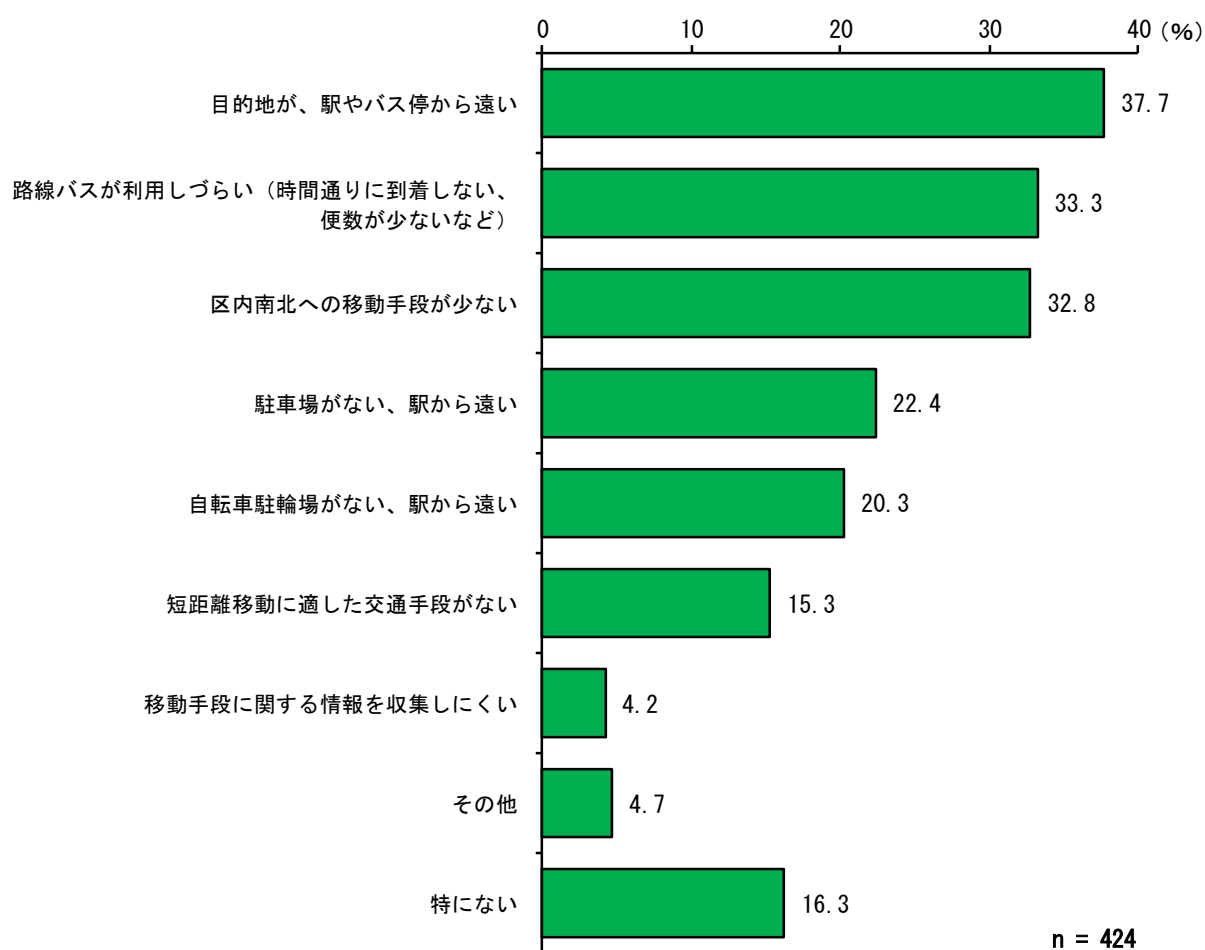
年齢層別でみると、「バス」は【70 歳～99 歳】が 63.3%、「自転車（個人所有、勤務先所有）」は【40 歳～49 歳】が 72.2%、「鉄道」は【18 歳～29 歳】が 66.2%と、他の区分に比べ高くなっている。

居住地域別でみると、「自動車（個人所有、勤務先所有）」は【水元】が 59.1%、「徒歩」は【亀有・青戸】が 66.2%と、他の区分に比べ高くなっている。

(35) 区内移動時、不便さを感じている点

問 35. 区内を移動するとき、不便を感じている、または感じたのはどのような点ですか。
(複数選択可)

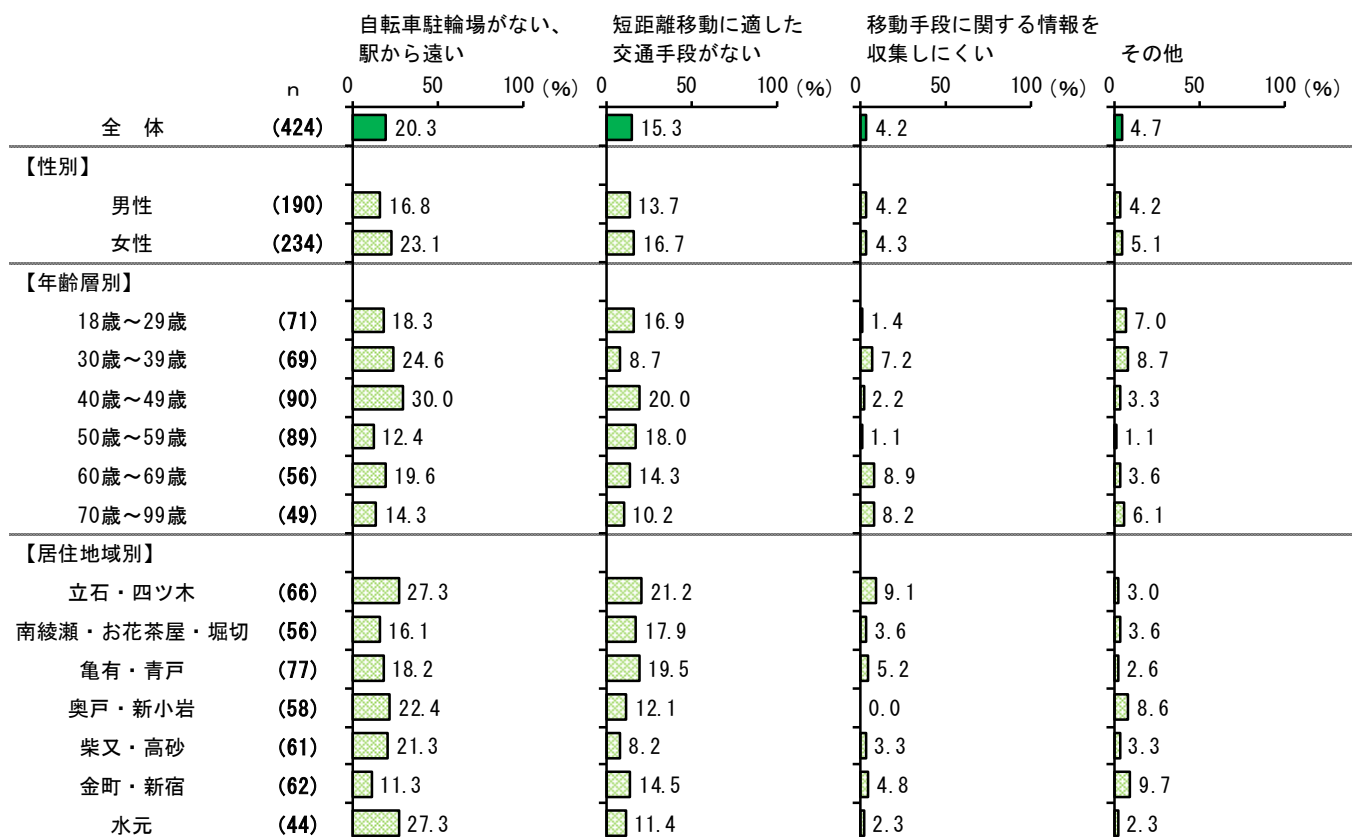
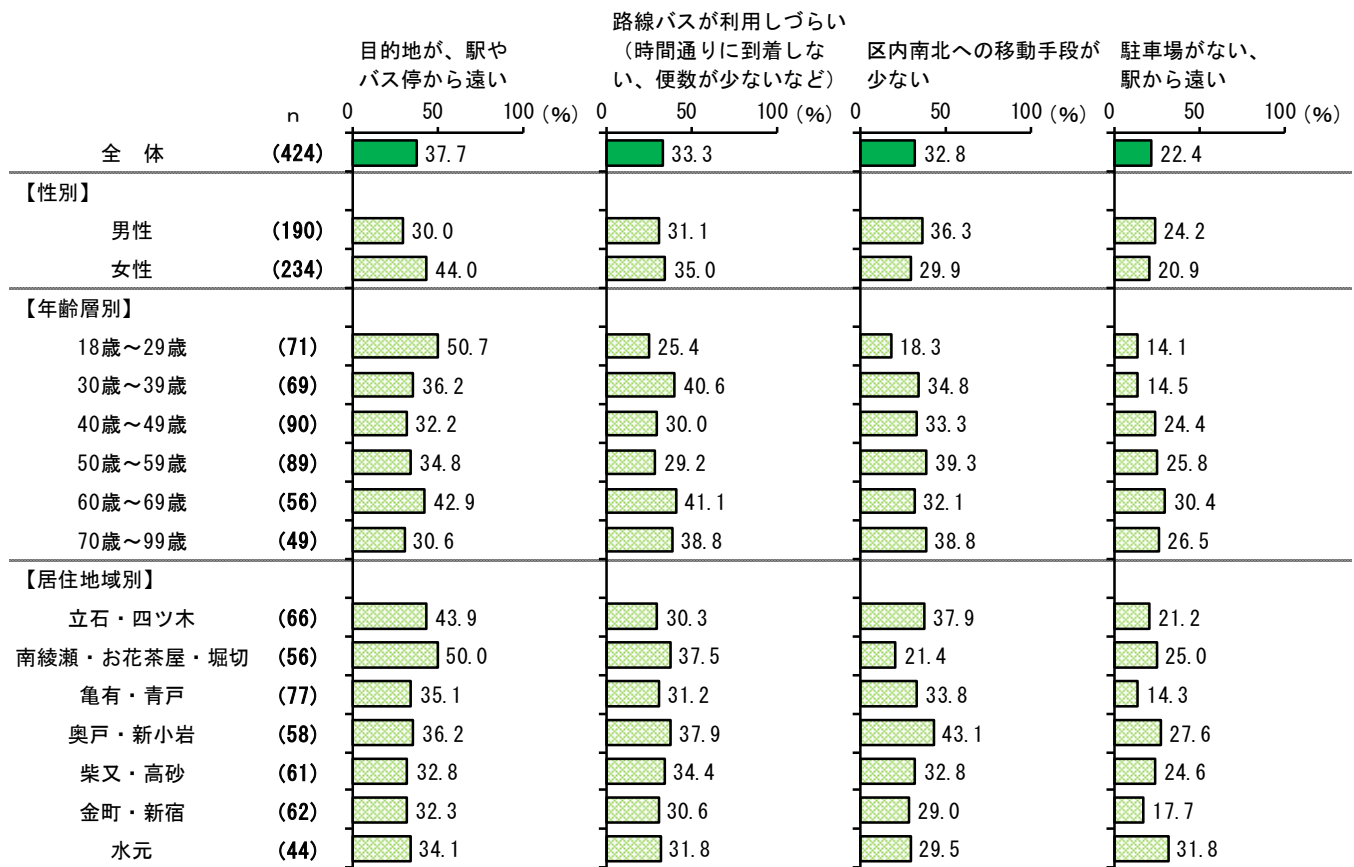
区内移動時、不便さを感じている点【全体】

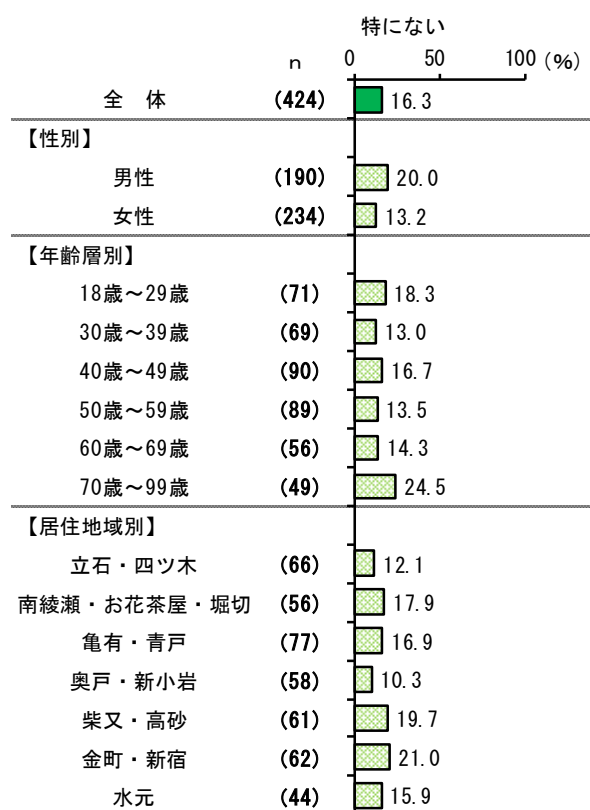


区内移動時、不便さを感じている点は、「目的地が、駅やバス停から遠い」が 37.7%で最も高く、次いで「路線バスが利用しづらい（時間通りに到着しない、便数が少ないなど）」が 33.3%、「区内南北への移動手段が少ない」が 32.8%、「駐車場がない、駅から遠い」が 22.4%、「自転車駐輪場がない、駅から遠い」が 20.3%と続いている。

「その他」の内容としては、「駐輪場が有料」「子連れだとバスに乗りづらい。ベビーカーが入らない。」「電車が遅延する」「自転車専用レーンが少ない」「駅前の駐輪場がすぐに満車になる」などがあった。

区内移動時、不便さを感じている点【全体、性別、年齢層別、居住地域別】





性別でみると、「目的地が、駅やバス停から遠い」は【女性】が 44.0%と、【男性】(30.0%) よりも 14.0 ポイント、「自転車駐輪場がない、駅から遠い」は【女性】が 23.1%と、【男性】(16.8%) よりも 6.3 ポイント高くなっている。一方、「区内南北への移動手段が少ない」は【男性】が 36.3%と、【女性】(29.9%) よりも 6.4 ポイント高くなっている。

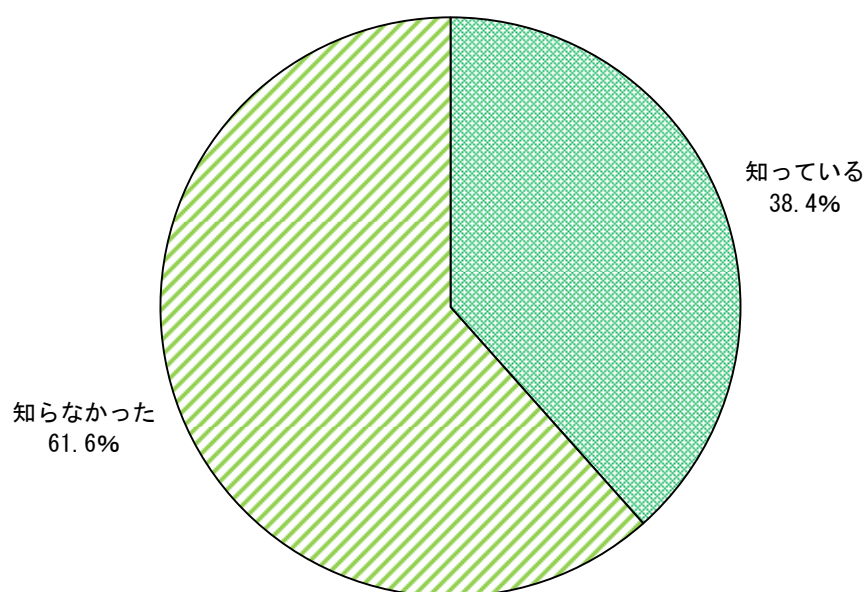
年齢層別でみると、「目的地が、駅やバス停から遠い」は【18 歳～29 歳】が 50.7%と、他の区分に比べ高くなっている。

居住地域別でみると、「目的地が、駅やバス停から遠い」は【南綾瀬・お花茶屋・堀切】が 50.0%、「区内南北への移動手段が少ない」は【奥戸・新小岩】が 43.1%と、他の区分に比べ高くなっている。

(36) 区内でシェアサイクル実施の認知度

問 36. 区内でシェアサイクルを実施していることを知っていますか。(1つ選択)

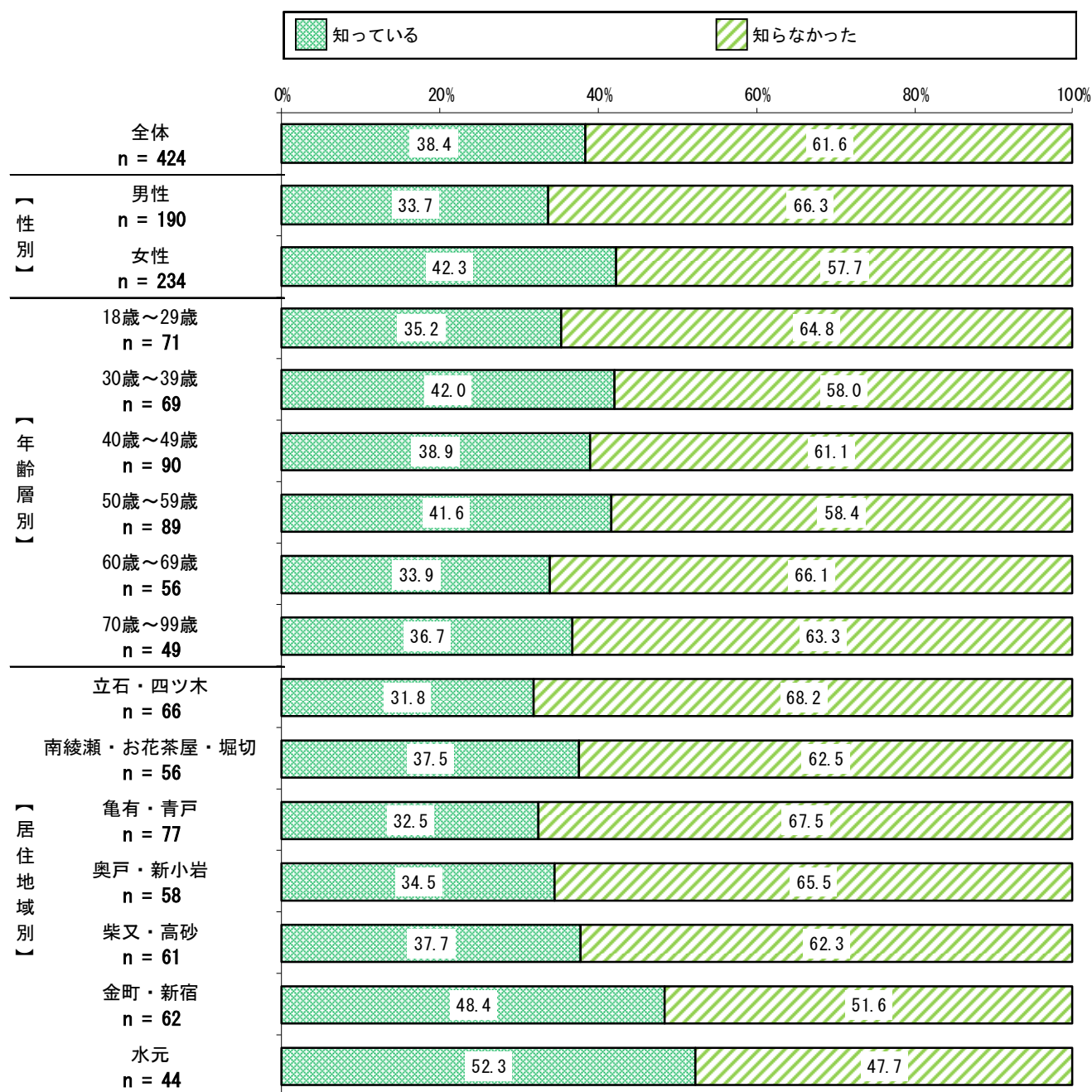
区内でシェアサイクル実施の認知度【全体】



n = 424

区内でシェアサイクル実施の認知度は、「知っている」が 38.4%、「知らなかった」が 61.6%となっている。

区内でシェアサイクル実施の認知度【全体、性別、年齢層別、居住地域別】



性別でみると、「知っている」は【女性】が42.3%と、【男性】(33.7%) よりも8.6ポイント高くなっている。

年齢層別による大きな差はみられない。

居住地域別でみると、「知っている」は【水元】が52.3%と、他の区分に比べ高くなっている。

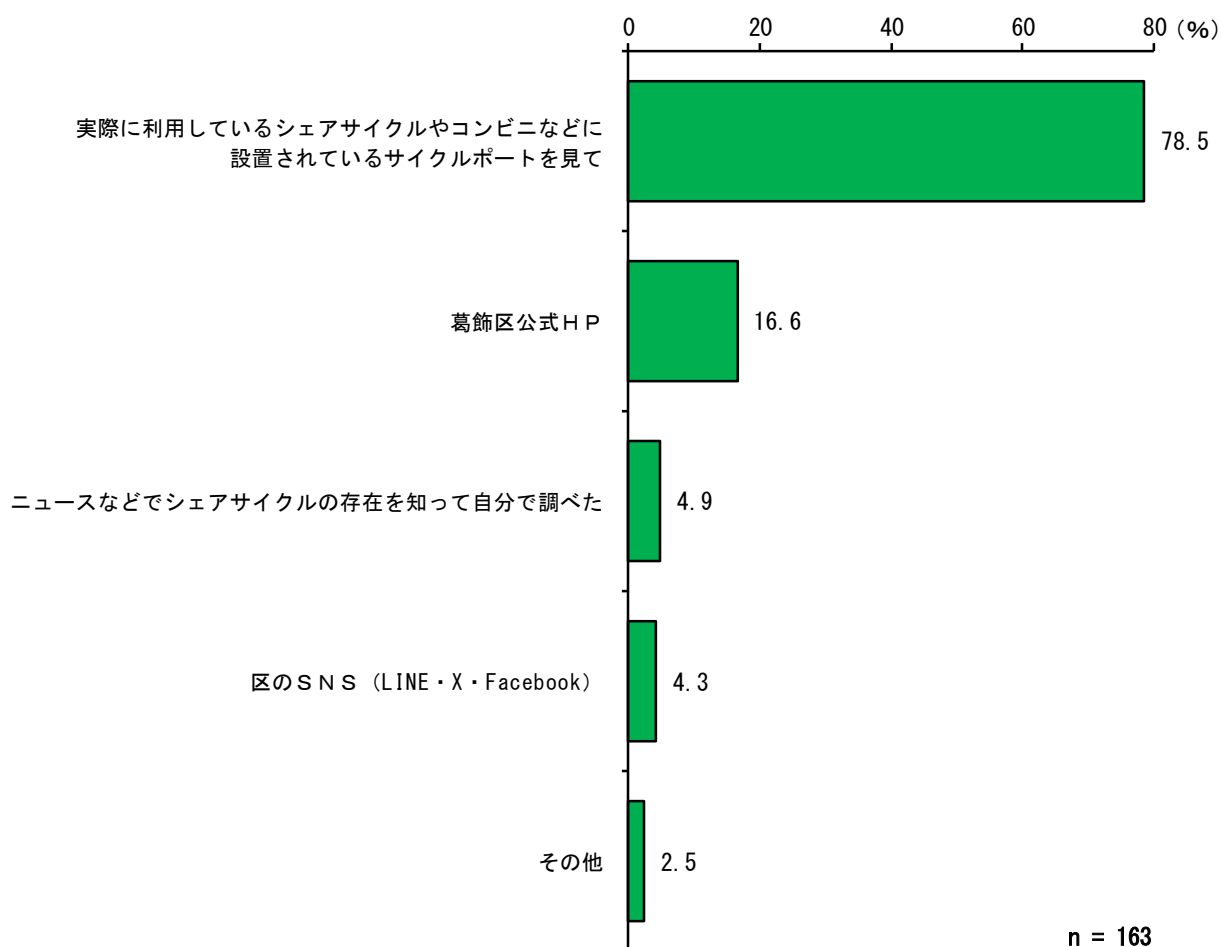
(37) 区内でシェアサイクル実施の認知経路

問 37. 問 36 で「知っている」と答えた方に伺います。

区内でシェアサイクルを実施していることをどのような手段で知りましたか。

(複数選択可)

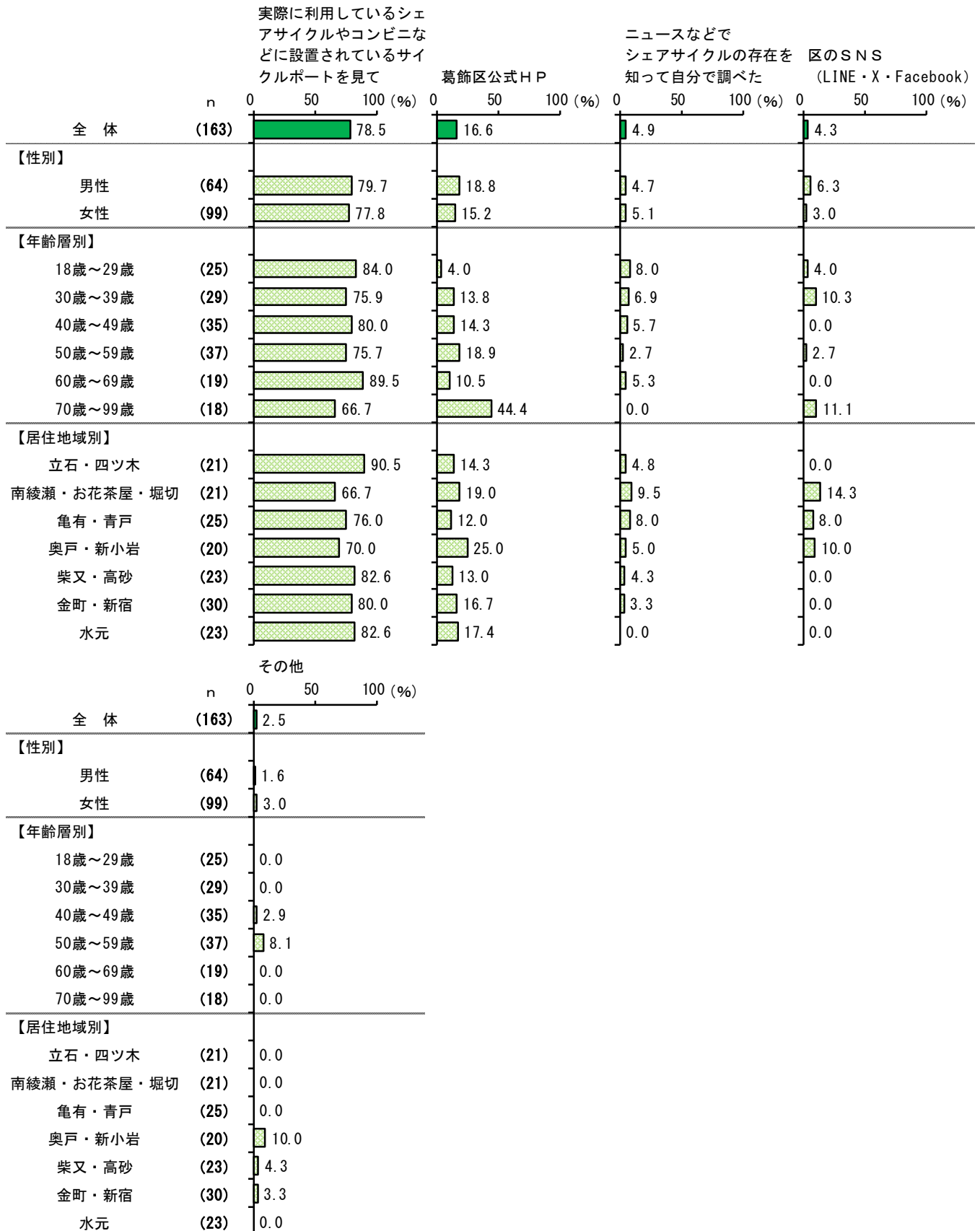
区内でシェアサイクル実施の認知経路【全体】



区内でシェアサイクル実施の認知経路は、「実際に利用しているシェアサイクルやコンビニなどに設置されているサイクルポートを見て」が 78.5%で最も高くなっている。以下「葛飾区公式HP」が 16.6%、「ニュースなどでシェアサイクルの存在を知って自分で調べた」が 4.9%、「区のSNS (LINE・X・Facebook)」が 4.3%となっている。

「その他」の内容としては、「家族が利用したことある」「バスのアナウンス」「友人知人からの情報」「夫に教えてもらった」があった。

区内でシェアサイクル実施の認知経路【全体、性別、年齢層別、居住地域別】



性別による大きな差はみられない。

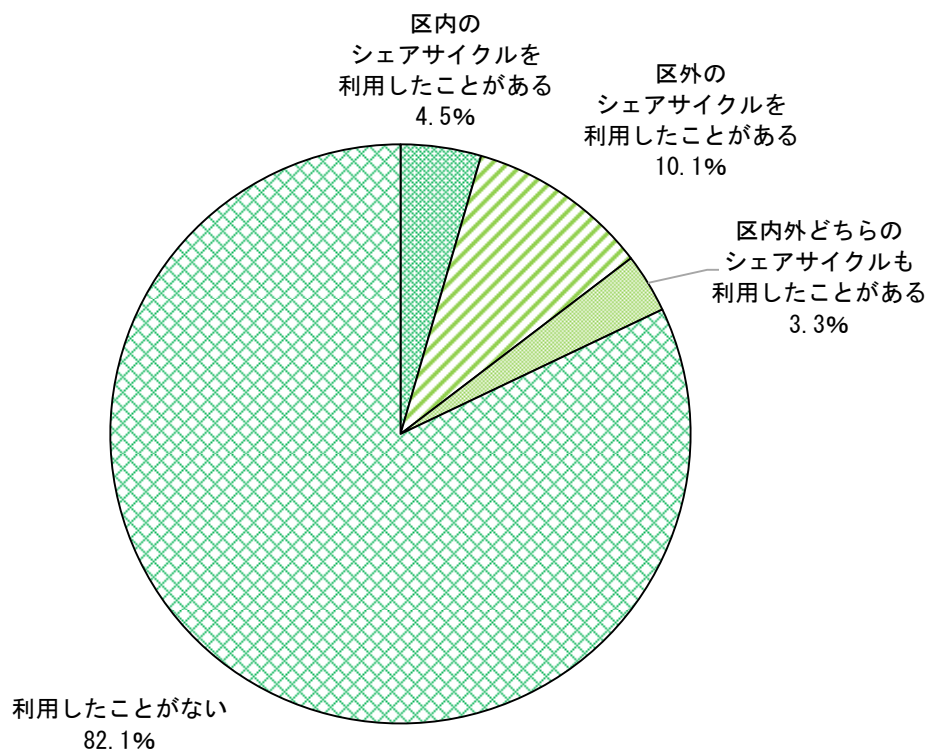
年齢層別でみると、「葛飾区公式HP」は【70歳～99歳】が44.4%、「実際に利用しているシェアサイクルやコンビニなどに設置されているサイクルポートを見て」は【60歳～69歳】が89.5%と、他の区分に比べ高くなっている。

居住地域別でみると、「実際に利用しているシェアサイクルやコンビニなどに設置されているサイクルポートを見て」は【立石・四ツ木】が90.5%、「区のSNS（LINE・X・Facebook）」は【南綾瀬・お花茶屋・堀切】が14.3%と、他の区分に比べ高くなっている。

(38) シェアサイクルの利用経験

問 38. シェアサイクルを利用したことがありますか。(1つ選択)

シェアサイクルの利用経験【全体】

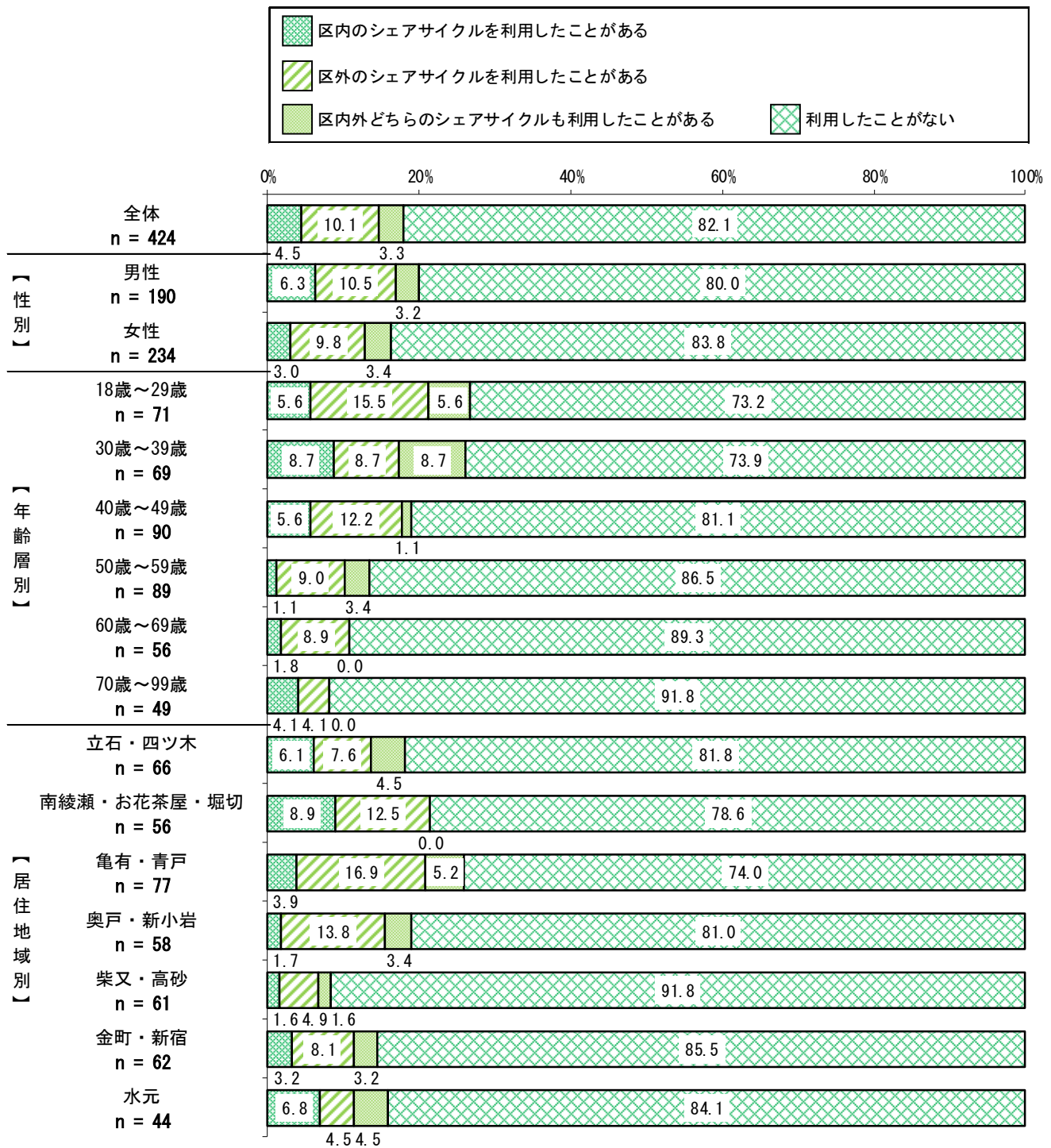


n = 424

シェアサイクルの利用経験は、「区内のシェアサイクルを利用したことがある」(4.5%)と「区外のシェアサイクルを利用したことがある」(10.1%)と「区内外どちらのシェアサイクルも利用したことがある」(3.3%)を合わせた『利用経験あり』が17.9%となっている。一方、「利用したことがない」が82.1%となっている。

また、「区内のシェアサイクルを利用したことがある」(4.5%)と「区内外どちらのシェアサイクルも利用したことがある」(3.3%)を合わせた『区内シェアサイクル利用経験あり』が7.8%となっている。

シェアサイクルの利用経験【全体、性別、年齢層別、居住地域別】



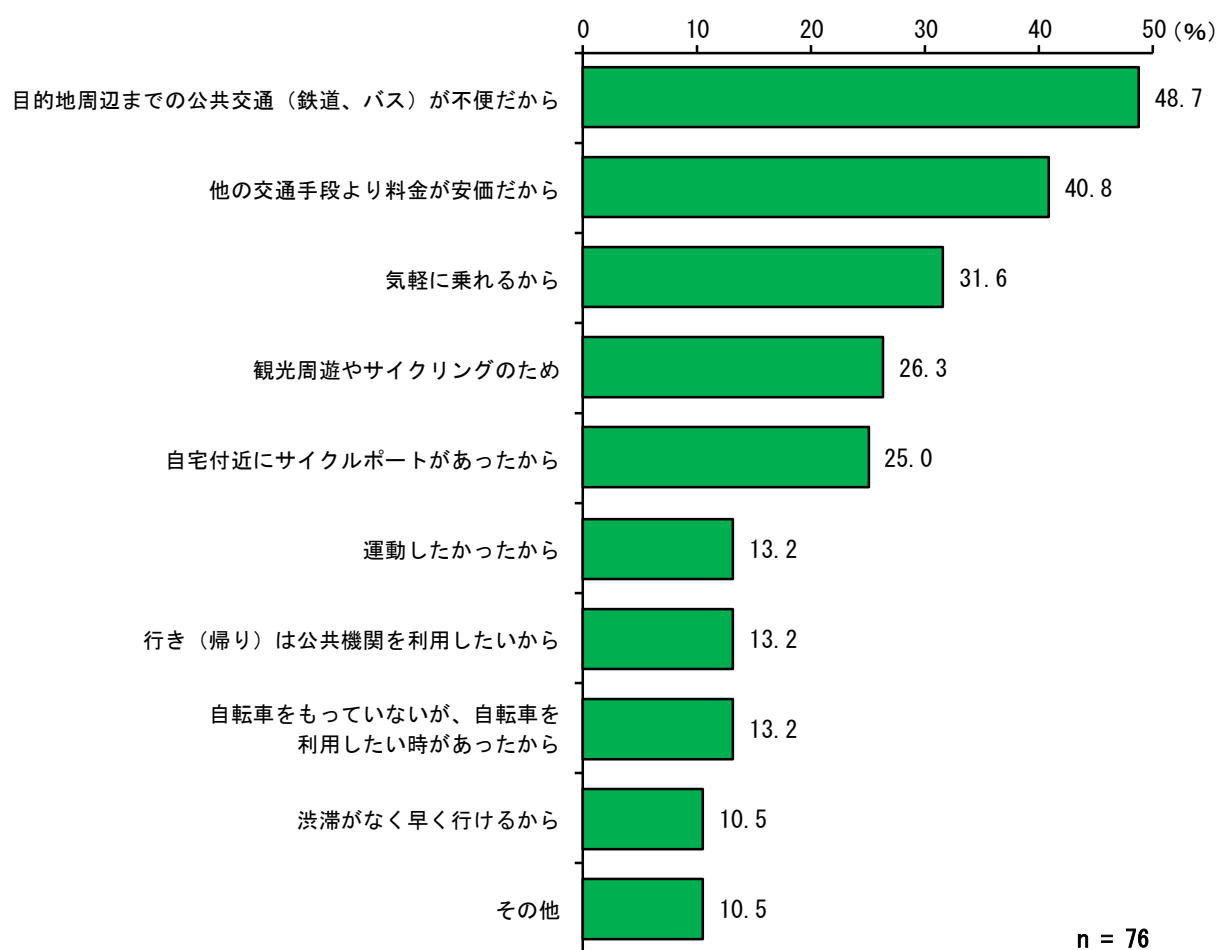
性別・年齢層別による大きな差はみられない。

居住地域別でみると、「利用したことがない」は【柴又・高砂】が91.8%と、他の区分に比べ高くなっている。

(39) シェアサイクルを利用した理由

問 39. 問 38 で「区内のシェアサイクルを利用したことがある」「区外のシェアサイクルを利用したことがある」「区内外どちらのシェアサイクルも利用したことがある」と答えた方に伺います。
シェアサイクルを利用した理由を教えてください。(複数選択可)

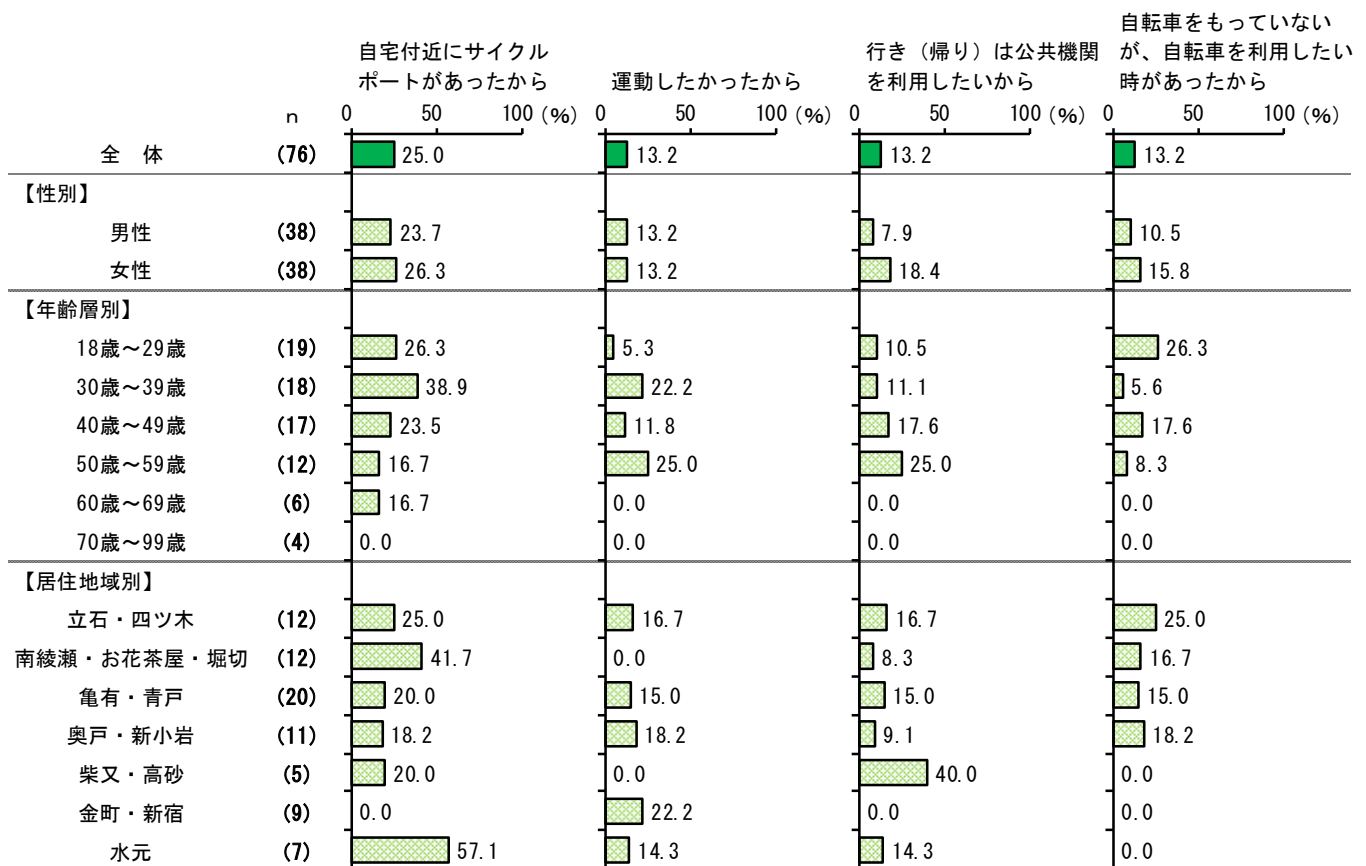
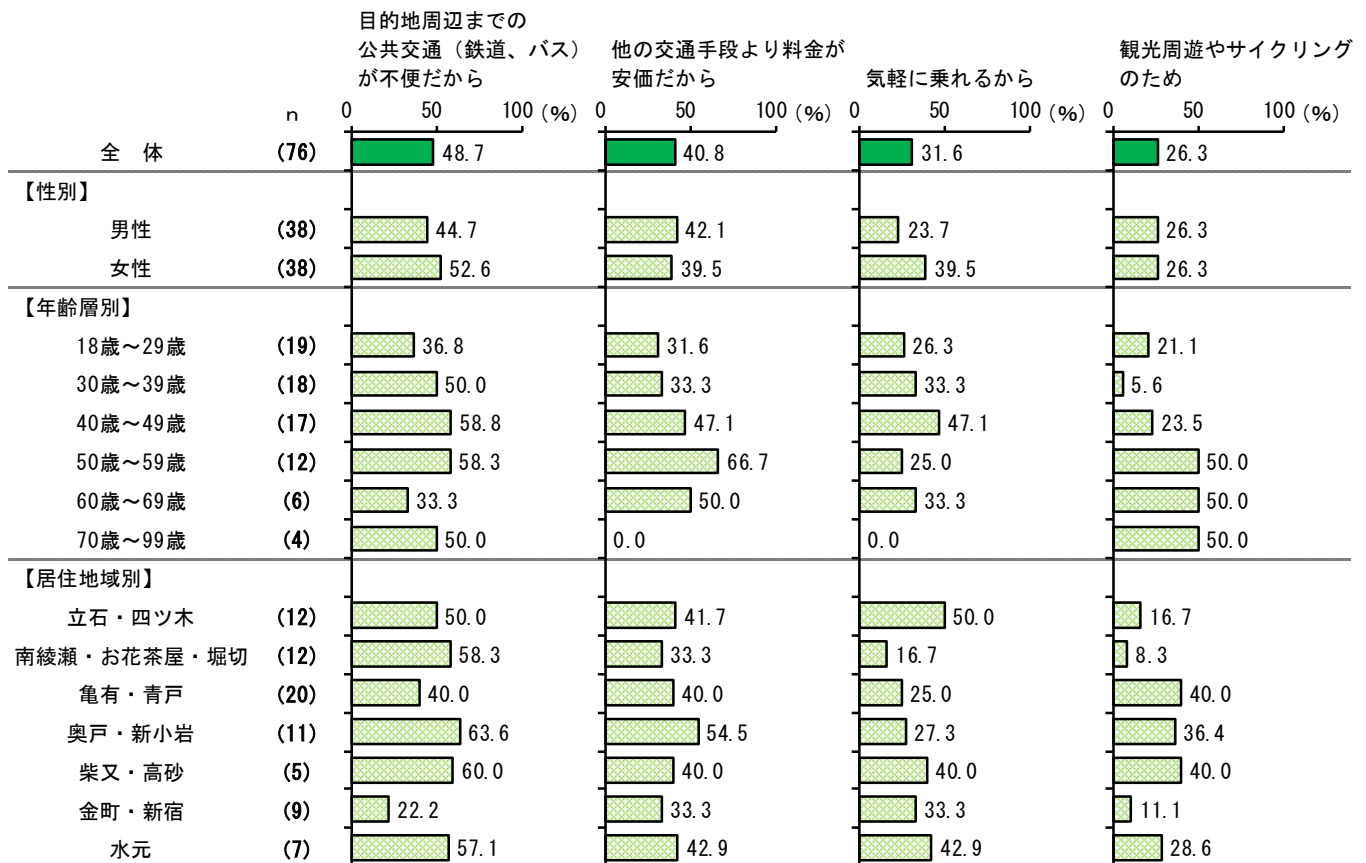
シェアサイクルを利用した理由【全体】

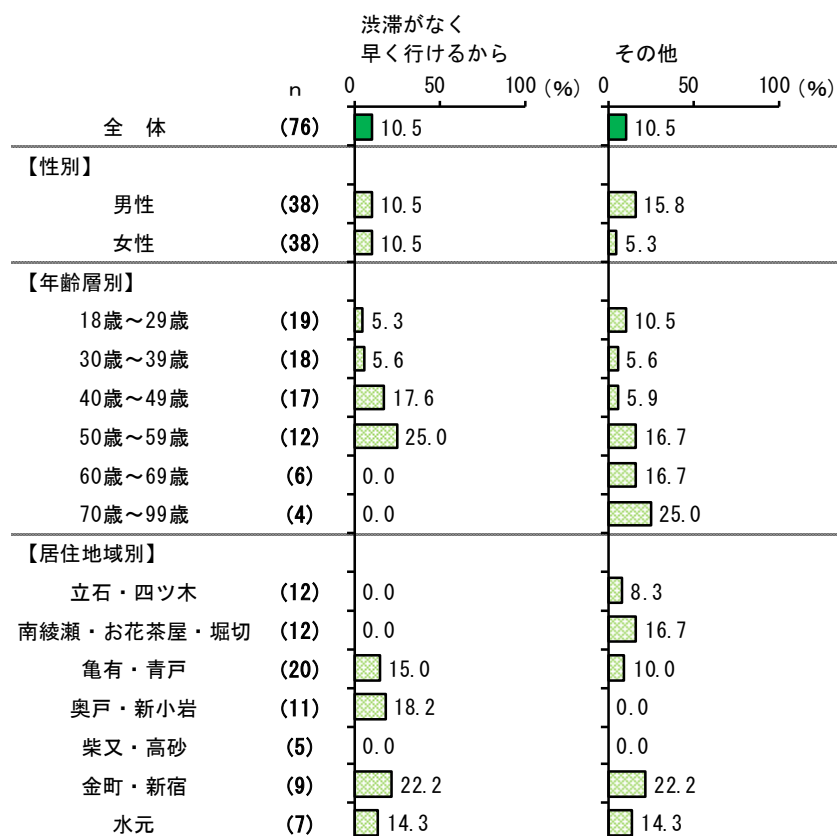


シェアサイクルを利用した理由は、「目的地周辺までの公共交通（鉄道、バス）が不便だから」が48.7%で最も高く、次いで「他の交通手段より料金が安価だから」が40.8%、「気軽に乗れるから」が31.6%、「観光周遊やサイクリングのため」が26.3%、「自宅付近にサイクルポートがあったから」が25.0%と続いている。

「その他」の内容としては、「残業で終電がなくなったから」「自転車が1台しかなく、家族で出かけるために利用しました」「電車遅延で満員電車に乗りたくなかったから」「自転車が故障したので修理に出した期間」「乗っていた自転車が途中で壊れて目的地に時間内に移動しなかったから」などがあつた。

シェアサイクルを利用した理由【全体、性別、年齢層別、居住地域別】





性別でみると、「気軽に乗れるから」は【女性】が 39.5%と、【男性】(23.7%) よりも 15.8 ポイント、「行き（帰り）は公共機関を利用したいから」は【女性】が 18.4%と、【男性】(7.9%) よりも 10.5 ポイント、「目的地周辺までの公共交通（鉄道、バス）が不便だから」は【女性】が 52.6%と、【男性】(44.7%) よりも 7.9 ポイント高くなっている。

年齢層別でみると、【50 歳～59 歳】は「他の交通手段より料金が安価だから」が 66.7%、「観光周遊やサイクリングのため」が 50.0%と、他の区分に比べ高くなっている。

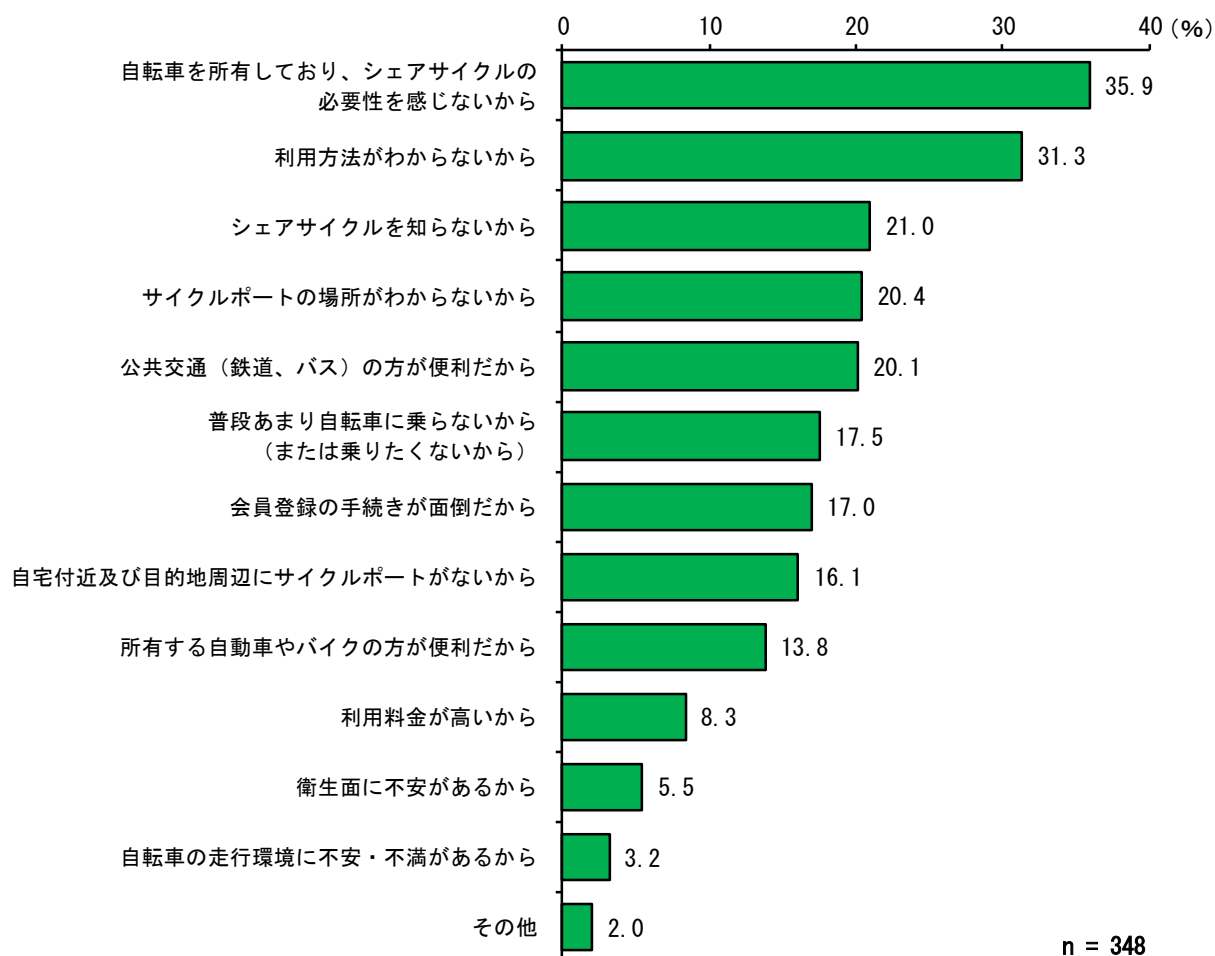
居住地域別でみると、「気軽に乗れるから」は【立石・四ツ木】が 50.0%、「自宅付近にサイクルポートがあったから」は【水元】が 57.1%、「目的地周辺までの公共交通（鉄道、バス）が不便だから」は【奥戸・新小岩】が 63.6%と、他の区分に比べ高くなっている。

(40) シェアサイクルを利用したことがない理由

問 40. 問 38 で「利用したことがない」と答えた方に伺います。

シェアサイクルを利用したことがない理由を教えてください。(複数選択可)

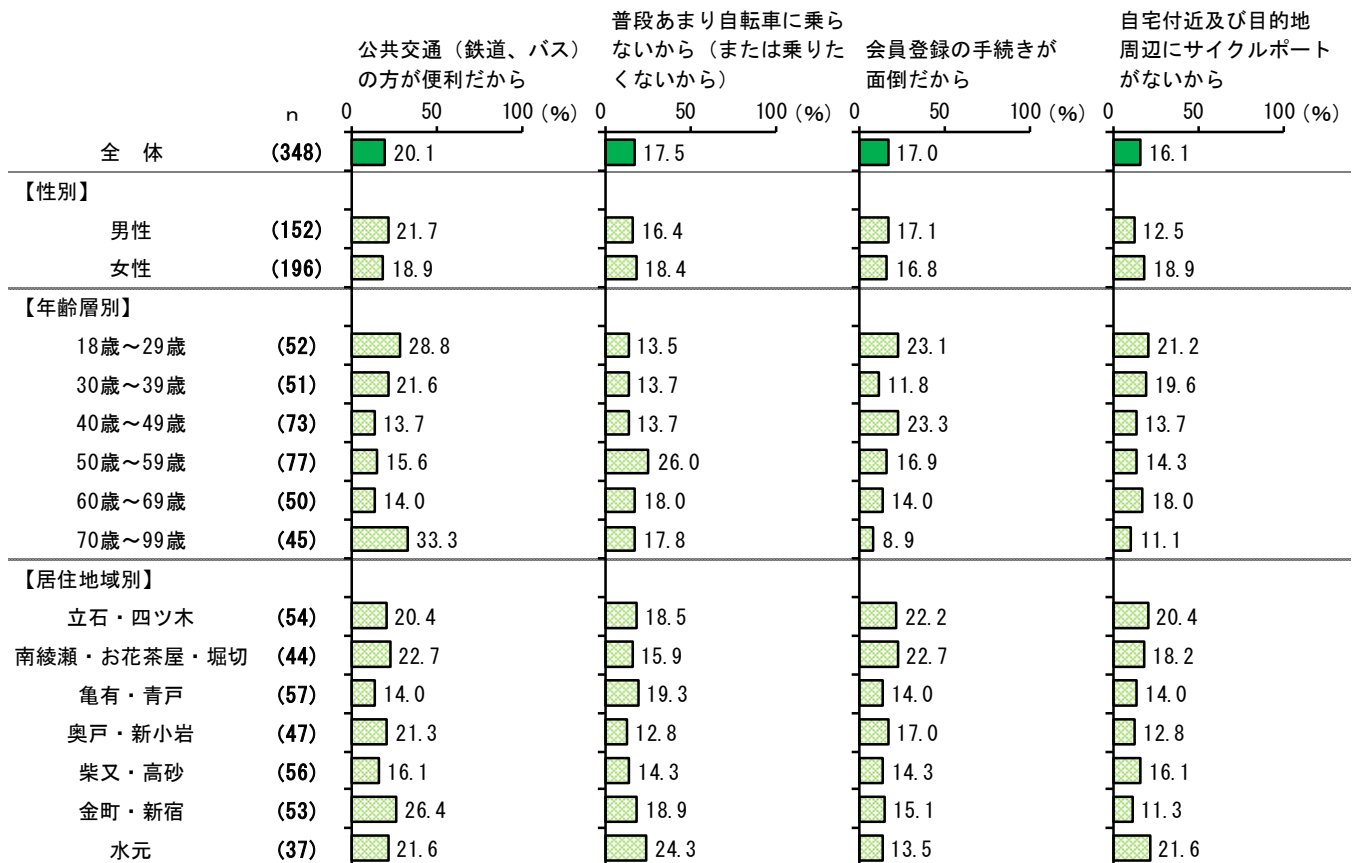
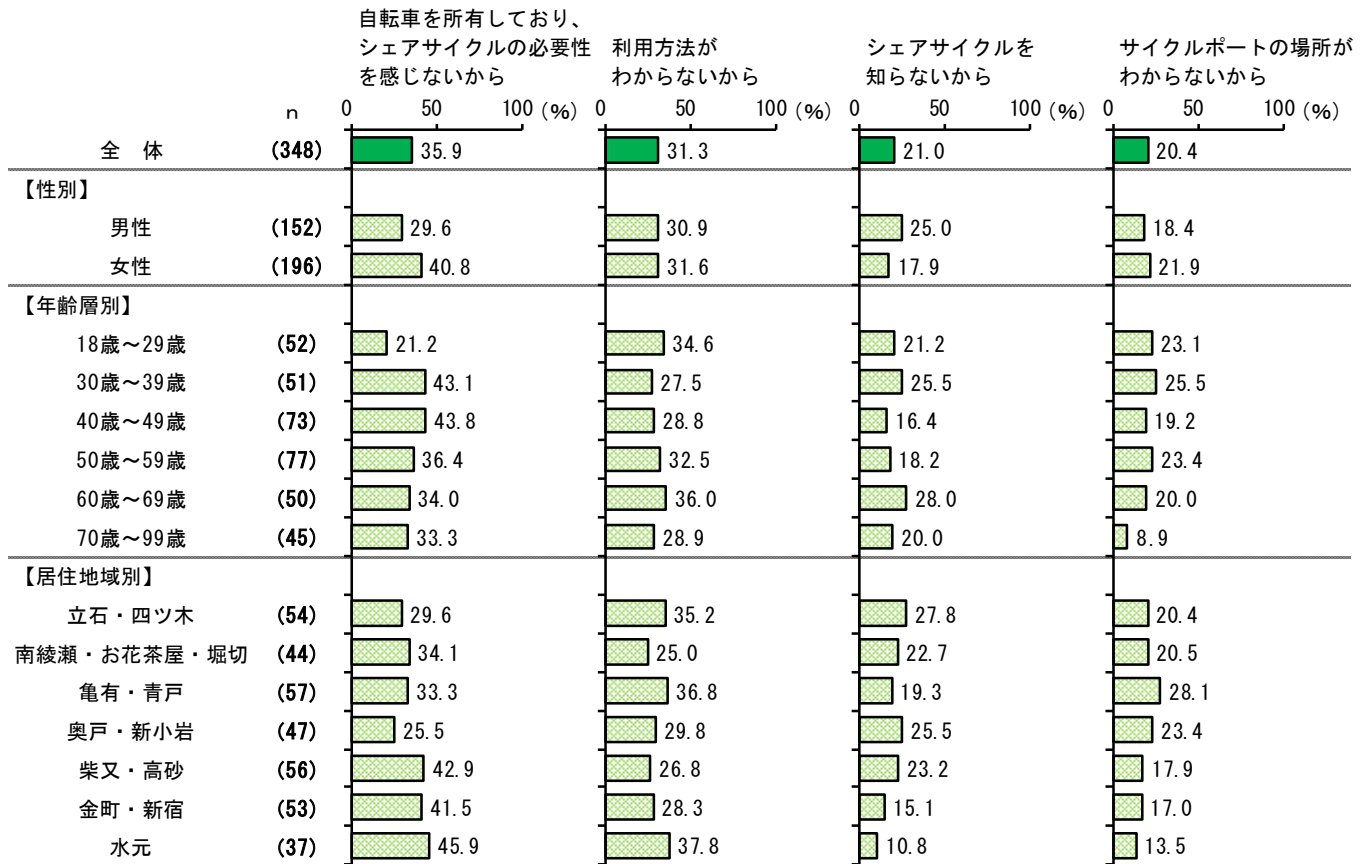
シェアサイクルを利用したことがない理由【全体】

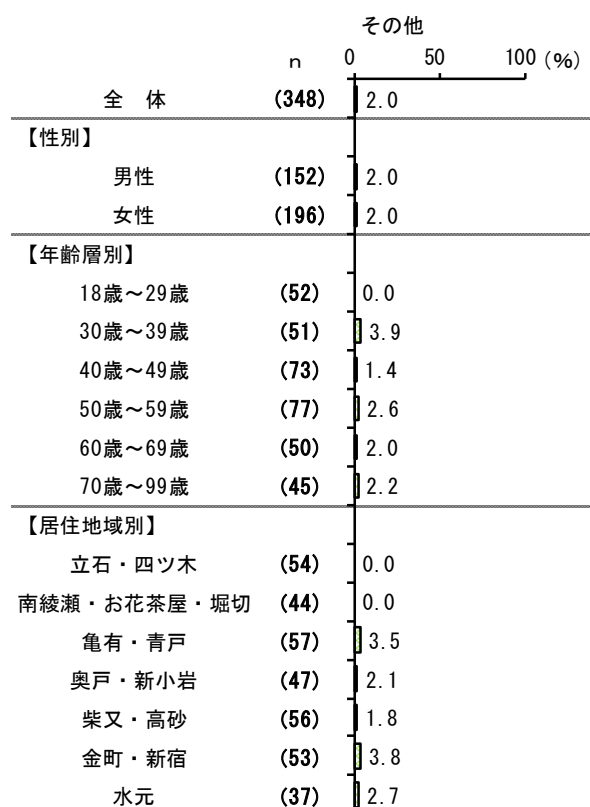
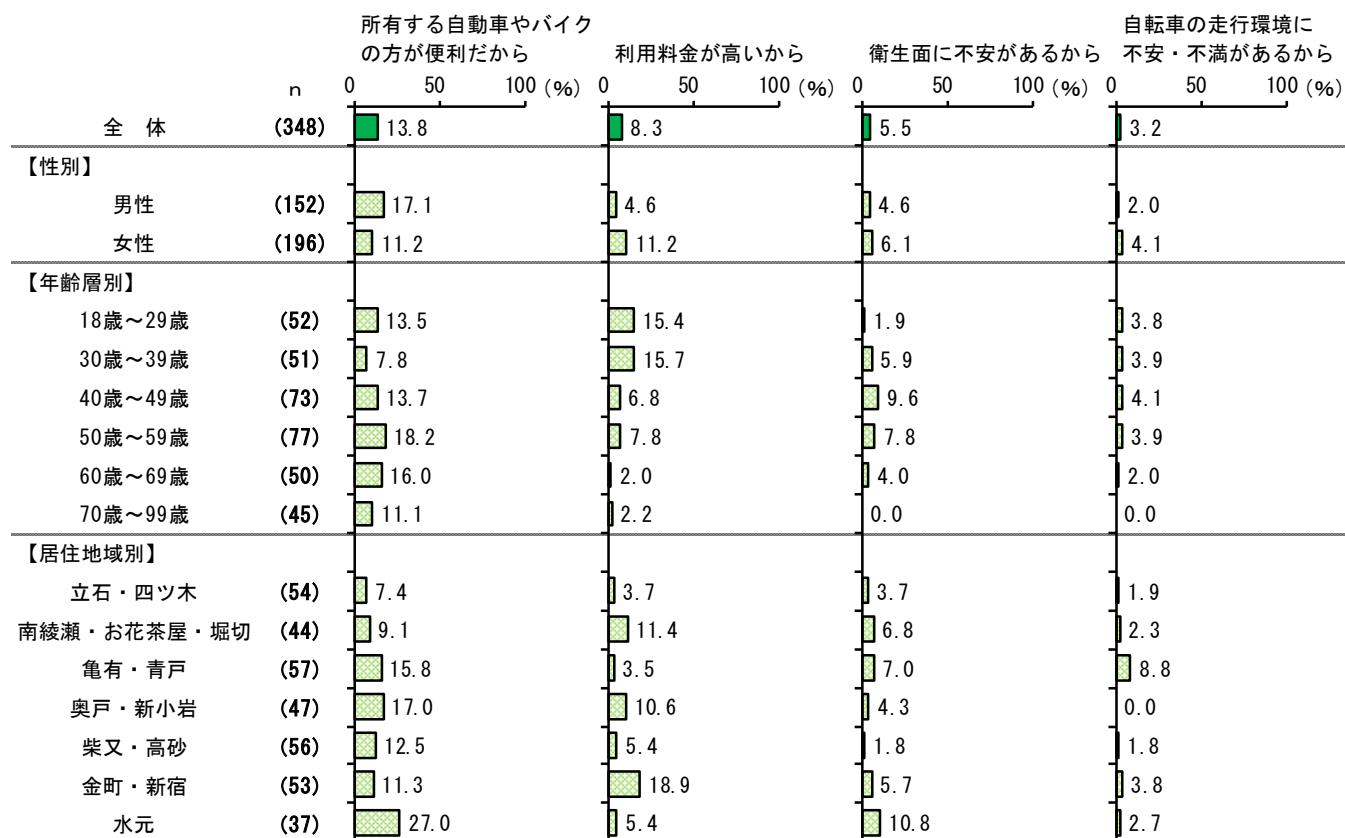


シェアサイクルを利用したことがない理由は、「自転車を所有しており、シェアサイクルの必要性を感じないから」が 35.9%で最も高く、次いで「利用方法がわからないから」が 31.3%、「シェアサイクルを知らないから」が 21.0%、「サイクルポートの場所がわからないから」が 20.4%、「公共交通（鉄道、バス）の方が便利だから」が 20.1%と続いている。

「その他」の内容としては、「満車の時返却出来ない。精神的に負担」「子どもを乗せられないから」「現金が使えないから」「整備に問題ないか。年寄り向けに小さいインチの車があるか」「幼い子がいるのでまだ自転車で移動するのが怖いから」などがあつた。

シェアサイクルを利用したことがない理由【全体、性別、年齢層別、居住地域別】





性別でみると、「自転車を所有しており、シェアサイクルの必要性を感じないから」は【女性】が40.8%と、【男性】(29.6%)よりも11.2ポイント高くなっている。

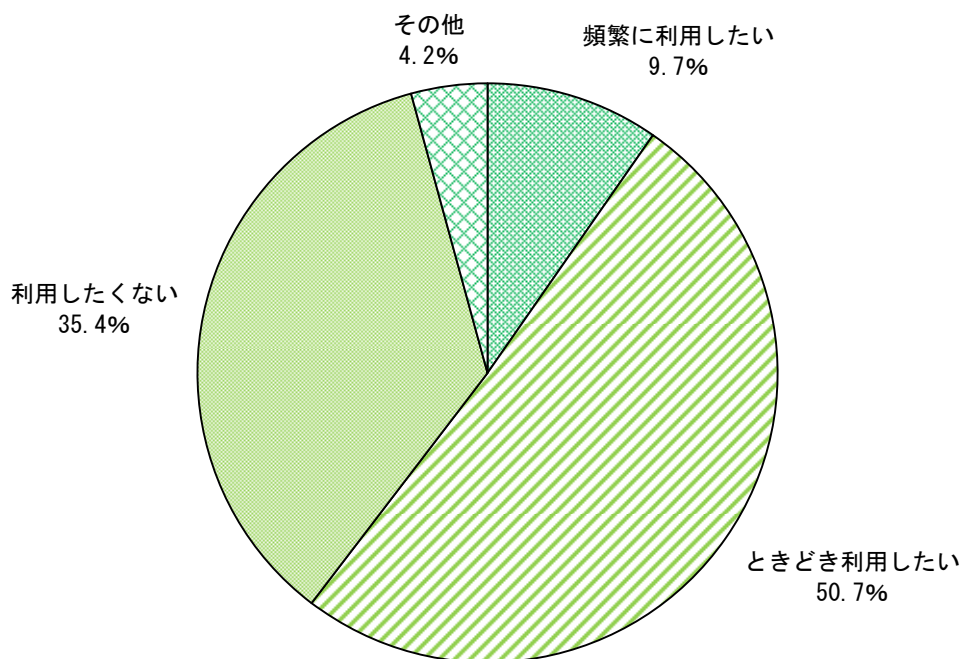
年齢層別でみると、【70歳～99歳】は「公共交通（鉄道、バス）の方が便利だから」が33.3%と、他の区分に比べ高く、「サイクルポートの場所がわからないから」が8.9%と、他の区分に比べ低くなっている。「自転車を所有しており、シェアサイクルの必要性を感じないから」は【18歳～29歳】が21.2%と、他の区分に比べ低くなっている。

居住地域別でみると、「所有する自動車やバイクの方が便利だから」は【水元】が27.0%、「利用料金が安いから」は【金町・新宿】が18.9%と、他の区分に比べ高くなっている。

(41) シェアサイクルの今後の利用意向

問 41. 区内外で普段よく訪れるエリアにシェアサイクルのポート（貸出・返却場所）や自転車の台数が増えれば、今後利用したいと思いますか。（1つ選択）

シェアサイクルの今後の利用意向【全体】

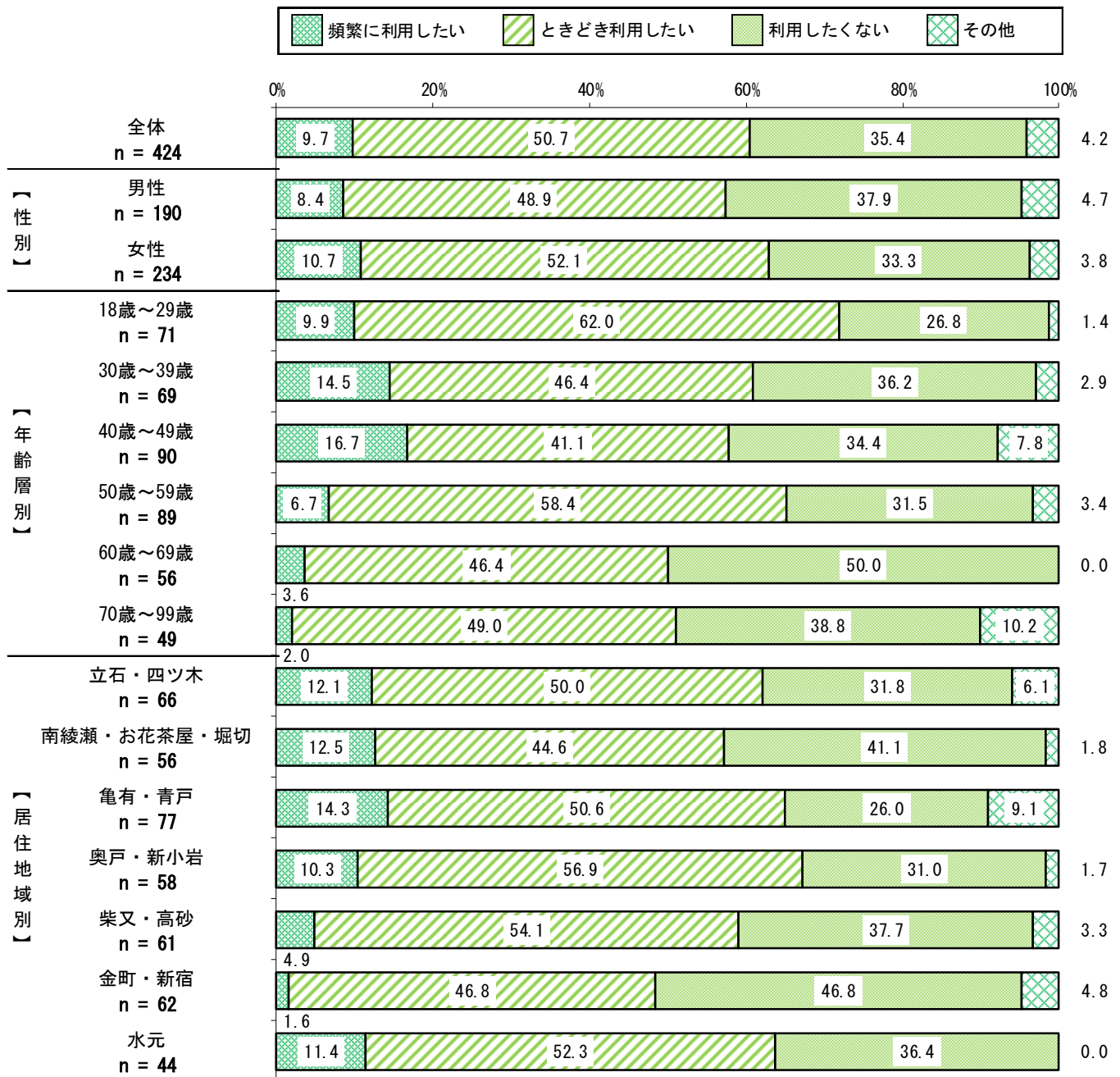


n = 424

シェアサイクルの今後の利用意向は、「頻繁に利用したい」（9.7％）と「時々利用したい」（50.7％）を合わせた『利用希望あり』が 60.4％となっている。一方、「利用したくない」が 35.4％となっている。

「その他」の内容としては、「バスや鉄道より安ければ利用したい」「子どもを乗せられる自転車もあれば」「ヘルメットはどうするのかわからない」「満車状態は解消。500m内空き駐車確保要」「自転車専用道路の充実を望みます」などがあつた。

シェアサイクルの今後の利用意向【全体、性別、年齢層別、居住地域別】



性別でみると、『利用希望あり』は【女性】が62.8%と、【男性】(57.3%)よりも5.5ポイント高くなっている。

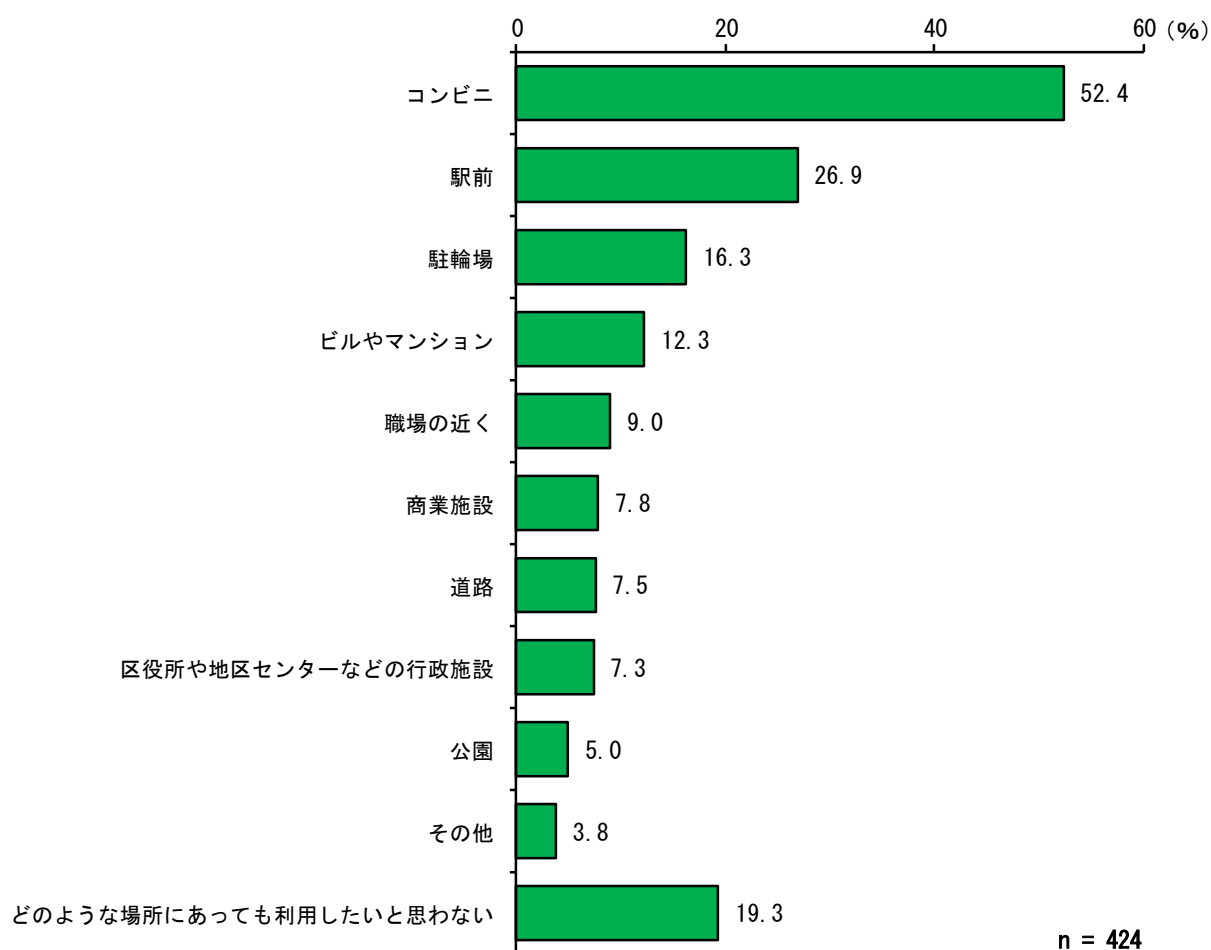
年齢層別でみると、『利用希望あり』は【18歳～29歳】が71.9%と、他の区分に比べ高くなっている。

居住地域別でみると、「利用したくない」は【金町・新宿】が46.8%と、他の区分に比べ高くなっている。

(42) シェアサイクルを利用したいと思うポートの場所

問 42. どんな場所にシェアサイクルのポートがあると便利で利用したいと思いますか。
(3つまで選択可)

シェアサイクルを利用したいと思うポートの場所【全体】

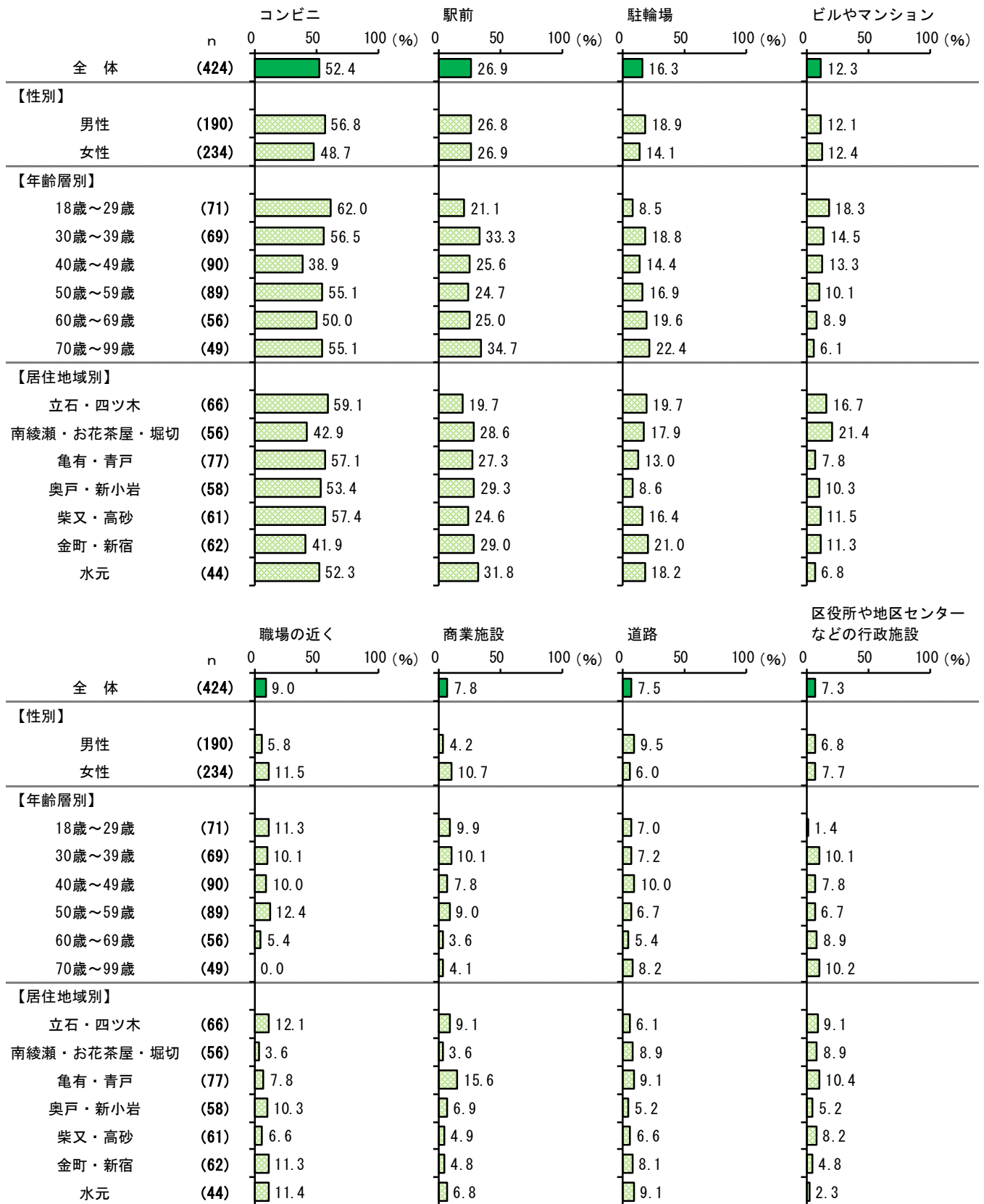


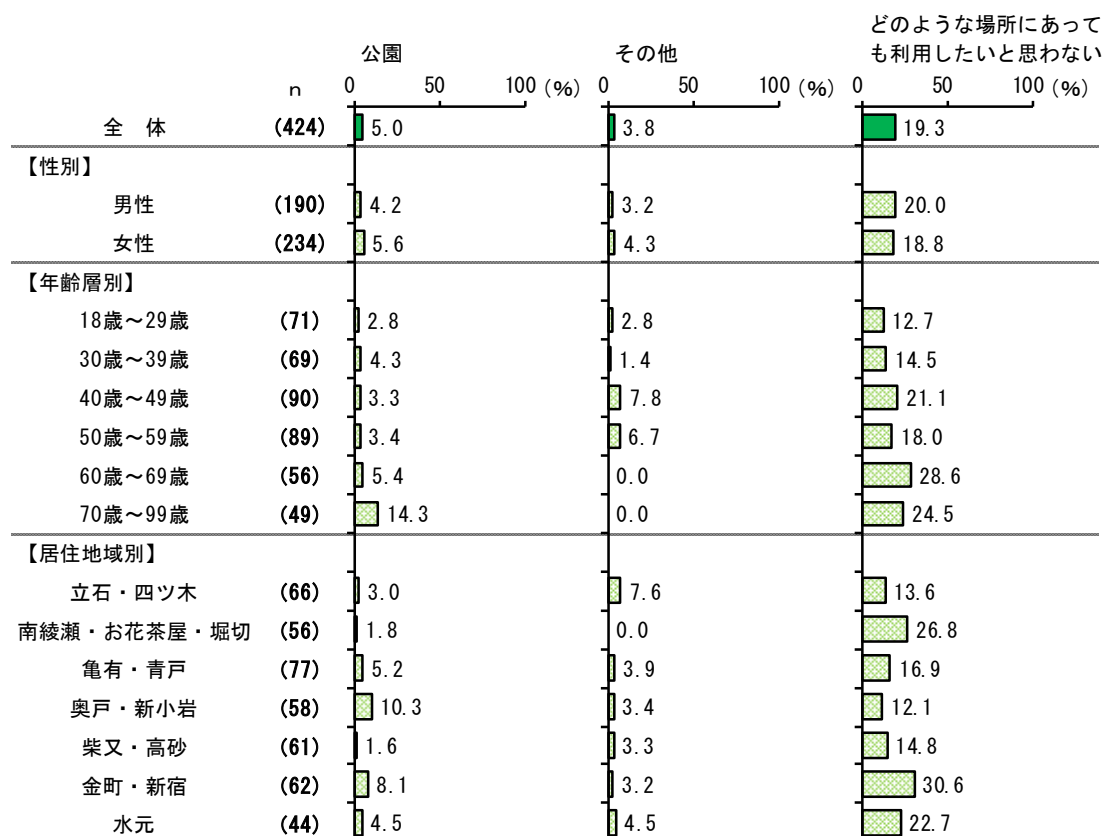
シェアサイクルを利用したいと思うポートの場所は、「コンビニ」が 52.4%で最も高く、次いで「駅前」が 26.9%、「駐輪場」が 16.3%、「ビルやマンション」が 12.3%となっている。一方、「どのような場所にあっても利用したいと思わない」が 19.3%となっている。

<回答の主な内容>

場 所	詳しい内容
駅 前	<p>■区内各駅（8件） ■京成線各駅（3件） ■J R各駅 ■主要な駅</p> <p>●金町駅（17件） ●亀有駅（12件） ●新小岩駅（11件）</p> <p>●青砥駅（10件） ●京成高砂駅（6件） ●京成立石駅（6件）</p> <p>●お花茶屋駅（5件） ●綾瀬駅（5件） ●堀切菖蒲園駅（4件）</p> <p>●小岩駅（2件） ●新柴又駅（2件） ●京成小岩駅 ●柴又駅</p> <p>●人形町駅 ●北千住駅 ●四ツ木駅 ●京成関屋駅 ●千住大橋駅</p> <p>●目的地の駅（2件） ●公的機関の最寄駅</p> <p>・駅前／近く（14件） ・改札の近く（5件）・駅前の駐輪場（4件）</p> <p>・バス停（2件）</p>
公 園	<p>●水元公園（10件） ●上千葉砂原公園 ●北沼公園 ●協栄公園</p> <p>●東立石緑地公園 ●葛飾にいじゅくみらい公園</p> <p>・区管理の公園 ・ある程度の大きい公園全て</p> <p>・公園が広くて移動が大変な時 ・出入口ごとにあると便利</p>
行政施設	<p>●区役所（12件） ●地区センター（5件） ●図書館（4件）</p> <p>●テクノプラザかつしか（3件） ●保健センター（2件）</p> <p>●子ども未来プラザ ●児童館 ●にこわ新小岩 ●奥戸スポーツセンター</p> <p>●スポーツ施設 ●法務局 ●年金事務所 ●税務署</p>
商業施設	<p>●アリオ亀有（18件） ●イトーヨーカドー（四つ木、高砂）（5件）</p> <p>●スーパーマーケット（4件） ●ショッピングモール ●宿泊施設</p> <p>●ユアエルム●MARK I S 葛飾かなまち ●慈恵医大</p> <p>・商業施設から駅に向かう時に使いたい</p>
そ の 他	<p>・自宅の近く（4件） ・病院（3件） ・青戸などの高架下</p> <p>・お寺、神社 ・商店街 ・かつしかシンフォニーヒルズ</p> <p>・公共交通機関（駅、バス停）付近 ・慈恵医大周辺、堀切菖蒲園周辺</p> <p>・自転車が壊れた時 ・乗り捨てが出来れば利用したい</p> <p>・主要な通りに一定間隔で整備されていると利用しやすい</p> <p>・返却先がなく借りられない事がよくある為、数を増やして欲しい</p>

シェアサイクルを利用したいと思うポートの場所
【全体、性別、年齢層別、居住地域別】





性別でみると、「コンビニ」は【男性】が56.8%と、【女性】(48.7%)よりも8.1ポイント高くなっている。一方、「商業施設」は【女性】が10.7%と、【男性】(4.2%)よりも6.5ポイント、「職場の近く」は【女性】が11.5%と、【男性】(5.8%)よりも5.7ポイント高くなっている。

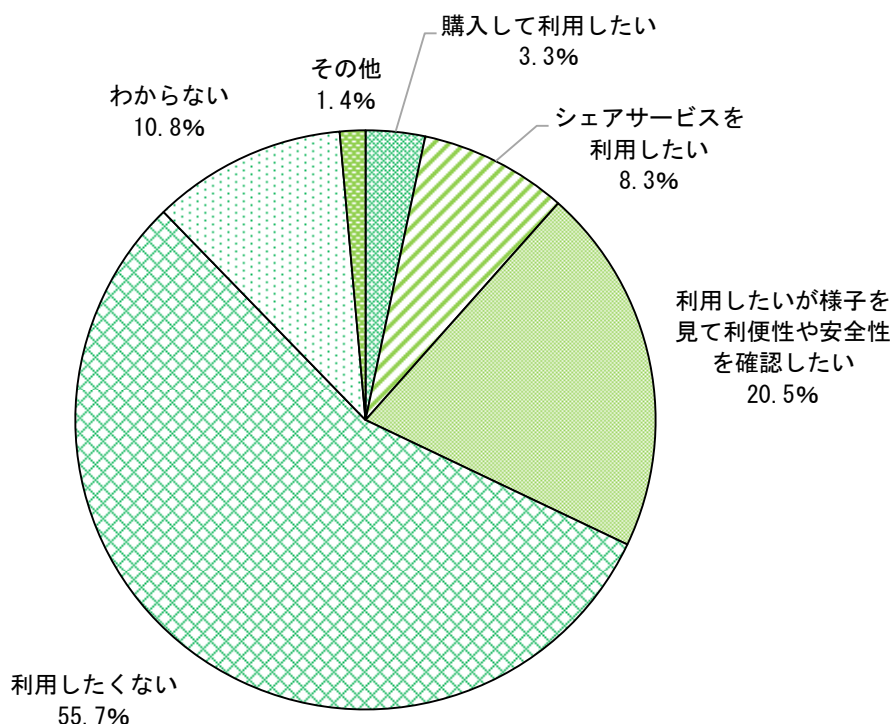
年齢層別でみると、「コンビニ」は【40歳～49歳】が38.9%と、他の区分に比べ低くなっている。

居住地域別でみると、【金町・新宿】は「どのような場所にあっても利用したいと思わない」が30.6%と、他の区分に比べ高く、「コンビニ」が41.9%と、他の区分に比べ低くなっている。

(43) 新たな移動手段である電動キックボードの今後の利用意向

問 43. 今後、改正道路交通法の施行により新たな移動手段である電動キックボードが普及する可能性があります。電動キックボードを利用したいと思いますか。(1つ選択)

新たな移動手段である電動キックボードの今後の利用意向【全体】



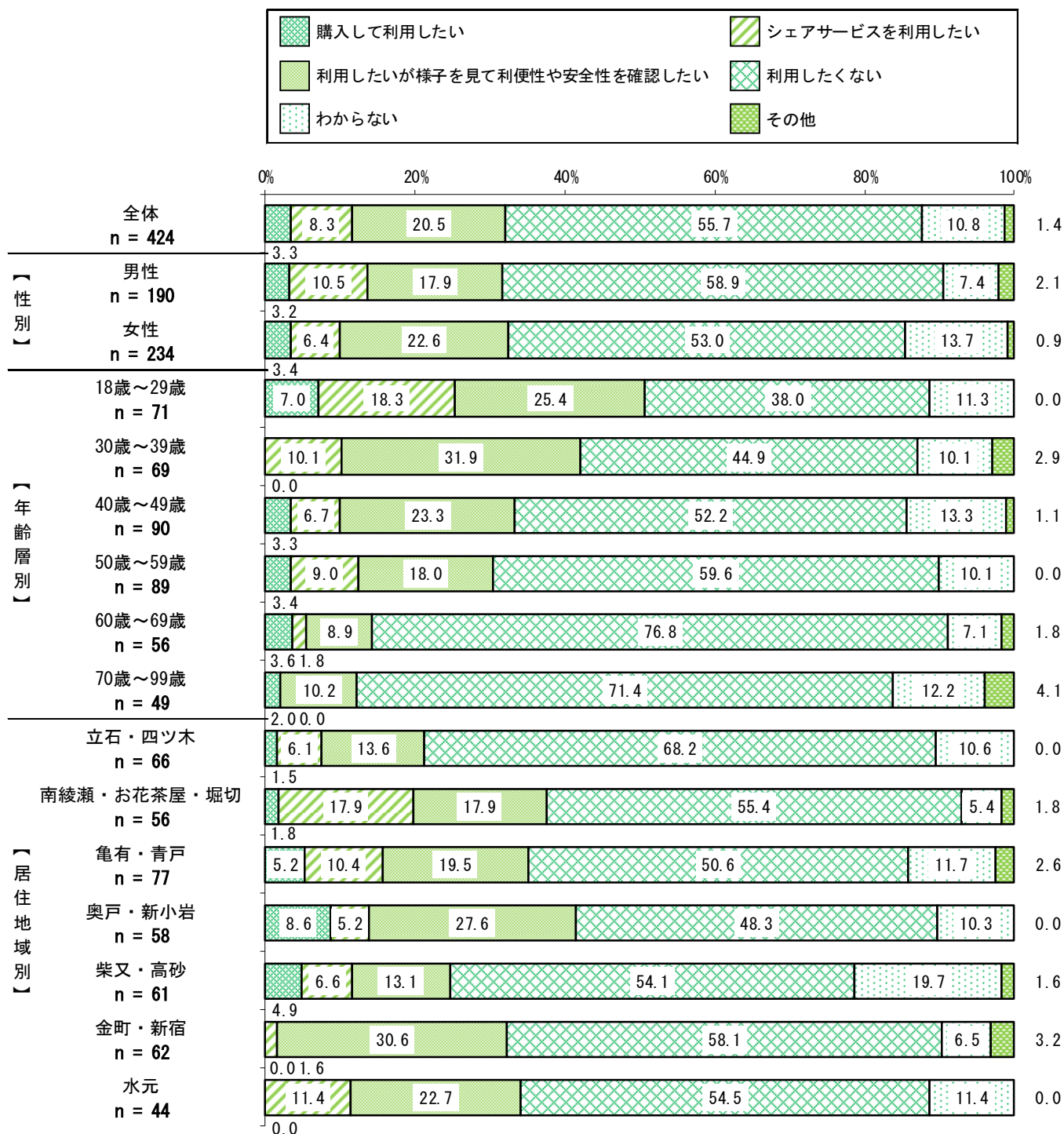
n = 424

新たな移動手段である電動キックボードの今後の利用意向は、「利用したくない」が55.7%となっている。一方、「利用したいが様子を見て利便性や安全性を確認したい」が20.5%、「シェアサービスを利用したい」が8.3%、「購入して利用したい」が3.3%となっている。

「その他」の内容としては、「利用したいが、路肩に止まる乗用車・トラックが多すぎて怖くて乗れない」「電動キックボードの運転規則の厳格化を望みます」「高齢者には危険なのは。自転車保険と同様に保険制度も整備させるといいですが。」「電動キックボードは非常に危険なので、自分が使いたくないだけでなく区内で絶対に普及して欲しくない」「安全性、利用者のモラル、それらに対する事業者の対応等について強い不信感があるため導入には強く反対であり、利用したいと思わない」などがあつた。

新たな移動手段である電動キックボードの今後の利用意向

【全体、性別、年齢層別、居住地域別】



性別でみると、「利用したくない」は【男性】が 58.9%と、【女性】(53.0%) よりも 5.9 ポイント高くなっている。

年齢層別でみると、「利用したくない」は【60 歳～69 歳】が 76.8%、【70 歳～99 歳】が 71.4%と、他の区分に比べ高くなっている。「利用したいが様子を見て利便性や安全性を確認したい」は【30 歳～39 歳】が 31.9%、「シェアサービスを利用したい」は【18 歳～29 歳】が 18.3%と、他の区分に比べ高くなっている。

居住地域別でみると、「利用したくない」は【立石・四ツ木】が 68.2%、「利用したいが様子を見て利便性や安全性を確認したい」は【金町・新宿】が 30.6%と、他の区分に比べ高くなっている。

令和7年度 第3回葛飾区区民モニター調査

報 告 書

令和8年1月

葛飾区総務部すぐやる課

住 所：〒124-8555 葛飾区立石5-13-1

T E L：03-3695-1111（代表） 03-5654-8448（直通）